Canon

PIXUS MP790

基本操作ガイド

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。



Exif Print　BUBBLE JET DIRECT　PictBridge

PIXUS MP790

J HT7-0022-000-V.4.0

取扱説明書について

かんたんスタートガイド（本体設置編／ソフトウェアインストール編）（印刷物）



必ず、最初にお読みください。

本機をご購入後、設置、取り付けからご使用になるまでに必要な説明が記載されています。本体設置編には、設置、取り付けの説明が記載されています。ソフトウェアインストール編には、ソフトウェアのインストールの説明が記載されています。

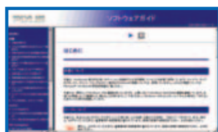
基本操作ガイド（本書）



本機を使いはじめるときにお読みください。

コピー、フォトプリント、ファクス、パソコンを使った印刷の操作、日常のお手入れ、および困ったときの対処方法など、本機をお使いいただく上で基本となる操作と機能について説明しています。

ソフトウェアガイド（電子マニュアル）



パソコンの画面で見る取扱説明書です。

パソコンからの印刷やスキャンについて、もっと詳しい説明が知りたいときや、パソコンからファクスを送信するとき（Windowsのみ）にお読みください。MPドライバやMP Navigatorの各機能の詳細や応用的な使用方法について説明しています。この取扱説明書は、付属のセットアップCD-ROMに収録されています。「セットアップCD-ROMに収録されている電子マニュアルを表示するには」（→6ページ）を参照してください。

アプリケーションガイド（電子マニュアル）



パソコンの画面で見る取扱説明書です。

セットアップCD-ROMに含まれているアプリケーション（ZoomBrowser EX/PhotoRecordやEasy-PhotoPrintなど）の機能の詳細について説明しています。この取扱説明書はソフトウェアガイドと同じく、付属のセットアップCD-ROMに収録されています。「セットアップCD-ROMに収録されている電子マニュアルを表示するには」（→6ページ）を参照してください。アプリケーションガイドに記載されていないアプリケーションについては、専用の電子マニュアルが付属されています。専用の電子マニュアルはHTML形式とPDF形式のマニュアルとなっております。PDF形式のマニュアルを表示するためには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Readerがインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードしてインストールしてください。

ごあいさつ

このたびは、キヤノン《PIXUS　MP790》をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、ご使用の前に取扱説明書をひととおりお読みください。また、お読みになったあとは、必ず保管してください。操作中に使いかたがわからなくなったり、機能についてもっと詳しく知りたいときにお役に立ちます。

電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置をラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

国際エネルギースタープログラムについて



当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。
国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器に関する日本および米国共通の省エネルギーのためのプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費が比較的少なく、その消費を効果的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリ、複写機、スキャナおよび複合機（コンセントから電力を供給されるものに限る）で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、日米で統一されています。

Exif Printについて



本機は、Exif 2.2（愛称「Exif Print」）に対応しています。
Exif Printは、デジタルカメラとプリンタの連携を強化した規格です。
Exif Print対応デジタルカメラと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいなプリント出力結果を得ることができます。

商標について

- Canonおよびキヤノンは、キヤノン株式会社の登録商標です。
- PIXUS、MP、ScanGear、BJおよびBubble Jetは、キヤノン株式会社の商標です。
- Microsoft®、Windows®　は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- 本書では、Microsoft® Windows® XP、Microsoft® Windows® Millennium Edition、Microsoft® Windows® 2000、Microsoft® Windows® 98をそれぞれ Windows XP、Windows Me、Windows 2000、Windows 98と略して記載しています。
- Macintosh、MacおよびMac OSは、米国およびその他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- その他、記載の商品名、会社名は一般に各社の登録商標または商標です。

お客様へのお願い

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載漏れなどにお気づきの点がございましたら、最寄りのお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- 本書の記載内容以外でご使用になった場合は、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

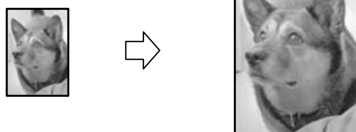
こんなことができます

MP790 では、次のようなことができます。

コピー機能

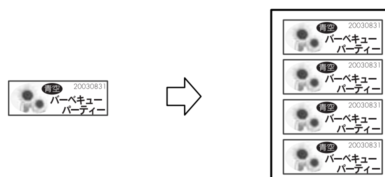
読み取った写真やパンフレットを拡大／縮小したり、2 枚の原稿を 1 枚に印刷したりできます。また、さまざまな機能があり、思いどおりのコピーがかんたんに作れます。

■写真や雑誌の切り抜きなどを大きく引き伸ばしたい



→「拡大／縮小コピーする」（→ 36 ページ）

■招待状を作りたい



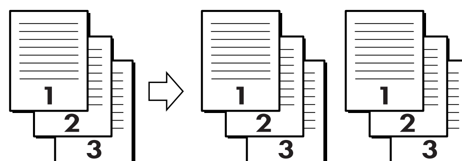
→「画像を 1 枚の用紙にくり返しコピーする（イメージリピートコピー）」（→ 51 ページ）

■思い出の写真を絵はがきにしたい



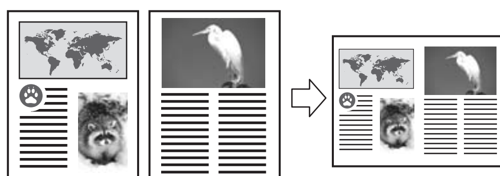
→「絵はがきを作る（絵はがきプリント）」（→ 44 ページ）

■コピーした用紙を 1 部ごとに分けたい

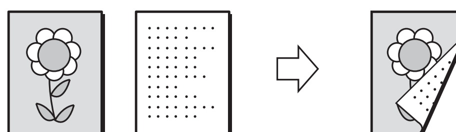


→「コピーした用紙を 1 部ごとに分ける（電子ソート）」（→ 43 ページ）

■用紙を節約したい



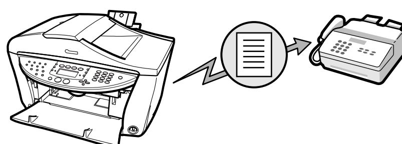
→「2 枚の原稿を 1 枚にコピーする（2 in 1 コピー）」（→ 38 ページ）



→「用紙の両面にコピーする（両面コピー）」（→ 40 ページ）

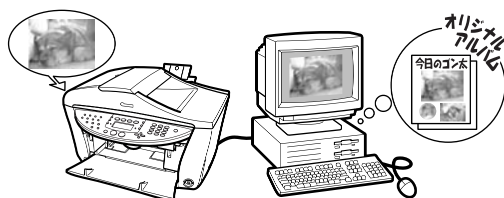
ファクス機能

白黒の原稿やカラーの原稿をファクスで送信または受信することができます。またパソコンから送信することもできます。（Windows のみ）



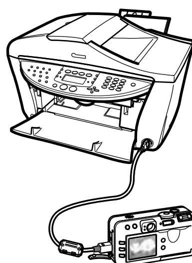
読み込み（スキャン）機能

残しておきたい写真やイラストなどをパソコンに読み込んで（スキャンして）、データとして保存することができます。さらに、付属のソフトウェアをインストールすれば、読み込んだデータを電子アルバムに保存したり、文字原稿をテキストデータに変換することができます。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））



フォトプリント機能

“PictBridge”対応またはキヤノン“Bubble Jet Direct”対応のデジタルカメラ、デジタルビデオカメラで撮った写真をパソコンを使わずに、印刷することができます。



→「デジタルカメラと直接つないで 印刷しよう」（→ 54 ページ）

本書の読みかた

マークについて

本書で使用しているマークについて説明します。本書では製品を安全にお使いいただくために、大切な記載事項には次のようなマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。



取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。



取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。



操作上、必ず守っていただきたい重要事項が書かれています。製品の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、必ずお読みください。



操作の参考になることや補足説明が書かれています。

→『かんたんスタートガイド(本体設置編)』『かんたんスタートガイド(ソフトウェアインストール編)』
『かんたんスタートガイド（本体設置編）』『かんたんスタートガイド（ソフトウェアインストール編）』を参照してください。

→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）
セットアップ CD-ROM に収録されている『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

（→ nn ページ） 関連事項について説明しているページを参照してください。



本機をパソコンに接続してご使用になる場合にお読みください。



本機を Windows に接続してご使用になる場合にお読みください。



本機を Macintosh に接続してご使用になる場合にお読みください。

（手順内の見出し）
一連の操作手順内で、場合によって操作手順が異なることを表す見出しです。

1.（場合分けの操作手順）
特定の操作手順内で、場合によって異なる操作手順を説明します。

ボタンについて

本書で使用するボタン名称、メッセージの表示のしかたについて説明します。

[ボタン名称] 本機の操作パネル上のボタンや、パソコン画面上のボタンは、カッコ [ ] で囲まれています。
例：[カラースタート]

〈メッセージ〉 LCD ディスプレイ（液晶ディスプレイ）に表示されるメッセージや選択項目は、カッコ〈 〉で囲まれています。
例：〈プロフォト〉、〈シナイ〉

本書で使用する用語について

本書で使用する用語、略語について説明します。

本機 PIXUS MP790 を指します。

工場出荷時の設定 お客様が変更する前の、最初の設定です。

原稿 本機でコピーやファクス、また読み込んだりする書類や写真、本などを指します。

用紙 本機で使える紙を指します。

メニュー 設定や変更をするときに使う選択項目の一覧です。メニューの項目は、LCD ディスプレイに表示されます。

受付番号 ファクスを送信または受信したときに、自動的につけられる 4 桁の番号を指します。

PC クリック、ダブルクリック
パソコンの画面上で、マウスを使ってメニュー項目やコマンドを選ぶことを指します。

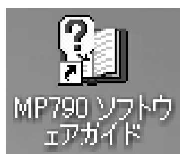
PC 右クリック マウスの右ボタンをクリックすることを指します。

/（スラッシュ） OS や機種名を併記するときに使います。たとえば、「Windows 2000/XP」は、Windows 2000 と Windows XP という意味です。

PC セットアップ CD-ROM に収録されている電子マニュアルを表示するには

ソフトウェアのインストール時に［おまかせインストール］を選択すると、電子マニュアルがインストールされます。また、各マニュアルの起動用のアイコンがデスクトップに作成されます。

Windows

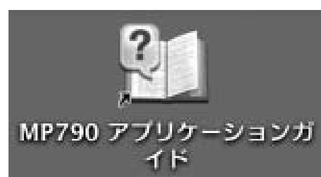


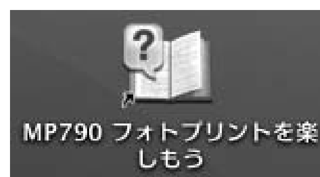




Macintosh







デスクトップのアイコンをダブルクリックすると、電子マニュアルが表示されます。

参考

ソフトウェアのインストール時に［カスタムインストール］を選択し、電子マニュアルをインストールしなかった場合、アイコンは表示されません。

PC ソフトウェアガイドについて

ソフトウェアガイドは、セットアップ CD-ROM に収録されている HTML 形式の電子マニュアルです。次のような説明が記載されています。

印刷
パソコンから印刷するときの設定や、MP ドライバについて記載されています。
ファクス（Windows のみ）
パソコンからファクスを送信するときの設定などが記載されています。
MP Navigator
MP Navigator の機能が記載されています。
スキャン
画像を読み込む方法の詳細が記載されています。
高度なスキャン
ScanGear MP の機能の詳細が記載されています。
用語解説
索引

PC アプリケーションガイドについて

アプリケーションガイドは、セットアップ CD-ROM に収録されている HTML 形式の電子マニュアルです。アプリケーションガイドの最初に表示される画面で、見たいアプリケーションをクリックすると、そのアプリケーションの説明画面に進めます。この画面で調べたい項目をクリックすると、機能の詳しい説明、設定シート、設定手順などが表示されます。

Windows

このガイドには、ZoomBrowser EX、PhotoRecord、Easy-PhotoPrint、および Easy-WebPrint についての機能や使いかたが記載されています。

参考

- らくちん CD ダイレクトプリント for Canon のマニュアルは、タスクバーの［スタート］ボタンから、［（すべての）プログラム］→［らくちん CD ダイレクトプリント for Canon］→［操作説明］をクリックするとご覧になれます。
- 読取革命 Lite のマニュアルは、タスクバーの［スタート］ボタンから、［（すべての）プログラム］→［読取革命 Lite］→［マニュアル］をクリックするとご覧になれます。
- ArcSoft PhotoStudio のマニュアルは、［おまかせインストール］でインストールすると起動用のアイコンがデスクトップに作成されます。

Macintosh

このガイドには、ImageBrowser と Easy-PhotoPrint についての機能や使いかたが記載されています。

参考

- らくちんCDダイレクトプリントfor Canonのマニュアルは、らくちんCDダイレクトプリントfor Canonをインストールしたハードディスクアイコン→［アプリケーション］フォルダ→［CD ダイレクトプリント］フォルダ→［マニュアル］フォルダを順にダブルクリックし、［マニュアル .html］をダブルクリックするとご覧になれます。
- 読取革命 Lite のマニュアルは、読取革命 Lite をインストールしたハードディスクアイコン→［アプリケーション］フォルダ→［読取革命 Lite］フォルダを順にダブルクリックし、［マニュアル .html］をダブルクリックするとご覧になれます。
- ArcSoft PhotoStudio のマニュアルは、セットアップ CD-ROM のマニュアルフォルダをご覧ください。

PC 付属のアプリケーションについて

ズームブラウザーイーエックス フォトレコード
ZoomBrowser EX（Windows のみ）/PhotoRecord（Windows のみ）

ZoomBrowser EX は、デジタルカメラで撮影した画像の管理や一覧表示、スクリーンセーバー作成などができるソフトウェアです。PhotoRecord は、デジタルカメラで撮影した画像から手軽にアルバム作成ができるソフトウェアです。

イージーフォトプリント
Easy-PhotoPrint

デジタルカメラで撮影した画像と用紙を選ぶだけで、簡単にフチなし全面印刷ができるソフトウェアです。また、赤目の補正を行ったり、美肌効果を加えたりして、簡単な操作で美しいポートレートが作成できます。

イージーウェブプリント
Easy-WebPrint（Windows のみ）

難しい設定をすることなく、ウェブページを用紙幅に完全に収めて、高速印刷することができるソフトウェアです。Internet Explorer 5.5 以降に対応し、ツールバーとして表示されるので簡単に使えます。

シーディー フォーキヤノン
らくちん CD ダイレクトプリント for Canon

テンプレートや画像ファイルを選び、文字を追加するだけで、簡単に CD-R/DVD-R ラベルを作成することができるソフトウェアです。

アークソフトフォトスタジオ
ArcSoft PhotoStudio

スキャナやデジタルカメラから画像を取り込み、画像にいろいろな処理を加えたり、合成したりすることができる画像処理ソフトウェアです。また、ファイルの種類を変換したり、アルバムに登録したりすることもできます。

よみとりかくめい ライト
読取革命 Lite

スキャナで読み込んだ文書や画像データを、テキストデータや Word データに変換することができるソフトウェアです。

イメージブラウザ
ImageBrowser（Macintosh のみ）

デジタルカメラで撮影した画像を一覧表示したり、スライドショーで表示したりすることができるソフトウェアです。

PC オンラインヘルプの使いかたについて

アプリケーションから本機を使って印刷する場合、印刷を実行するときに表示される印刷設定（プロパティ）画面には、オンラインヘルプ機能が付いています。オンライン機能を使うと、プロパティ画面で設定するいろいろな項目についての説明をパソコンの画面上に表示できます。
オンラインヘルプを表示させるには、プロパティ画面の［ヘルプ］ボタンまたは［?］ボタンをクリックしたあと、調べたい項目にカーソルを合わせてクリック（またはダブルクリック）すると、その項目について説明するボックスが表示されます。

目次

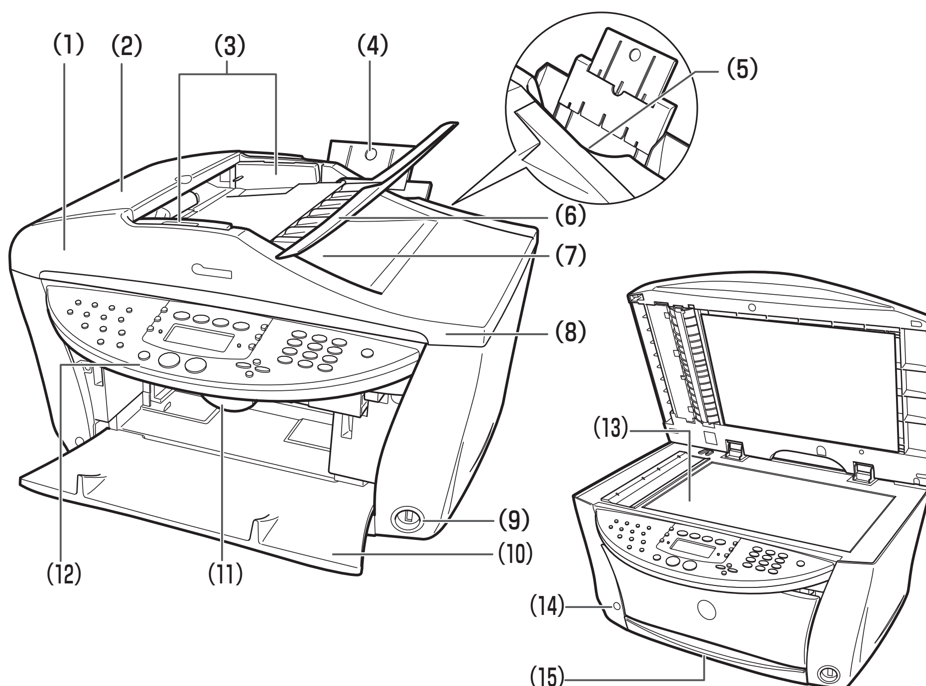
1章 本機について

各部の名称と役割

本機の各部の名称と役割について説明します。

■ 本体各部

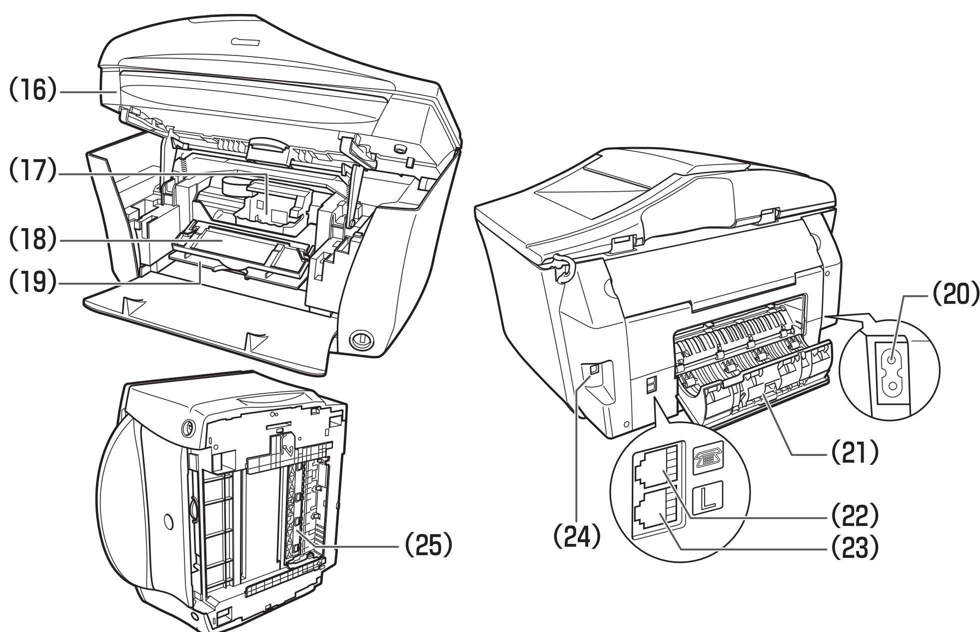
外観



(1)	ADF（自動原稿給紙装置）	原稿トレイにセットした原稿を、自動的に読み込みます。
(2)	フィーダカバー	原稿の紙づまりを処理するときに開けます。
(3)	原稿ガイド	原稿の幅に合わせて、このガイドを調整します。
(4)	用紙サポート	セットした用紙を支えます。用紙をセットする前に、まるいくぼみに指をかけて止まるまで引き出してください。
(5)	オートシートフィーダ	印刷する面を上にして、用紙をセットします。用紙を 1 枚ずつ自動的に送ることができます。
(6)	原稿トレイ	原稿をセットするときに開けます。原稿をセットすると、1 枚ずつ自動的に読み込むことができます。原稿は、読み込む面を上向きにして、セットしてください。
(7)	原稿排紙口	原稿トレイから読み込んだ原稿が排紙されます。
(8)	原稿台カバー	原稿台に原稿をセットするときに開けます。

(9) USB ケーブル接続部（カメラ接続部）	“PictBridge”対応またはキヤノン“Bubble Jet Direct”対応のデジタルカメラやデジタルビデオカメラから直接印刷するときに使用します。詳しくは 54 ページをご覧ください。
(10) 排紙トレイ	排出した用紙を支えます。
(11) スキャナユニットオープンレバー	スキャナユニットを開けるときに手前に引きます。
(12) 操作パネル	本機の動作や状態を表示したり、機能の設定を変更・確認したりするときに使います。詳しくは、13 ページをご覧ください。
(13) 原稿台ガラス	原稿をセットします。
(14) 排紙トレイオープンボタン	排紙トレイを開けるときに押します。
(15) カセット	印刷する面を下にして、用紙をセットします。

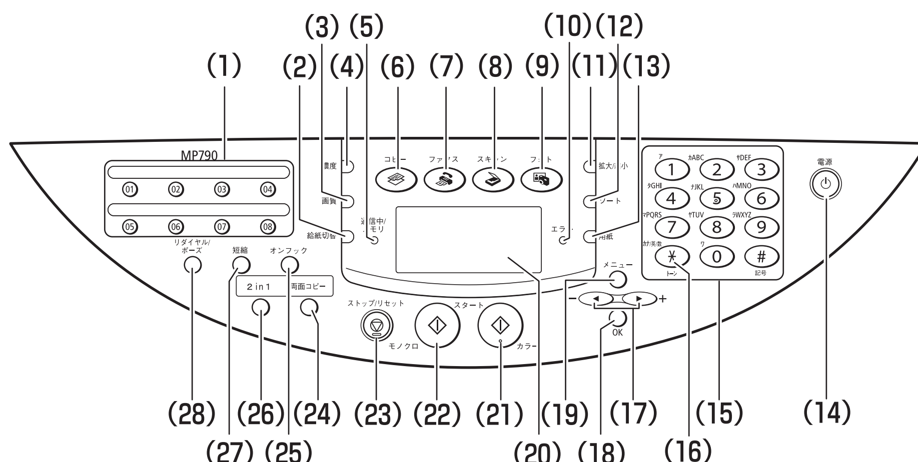
背面、内部および底面



(16) スキャナユニット（プリンタカバー）	インクタンクを交換するときや紙づまりを処理するときに開けます。
(17) プリントヘッドホルダ	プリントヘッドを取り付けます。
(18) 内カバー	インクタンクを交換するときや紙づまりを処理するときに開けます。
(19) CD-R トレイガイド	CD-R や DVD-R に画像を印刷するとき、CD-R トレイを差し込みます。
(20) 電源コード接続部	本機の電源コードを接続します。
(21) 背面カバー	用紙の紙づまりを処理するときに開けます。
(22) 外付け機器接続部	電話機や留守番電話機を接続します。
(23) 電話回線接続部	電話回線を接続します。
(24) USB ケーブル接続部（パソコン接続部）	本機とパソコンを接続して印刷やスキャンするときに使用します。電源コード接続時はこの接続部に直接触れないでください。動作が不安定になることがあります。
(25) 両面搬送部	用紙の紙づまりを処理するときに開けます。

■ 操作パネル

操作パネル上にある各ボタンの名称と役割について説明します。



(1) **ワンタッチダイヤル**	登録されているファクス／電話番号またはグループにダイヤルします。
(2) **［給紙切替］**	給紙箇所を切りかえます。
(3) **［画質］**	コピーとファクスの画質を選びます。
(4) **［濃度］**	コピーとファクスの濃度を選びます。
(5) **通信中／メモリランプ**	コピー中やスキャン中、または、回線使用中にランプがつきます。また、メモリに原稿があるときもランプがつきます。
(6) **［コピー］**	コピーモードに切りかえます。
(7) **［ファクス］**	ファクスモードに切りかえます。
(8) **［スキャン］**	スキャンモードに切りかえます。パソコンと接続している場合に使います。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））
(9) **［フォト］**	フォトモードに切りかえます。
(10) **エラーランプ**	本機の電源を入れるときや切るとき、エラーが発生したとき、または用紙やインクがなくなったときなどに点滅します。
(11) **［拡大／縮小］**	拡大コピーや縮小コピーの設定をします。
(12) **［ソート］**	電子ソートの設定をします。
(13) **［用紙］**	コピーに使う用紙のサイズと種類を選びます。また、ファクスを受信するときの用紙のサイズと種類を選びます。
(14) **［電源］**	本機の電源を入れるとき、切るときに使います。電源を入れるときは、原稿台カバーを閉じてください。
(15) **テンキー**	数値やコピー部数などを入力します。また、ファクス／電話番号や文字を入力します。
(16) **［トーン］**	一時的にプッシュ信号に切りかえます。また、文字を入力するときにモードを切りかえます。
(17) **［－ ◀］［▶ ＋］**	コピー部数やメニュー項目などを選ぶときに使います。また、［◀］で入力を消去し、［▶］で文字の間にスペースを入力します。

(18) [OK]	メニュー項目を選んだり設定を確認したりします。また、印刷途中でのエラーから復帰するときや、紙づまりを取り除いたあと、復帰するときに使います。また、ADF（自動原稿給紙装置）にある原稿を排紙します。
(19) [メニュー]	メニューを選んだり、設定をかえるときに使います。
(20) LCD ディスプレイ	メッセージ、メニュー項目、動作状況が表示されます。詳しくは、15 ページをご覧ください。
(21) [カラースタート]	カラーコピー、またはカラーファクス送信を開始します。
(22) [モノクロスタート]	白黒コピー、または白黒ファクス送信を開始します。
(23) [ストップ／リセット]	操作を取り消して、スタンバイモードに戻します。
(24) [両面コピー]	両面コピーの設定をします。
(25) [オンフック]	電話回線に接続するときと、切るときに使います。
(26) [2 in 1]	2 in 1 コピーの設定をします。
(27) [短縮]	［短縮］ボタンを押したあと、2 桁の短縮ダイヤルの番号を押すと、登録されているファクス／電話番号またはグループにダイヤルします。
(28) [リダイヤル／ポーズ]	テンキーを使用して、最後に送信した番号をリダイヤルします。また、ダイヤルするときやデータを登録するときに、番号と番号の間にポーズを入れます。

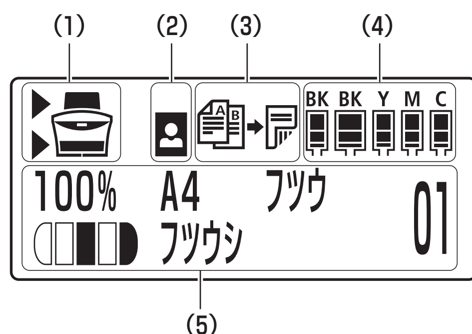
重要

- **電源を切るときは、必ず［電源］を押してください。［電源］を押すと、プリントヘッドが乾燥しないようにキャップで保護されます。電源コードを抜くときは、［電源］で電源を切ったあとで抜いてください。**
- **長時間使わないときは、プリントヘッドが劣化しないように、1 か月に 1 回程度、白黒とカラーの両方で印刷やコピーを行うか、プリントヘッドをクリーニングすることをおすすめします。**
- **プリントヘッドには、高精度の印刷のために多くのノズルがあります。フェルトペンやマジックを長時間使わないと、キャップをしていても、自然にペン先が乾いて書けなくなるのと同じように、プリントヘッドのノズルもインクで目詰まりすることがあります。定期的に印刷やクリーニングを行うと、このような目詰まりを未然に防ぐことができます。**

参考

- 動作中は、［電源］を押しても、電源を切ることはできません。
- 本機は電源コードを差し込んだあと、最初の印刷を行う前にプリントヘッドのクリーニングを行います。印刷品質は維持されますが、クリーニングのたびに少量のインクが消費されます。［電源］で電源を切ることをおすすめします。
- 本機は電源を切るとファクスを受信することができません。

■ LCD ディスプレイ



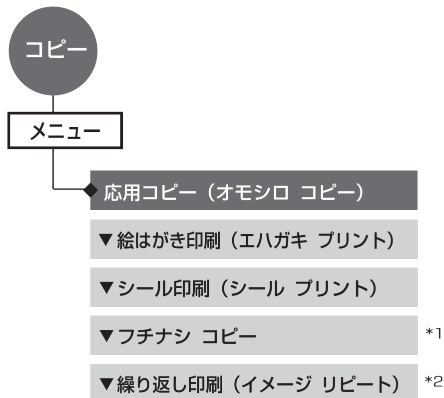
(1) **給紙切替**	選択している給紙箇所に ▶ が表示されます。オートシートフィーダを選択しているときは上に、カセットを選択しているときは下に、表示されます。
(2) **フチなしコピー**	フチなしコピーに設定しているときに表示されます。
(3) **両面コピー**	両面コピーに設定しているときに表示されます。
(4) **インク残量**	インク残量が表示されます。左から、7BK/3eBK/7Y/7M/7C の順に表示されます。詳しくは、119 ページをご覧ください。
(5) **メッセージ**	メッセージ、メニュー項目、動作状況が表示されます。

メニュー一覧

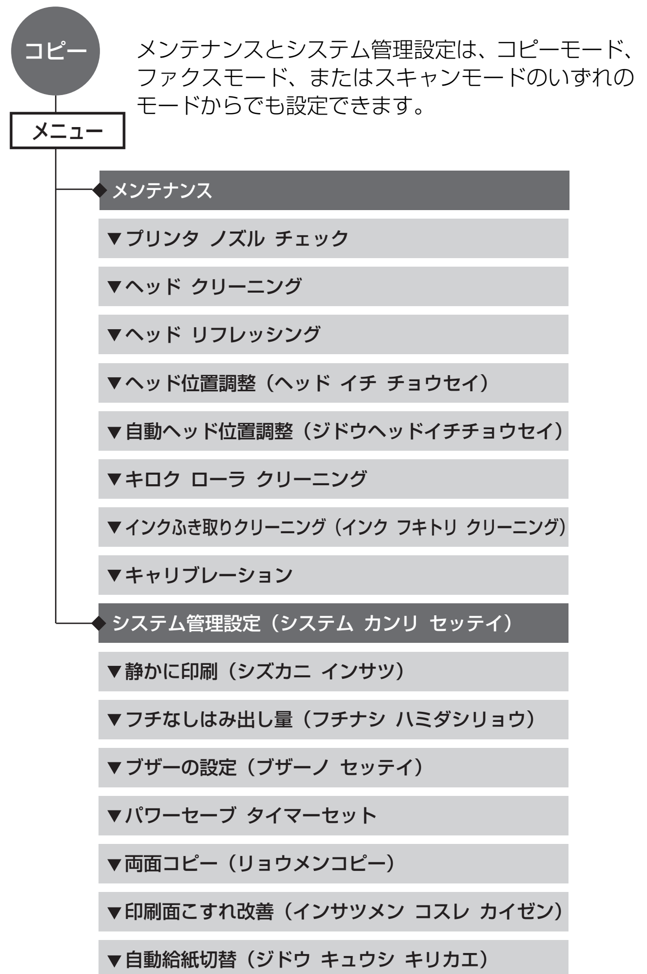
本機の機能を設定するときに、この一覧表を参考にしてください。



- 応用コピーの詳細については、4 章をご覧ください。
- メンテナンスおよびシステム管理設定の詳細については、14 章をご覧ください。



メンテナンスとシステム管理設定は、コピーモード、ファクスモード、またはスキャンモードのいずれのモードからでも設定できます。



*1 この機能は、用紙サイズを〈A4〉、〈LTR〉、〈ハガキ〉、〈L バン〉、〈2L バン〉、〈メイシ〉に設定したときだけ使うことができます。
*2 繰り返し印刷（イメージリピート）で手動を選んだときは、縦方向と横方向の繰り返し回数（1～4回）を選択できます。



- ファクスの詳細については、7 章、8 章、または 9 章をご覧ください。
- 太字は工場出荷時の設定です。

ファクス

メニュー

ファクス仕様設定（ファクス シヨウ セッテイ）

▼受信モード（ジュシンモード）

- ファクス/電話切替え（FAX/TEL キリカエ）
- **自動受信モード（ジドウ ジュシン モード）**
- 手動受信モード（シュドウ ジュシン モード）
- 留守番電話接続モード（ルスTEL セツゾク モード）

▼メモリ照会（メモリ ショウカイ）

- 原稿リスト（ゲンコウ リスト）
- 原稿プリント（ゲンコウ プリント）
- 原稿クリア（ゲンコウ クリア）

▼レポート/リスト

- 通信管理レポート（ツウシンカンリ レポート）
- ダイヤルリスト
- ユーザデータリスト
- 原稿リスト（ゲンコウ リスト）

▼電話番号登録（デンワバンゴウ トウロク）

- ワンタッチダイヤル（ワンタッチ ダイヤル）
- 短縮ダイヤル（タンシュク ダイヤル）
- グループダイヤル（グループ ダイヤル）

▼基本設定（キホン セッテイ）

- 日付/時刻設定（ヒヅケ/ジコク セット）
- 日付/時刻タイプ（ヒヅケ/ジコク タイプ）
- ユーザ電話登録（ユーザ TEL トウロク）
- ユーザ略称登録（ユーザ リャクショウ トウロク）
- 発信元記録（ハッシンモト キロク）
  - **付ける（ツケル）**
    - 発信元記録位置（ハッシンモト キロク イチ）
    - 電話番号マーク（デンワバンゴウ マーク）
  - 付けない（ツケナイ）
- オフフックアラーム
- 音量調整（オンリョウ チョウセイ）
  - 通信音量（ツウシン オンリョウ）
- 回線種別自動（カイセンシュベツ ジドウ）
  - **する（スル）**
  - しない（シナイ）
    - 回線種類選択（カイセン シュルイ センタク）
      - **ダイヤル回線（ダイヤル カイセン）**
        - ダイヤルスピード選択（ダイヤル スピード センタク）
      - プッシュ回線（プッシュ カイセン）
- 通信管理レポート（ツウシンカンリ レポート）

▼送信機能設定（ソウシン キノウ セッテイ）

- ECM送信（ECM ソウシン）
- ポーズ時間設定（ポーズ ジカン セット）
- 自動リダイヤル（ジドウ リダイヤル）
  - **する（スル）**
  - しない（シナイ）
- 送信スタートスピード（ソウシン スタート スピード）
- カラーダイレクト送信（カラー ダイレクト ソウシン）
  - **しない（シナイ）**
  - する（スル）
- 送信結果レポート（ソウシンケッカ レポート）
- ダイヤルトーン検知（ダイヤルトーン ケンチ）
  - **する（スル）**
  - しない（シナイ）

▼受信機能設定（ジュシン キノウ セッテイ）

- ECM受信（ECM ジュシン）
- FAX/TEL切替え（FAX/TEL キリカエ）
  - 呼び出し開始時間（ヨビダシ カイシ ジカン）
  - 呼び出し時間（ヨビダシ ジカン）
  - 呼び出し後の動作（ヨビダシゴノ ドウサ）
- 着信呼び出し（チャクシン ヨビダシ）
  - **しない（シナイ）**
  - する（スル）
- 自動受信切替え（ジドウ ジュシン キリカエ）
  - **しない（シナイ）**
  - する（スル）
- リモート受信（リモート ジュシン）
  - **する（スル）**
  - しない（シナイ）
- 画像縮小（ガゾウ シュクショウ）
  - **する（スル）**
  - しない（シナイ）
- 受信スタートスピード（ジュシン スタート スピード）
- 受信結果レポート（ジュシンケッカ レポート）

2章

原稿を用意しよう

こんな原稿が使えます

原稿台ガラスまたは ADF（自動原稿給紙装置）にセットして、コピー、ファクス、またはスキャンできる原稿は、次のとおりです。

	原稿台ガラス	ADF（自動原稿給紙装置）
原稿の種類	• 特殊な種類の用紙 • 写真 • 本 • ADF（自動原稿給紙装置）にセットできない原稿	サイズ、厚さ、および重さが同じ、1 枚以上の原稿
サイズ（幅×長さ）	最大 216 mm × 297 mm	• 最大 216 mm × 1 m • 最小 105 mm × 148 mm
枚数	• 1 枚 • PC マルチスキャンは 10 枚まで	• A4 とレター：最大 35 枚（75g/m^2） • リーガル：最大 30 枚（75g/m^2） • 上記以外の原稿：最大 1 枚
厚さ	最大 20 mm	0.06 ～ 0.13 mm
質量	–	50 ～ 90g/m^2



PC マルチスキャンとは、2 枚以上の原稿（小さいサイズの原稿）を、一度にまとめて読み込む機能です。詳しくは、『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

原稿をセットしよう

原稿台ガラスまたは ADF（自動原稿給紙装置）にコピー、ファクス、またはスキャンしたい原稿をセットします。



- 原稿にのり、インク、修正液などを使ったときは、完全に乾いてからセットしてください。
- 原稿にホチキスの針やクリップなどが付いていないことを確認してからセットしてください。
- リーガルサイズの原稿は、ADF（自動原稿給紙装置）にセットしてください。
- 次のような原稿は ADF（自動原稿給紙装置）にセットしないでください。紙づまりの原因となります。
  – しわや折れ目のある原稿
  – 丸まっている原稿
  – 破れている原稿
  – 穴のあいている原稿
  – カーボン紙がついている原稿
  – 表面加工が施されている原稿
  – 薄質半透明紙または薄すぎる原稿

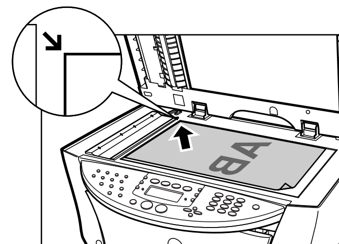
■原稿台ガラスにセットする

1 原稿台カバーを開けます。

2 原稿を原稿台ガラスにセットします。

原稿はコピー、ファクス、またはスキャンする面を下向きにして原稿台にのせてください。

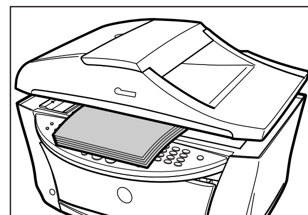
原稿の左上隅を原稿台ガラスの左上隅にある矢印（原稿位置合わせマーク）に合わせます。





- 原稿台ガラスの奥側の端から約 1 mm と左側の端から約 2 mm は読み込めません。
- 本などの厚い原稿（最大 20 mm）を読み込むこともできます。原稿をセットするときと同じように、原稿台ガラスにセットします。

3 原稿台カバーをゆっくり閉じます。



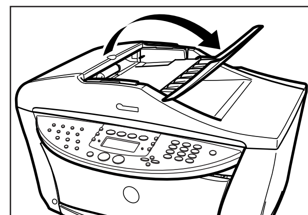
■ADF（自動原稿給紙装置）にセットする



原稿をよりきれいに読み込みたいときは、原稿台ガラスにセットしてください。

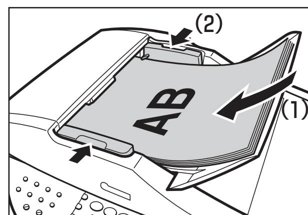
1 原稿台ガラスに原稿がないことを確認します。

2 原稿トレイを開けます。



3 原稿を ADF（自動原稿給紙装置）にセットし、ピッという音が鳴るまで差し込みます (1)。

原稿はコピー、ファクス、またはスキャンする面を上向きにして ADF（自動原稿給紙装置）にのせてください。



4 原稿ガイドを原稿の幅に合わせます (2)。

3章

用紙をセットしよう

用紙にはこんな種類があります

本機で使える用紙の種類について説明します。オートシートフィーダまたはカセットに用紙をセットするときは、次の条件に合ったものをお使いください。

用紙の名称	型番	積載枚数		PC プリンタドライバの設定［用紙の種類］
		オートシートフィーダ	カセット	
普通紙	—	約 150 枚	約 150 枚	普通紙
封筒	—	約 10 枚	約 5 枚	封筒
官製はがき／インクジェット官製はがき／往復はがき *1	—	約 40 枚	約 40 枚	［用紙の種類］でセットするはがきの種類を選択 （→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））
スーパーホワイトペーパー	SW-101 SW-201	厚さ 13 mm 以下	厚さ 13 mm 以下	普通紙
プロフェッショナルフォトペーパー	PR-101 A4 PR-101 L PR-101 2L	10 枚 *2 20 枚 10 枚	10 枚 *2 20 枚 10 枚	プロフォトペーパー
プロフェッショナルフォトはがき	PH-101	20 枚	20 枚	プロフォトペーパー（通信面） はがき（宛名面）
スーパーフォトペーパー	SP-101 A4 SP-101 L SP-101 2L SP-101 パノラマ	10 枚 20 枚 10 枚 10 枚	10 枚 20 枚 10 枚 10 枚	スーパーフォトペーパー
スーパーフォトペーパー・両面	SP-101D A4 SP-101D 2L	10 枚 10 枚	10 枚 10 枚	スーパーフォトペーパー両面
スーパーフォトペーパー・シルキー	SG-101 A4 SG-101 L	10 枚 20 枚	10 枚 20 枚	スーパーフォトペーパー
マットフォトペーパー	MP-101 A4 MP-101 L	10 枚 20 枚	10 枚 20 枚	マットフォトペーパー
キヤノン光沢紙	GP-401 A4	10 枚	10 枚	光沢紙
エコノミーフォトペーパー	EC-101 L EC-101 カード	20 枚 20 枚	20 枚 使用できません	光沢紙
フォト光沢ハガキ	KH-201N	20 枚	20 枚	光沢紙（通信面） はがき（宛名面）

用紙の名称	型番	積載枚数		PC プリンタドライバの設定［用紙の種類］
		オートシートフィーダ	カセット	
ハイグレードコートはがき	CH-301	40 枚	40 枚	インクジェット官製葉書（通信面） はがき（宛名面）
高品位専用紙	HR-101S A4 HR-101S B5	約 80 枚	約 80 枚	高品位専用紙
T シャツ転写紙 *1	TR-301	1 枚	1 枚	T シャツ転写紙
OHP フィルム	CF-102	30 枚	30 枚	OHP フィルム
片面光沢名刺用紙 *3*4*5	KM-101	20 枚	使用できません	スーパーフォトペーパー
両面マット名刺用紙 *3*5	MM-101	20 枚	使用できません	スーパーフォトペーパー（写真・イラスト） 普通紙（文字）
フォトシールセット *3 （2 面／ 4 面／ 9 面／ 16 面）	PSHRS	1 枚	使用できません	インクジェット官製はがきまたはスーパーフォトペーパー
ピクサスプチシール *3 （16 面光沢フォトシール）	PS-101	1 枚	使用できません	インクジェット官製はがきまたはスーパーフォトペーパー
ピクサスプチシール・フリーカット *3	PS-201	1 枚	使用できません	インクジェット官製はがきまたはスーパーフォトペーパー

「型番」のあるものは、キヤノン製専用紙です。

*1 パソコンからの印刷にのみ使用できます。

*2 用紙がうまく送れない場合、用紙が貼り付くのを防ぐため、1 枚ずつはがして必要枚数（最大 10 枚）をセットしてください。

*3 Windows をお使いの場合は、専用のソフトウェア（プチプリント for PIXUS）を使うと、印刷の設定が簡単にできます。ホームページ（http://www.canon.jp/pixus）よりダウンロードできます。

*4 裏面には印刷しないでください。

*5 テキストデータを印刷する場合、データは名刺サイズ（55 mm × 91 mm）で作成し、上下左右の余白を 5 mm 程度に設定してください。詳しくは『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

■ 用紙の取り扱いと保管

使用できない用紙について

次のような用紙は使えません。

- 折れている／カールしている／しわが付いている用紙
- フラップ（ふた）が二重、またはシールになっている封筒
- 濡れている用紙
- 穴のあいている用紙（ただし、ルーズリーフはオートシートフィーダのみ使用できます。）
- 薄すぎる用紙（重さ 64 g/m^2 未満）
- 厚すぎる用紙（重さ 105 g/m^2 を超えるもの）※ キヤノン純正紙以外
- 写真付きはがきやステッカーを貼ったはがき
- 型押しやコーティングなどの加工された封筒
- 絵はがき
- 折り目のついた往復はがき

用紙の取り扱いについて

- できるだけ用紙の端を持ち、印刷する面には触れないでください。印刷する面が傷ついたり、汚れたりすると、きれいに印刷できません。
- インクが乾くまで、印刷した面には触れないでください。また、印刷済みの用紙を濡らしてしまった場合は、乾くまで印刷した面に触れないでください。
- 大量にインクを使う印刷をすると、用紙が丸まったり、印刷した面が汚れたりすることがあります。このような場合は、プリンタのプロパティ画面の［ユーティリティ］タブ（Windows）または BJ Printer Utility（Macintosh）のポップアップメニューの［特殊設定］で［用紙のこすれを防止する］の設定を行ってください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））丸まりやすい用紙には、写真や図の入った文書は印刷しないで、テキストだけの文書を印刷するようにしてください。
- 用紙が丸まっているときは、反対方向に丸めて伸ばしてください。
- 使わない用紙は、元の袋や包装紙に入れて、直射日光の当たらない、涼しく湿気の少ない場所に保管してください。

プロフェッショナルフォトペーパーの取り扱いと保管

- インクが乾くまで（約 30 分）印刷した面には触れないでください。色の濃い画像を印刷すると、画像がはっきりしないことがありますが、30 分程度で正常な発色になります。
- インクが完全に乾く前にアルバムに貼るとインクがにじむことがあります。1 日（24 時間）おいてからアルバムに貼ることをおすすめします。
- 印刷した面をドライヤーで乾かしたり、直射日光に当てたりしないでください。
- 印刷した用紙を、温度の高い場所や湿気のある場所に置かないでください。また、熱や直射日光に当てないでください。
- 外気や日光にさらされないように、アルバムや写真立て、プレゼンテーション用のバインダーなどに入れて保管してください。
- 粘着タイプのアルバムシートには、貼らないでください。はがせなくなることがあります。
- プラスチックのクリアフォルダーやアルバムに保管すると、用紙の端が黄ばむことがあります。

用紙のサイズと種類を設定しよう

コピー、またはファクスを受信するときは、オートシートフィーダまたはカセットにセットした用紙のサイズと種類を操作パネルで設定してください。



- コピーするときは、4 章を参照して用紙のサイズを設定してください。
- フォトプリントをするときは、5 章を参照して用紙のサイズを設定してください。
- ファクスを受信するときは、9 章を参照して用紙のサイズを設定してください。
- PC パソコンから印刷するときは、パソコンで用紙のサイズと種類を設定できます。
（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））

オートシートフィーダとカセットについて

本機は、背面のオートシートフィーダと前面のカセットの 2 つに用紙をセットできます。

オートシートフィーダ　小さいサイズの用紙なども手軽にセットできるので、いろいろなサイズや種類の用紙を、頻繁に取りかえて印刷する場合に便利です。

カセット　よく使う用紙をセットしておく使い方ができるので、印刷するたびに用紙を追加する手間を省けます。決まった種類の用紙に大量に印刷する場合に便利です。

次に、オートシートフィーダとカセットの 2 つを利用した使いかたを説明します。

■ 給紙箇所を選択する

次のように操作してください。

1 ［給紙切替］を押します。

例：



例：



マエ：　カセットから給紙します。

ウシロ：オートシートフィーダから給紙します。



［給紙切替］を押すたびに、給紙箇所が切りかわります。

■ 2 つの給紙箇所に同じサイズの用紙をセットして連続コピーをする

設定した給紙箇所に用紙がなくなった場合に、他の給紙箇所からコピーすることができます。



- **この機能は、2 つの給紙箇所にセットしている用紙のサイズと種類が同じときのみ有効になります。**
- **この機能は、2 つの給紙箇所にセットしている用紙のサイズが、A4 またはレターのときのみ有効になります。**
- **この機能は、ファクスを受信するときも有効になります。**

次のように操作してください。

1 ［メニュー］で〈4. システム カンリ セッテイ〉を選びます。



表示されるメニュー番号は、選択しているモードによって異なります。

2 ［◄］または［►］で〈ジドウ キュウシ キリカエ〉を選びます。

4．システム カンリ セッテイ
◄ ジ ド ウ キュウシ キリカエ

3 ［OK］を押します。

例： ジ゛ド゛ウ キュウシ キリカエ
＊シナイ ▶

4 ［◀］または［▶］で連続給紙をするかどうかを選びます。

スル： 連続給紙をします。

シナイ： 連続給紙をしません。

5 ［OK］を押します。

オートシートフィーダに用紙をセットする

■ 普通紙や専用紙をセットする場合



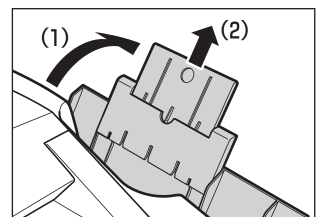
ファクスを受信するときは、普通紙（A4、レター、またはリーガル）をセットしてください。



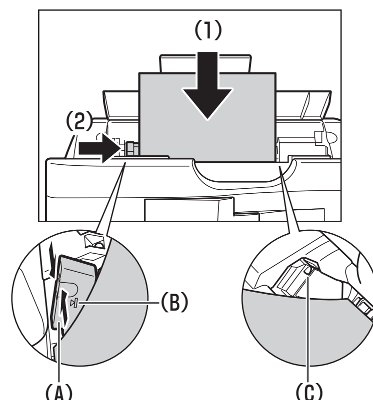
- カセットへのセットのしかたは、28 ページをご覧ください。
- 封筒のセットのしかたは、25 ページをご覧ください。
- はがきのセットのしかたは、27 ページをご覧ください。

次のように操作してください。

1 オートシートフィーダを開け (1)、用紙サポートを引き上げます (2)。



2 用紙の束を（印刷する面を上にして）オートシートフィーダにセットして（1）、用紙ガイド（A）の下の方をつまんで動かし、用紙の左端にぴったりと合わせます（2）。



重要
- 最大用紙量のマーク（B）を超えないように注意してください。
- （C）に用紙がかからないようにしてください。用紙がかかっていると、斜めに送られてしまうことがあります。

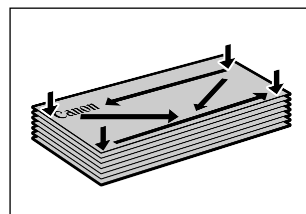
■ 封筒をセットする場合

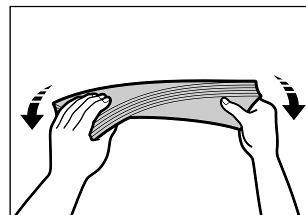
参考
- Mac OS X では、長形 3 号／ 4 号の封筒は印刷できません。
- Windows 98/Me をお使いの場合で、長形 3 号／ 4 号の封筒に印刷するときは［バックグラウンド印刷］にチェックマークをつけてください。チェックマークがついていないと正しい向きに印刷されません。バックグラウンド印刷の設定を確認するには、プリンタのプロパティ画面の［ページ設定］タブの［プリンタ制御］をクリックしてください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））

次のように操作してください。

1 オートシートフィーダを開け、用紙サポートを引き上げます。

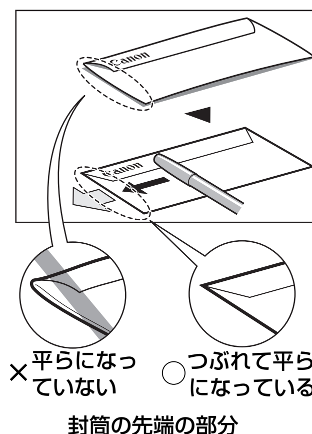
2 封筒を用意します。





重要
- 封筒の四隅を押して端をそろえます。また、フタの部分も押してまっすぐ伸ばしてください。
- 封筒が反っているときは、封筒の対角線上の端を持ち、ゆっくりと曲げて、まっすぐにします。

- 封筒の先端がふくらんでいたり、反っていたりするときは、平らな場所に置いて、ペンの軸などを使って、しっかりとつぶします。封筒の中央から左右にしごいてください。
- 反りやふくらみがなく、厚さが 3 mm 以内になるようにします。



封筒の先端の部分

3 封筒の束を（印刷する面を上にして）オートシートフィーダにセットして（1)、用紙ガイド (A) の下の方をつまんで動かし、封筒の左端にぴったりと合わせます (2)。

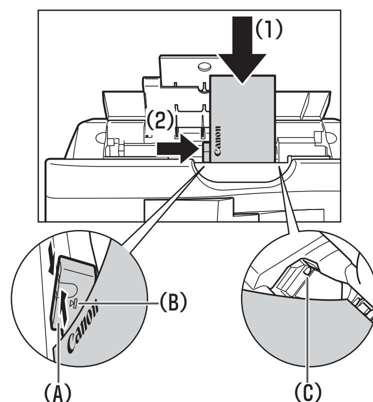
封筒の短い辺を下にして、オートシートフィーダに差し込んでください。

重要

- 最大用紙量のマーク (B) を超えないように注意してください。
- (C) に用紙がかからないようにしてください。用紙がかかっていると、斜めに送られてしまうことがあります。

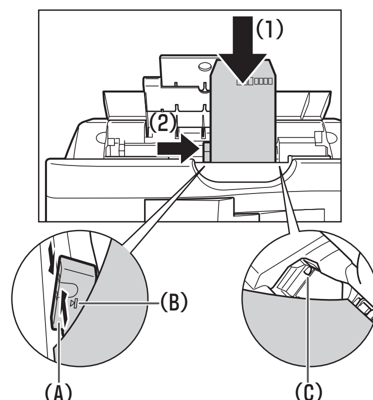
洋形封筒の場合：

1. フタの部分を左側にしてオートシートフィーダに差し込んでください。



■ 長形封筒の場合：

1. フタの部分を折らずに郵便番号を上にして、オートシートフィーダに差し込んでください。



■ はがきをセットする場合

次のように操作してください。

1 オートシートフィーダを開け、用紙サポートを引き上げます。

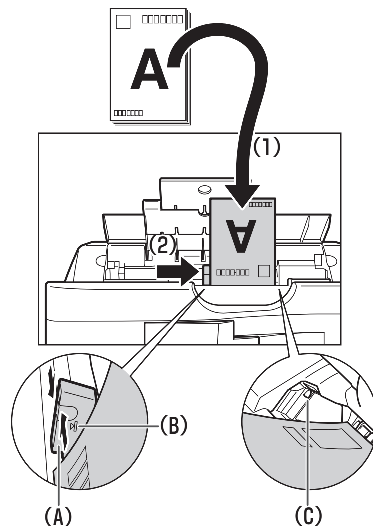
2 セットするはがきの四隅をそろえます。

はがきが丸まっているときは、逆向きに曲げて直してください。

3 はがきを（印刷する面を上にして）オートシートフィーダにセットして（1)、用紙ガイド（A）の下の方をつまんで動かし、はがきの左端にぴったりと合わせます (2)。

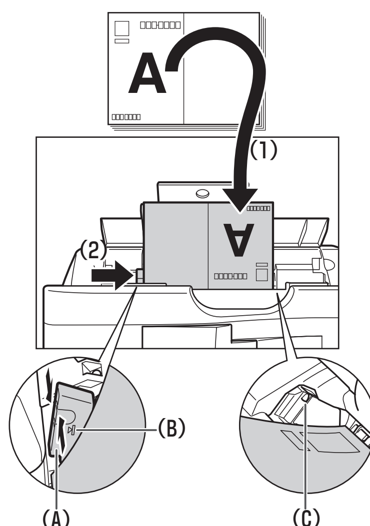
はがきの短い辺を下にしてオートシートフィーダに差し込んでください。

写真付きはがきやステッカーが貼ってあるはがきには印刷できません。



重要

- 最大用紙量のマーク (B) を超えないように注意してください。
- (C) に用紙がかからないようにしてください。用紙がかかっていると、斜めに送られてしまうことがあります。



参考

- 一般の官製はがき、インクジェット官製はがき、お年玉付き年賀はがき、往復はがきをセットできます。
- 往復はがきは折り曲げないでください。折り目がつくと、正しく給紙できず、紙づまりの原因になります。
- 往復はがきにフチなし全面印刷はできません。
- 自動両面印刷を行う場合は、宛名面→通信面の順に印刷してください。はがきの両面に 1 面ずつ印刷するときは、通信面を印刷したあとに宛名面を印刷することをおすすめします。このとき、通信面の先端がめくれたり傷が付いたりする場合は、宛名面から印刷すると状態が改善することがあります。

カセットに用紙をセットする

■ 普通紙や専用紙をセットする場合

重要

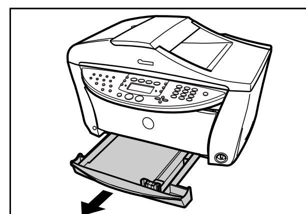
- ファクスを受信するときは、普通紙（A4、またはレター）をセットしてください。
- 用紙サイズによっては、必ずオートシートフィーダを使わなければならないものがあります。カセットだけを使用したい場合は、ご利用に支障がないかあらかじめご確認ください。（→ 20 ページ）

参考

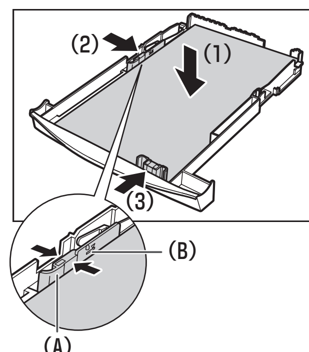
- プロフェッショナルフォトペーパーなどの写真専用紙をお使いの場合、カセットに用紙をセットしたままにしないでください。用紙が変色することがあります。
- オートシートフィーダへのセットのしかたは、24 ページをご覧ください。
- 封筒のセットのしかたは、29 ページをご覧ください。
- はがきのセットのしかたは、31 ページをご覧ください。

次のように操作してください。

1 カセットを手前に引き出します。



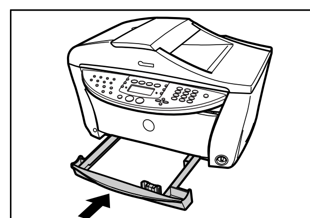
2 用紙の束を（印刷する面を下にして）カセットにセットして (1)、用紙ガイド (A) をつまんで動かし、用紙の左端にぴったりと合わせます (2)。同様に、用紙の手前もぴったりと合わせます (3)。





最大用紙量のマーク (B) を超えないように注意してください。

3 カセットを本機にセットします。



■ 封筒をセットする場合



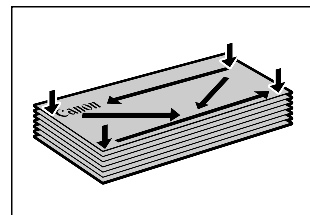
- Mac OS X では、長形 3 号／ 4 号の封筒は印刷できません。
- Windows 98/Me をお使いの場合で、長形 3 号／ 4 号の封筒に印刷するときは［バックグラウンド印刷］にチェックマークをつけてください。チェックマークがついていないと正しい向きに印刷されません。バックグラウンド印刷の設定を確認するには、プリンタのプロパティ画面の［ページ設定］タブの［プリンタ制御］をクリックしてください。(→『ソフトウェアガイド』(電子マニュアル))

次のように操作してください。

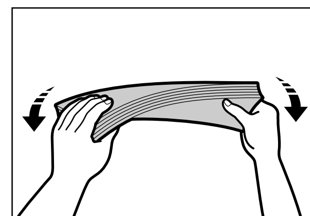
1 カセットを手前に引き出します。

2 封筒を用意します。



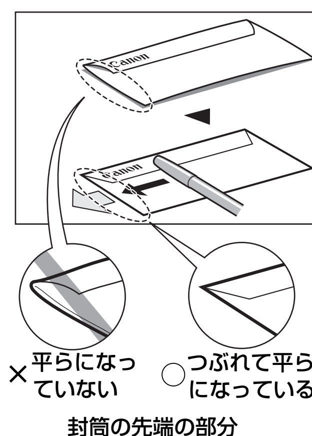


- 封筒の四隅を押して端をそろえます。また、フタの部分も押してまっすぐ伸ばしてください。



- 封筒が反っているときは、封筒の対角線上の端を持ち、ゆっくりと曲げて、まっすぐにします。

- 封筒の先端がふくらんでいたり、反っていたりするときは、平らな場所に置いて、ペンの軸などを使って、しっかりとつぶします。封筒の中央から左右にしごいてください。
- 反りやふくらみがなく、厚さが 3mm 以内になるようにします。



封筒の先端の部分

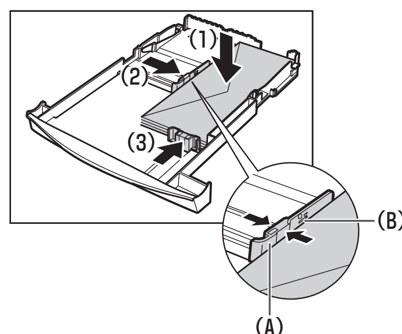
3 封筒の束を（印刷する面を下にして）カセットにセットして（1)、用紙ガイド (A) をつまんで動かし、封筒の左端にぴったりと合わせます (2)。同様に、封筒の手前もぴったりと合わせます (3)。


重要

最大用紙量のマーク (B) を超えないように注意してください。

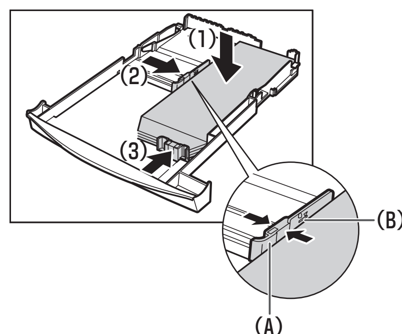
洋形封筒の場合：

1. フタの部分を左側にしてセットしてください。

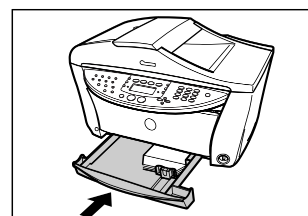


長形封筒の場合：

1. フタの部分を折らずにフタを手前にして、セットしてください。



4 カセットを本機にセットします。



■ はがきをセットする場合

次のように操作してください。

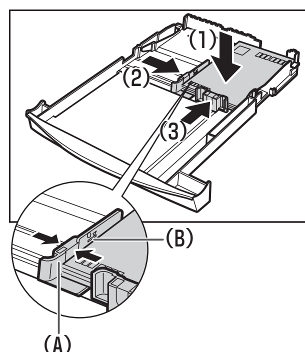
1 カセットを手前に引き出します。

2 セットするはがきの四隅をそろえます。

はがきが丸まっているときは、逆向きに曲げて直してください。

3 はがきを（印刷する面を下にして）カセットにセットして (1)、用紙ガイド (A) をつまんで動かし、はがきの左端にぴったりと合わせます (2)。同様に、はがきの手前もぴったりと合わせます (3)。

写真付きはがきやステッカーが貼ってあるはがきには印刷できません。

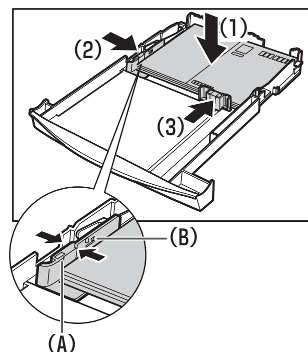


重要

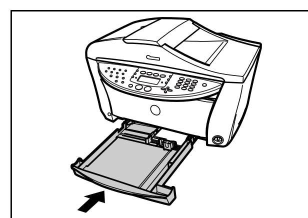
最大用紙量のマーク (B) を超えないように注意してください。

参考

- 一般の官製はがき、インクジェット官製はがき、お年玉付き年賀はがき、往復はがきをセットできます。
- 往復はがきは折り曲げないでください。折り目がつくと、正しく給紙できず、紙づまりの原因になります。
- 往復はがきにフチなし全面印刷はできません。
- 自動両面印刷を行う場合は、宛名面→通信面の順に印刷してください。はがきの両面に 1 面ずつ印刷するときは、通信面を印刷したあとに宛名面を印刷することをおすすめします。このとき、通信面の先端がめくれたり傷が付いたりする場合は、宛名面から印刷すると状態が改善することがあります。



4 カセットを本機にセットします。



4章 コピーをとろう

コピーできる原稿は

コピーできる原稿の種類や条件、セットのしかたについては、2 章をご覧ください。

コピーしてみよう

カラーコピーまたは白黒コピーするときは、画質や濃度をかえたり、原稿を拡大／縮小させることもできます。



電源を入れたあとやパワーセーブ（→ 132 ページ）から復帰したあとすぐにコピーすると、画像をきれいに読み込めないことがあります。1 分以上たってからコピーしてください。

次のように操作してください。

1 原稿台ガラスまたは ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットします。



原稿をセットする方法については、18 ページをご覧ください。

2 [コピー] を押します。

3 [給紙切替] で給紙箇所を設定して、設定した給紙箇所に用紙をセットします。



- 給紙切替の設定は、23 ページをご覧ください。
- 用紙の種類については、20 ページをご覧ください。
- 用紙のセットのしかたについては、24、28 ページをご覧ください。

4 [◄] か [►] またはテンキーで、コピー部数（最大 99 枚）を指定します。

例：

100%	A4	フツウ	03
◖□■□◗	フツウシ		



オートシートフィーダまたはカセットに一度にセットできる枚数については、20 ページをご覧ください。

5 必要に応じて、設定を調整します。



- 用紙サイズと種類の設定は、33 ページをご覧ください。
- 画質の選びかたは、35 ページをご覧ください。
- 濃度の選びかたは、35 ページをご覧ください。
- 拡大／縮小の選びかたは、36 ページをご覧ください。

6 カラーコピーをする場合は［カラースタート］を押し、白黒コピーをする場合は［モノクロスタート］を押します。

コピーが開始されます。



- コピーを中止するときは、［ストップ／リセット］を押します。
- コピーモード（［コピー］を押したあとの状態）でも、ファクスは受信されます。

用紙のサイズと種類を設定しよう

コピーをするときは、オートシートフィーダまたはカセットにセットした用紙のサイズと種類を操作パネルで設定してください。



用紙サイズによっては、必ずオートシートフィーダを使わなければならないものがあります。カセットだけを使用したい場合は、ご利用に支障がないかあらかじめご確認ください。（→ 20 ページ）



用紙の種類については、20 ページをご覧ください。

次のように操作してください。

1 ［コピー］を押します。

2 ［給紙切替］で給紙箇所を設定して、設定した給紙箇所に用紙をセットします。



- 給紙切替の設定は、23 ページをご覧ください。
- 用紙の種類については、20 ページをご覧ください。
- 用紙のセットのしかたについては、24、28 ページをご覧ください。

3 ［用紙］を押します。

例：

サイズ゛ ：	◀ ＊A4 ▶	
カミシュ ：	＊フツウシ	

4 ［◄］か［►］で、用紙のサイズを選びます。

A4：	A4 サイズ
LTR：	レターサイズ
LGL：	リーガルサイズ
B5：	B5 サイズ
A5：	A5 サイズ
ハガキ：	はがき
L バン：	写真 L 判
2L バン：	写真 2L 判
メイシ：	名刺サイズ



［給紙切替］で〈ウシロ〉（オートシートフィーダ）に設定したときだけ、〈LGL〉と〈メイシ〉が選べます。

5 ［OK］を押します。

例：

サイズ゛ ：	＊A4	
カミシュ ：	◀ ＊フツウシ ▶	

6 ［◄］か［►］で、用紙の種類を選びます。

フツウシ：	普通紙に適しています。
コウタク：	フォト光沢紙に適しています。
コウヒンイ：	高品位専用紙に適しています。
OHP フィルム：	OHP フィルムに適しています。
プロフォト：	プロフェッショナルフォトペーパーに適しています。
スーパーフォト：	スーパーフォトペーパーに適しています。
ソノタ フォト：	上記用紙以外のフォト紙のとき、または用紙の種類がよくわからないときに選びます。用紙の種類によっては最適な印刷結果が得られないこともありますので、写真をきれいにコピーしたい場合は、キヤノン純正のプロフェッショナルフォトペーパーかスーパーフォトペーパーをおすすめします。
インクジェット：	インクジェット官製はがきやハイグレードコートはがきに適しています。
フォト：	プロフェッショナルフォトはがきに適しています。



- 用紙サイズで〈ハガキ〉を選んだときは〈フツウシ〉、〈インクジェット〉、または〈フォト〉が選べます。
- 用紙サイズで〈メイシ〉を選んだときは〈コウタク〉に設定されます。

7 ［OK］を押します。

画質をかえる

コピーしたい原稿に合わせて画質を調整することができます。

次のように操作してください。

1 [コピー] を押します。

2 [画質] を押します。

例：

コピ゜ー ガ゛シツ
◀ ＊フツウ ▶

3 [◀] か [▶] で、画質を選びます。

フツウ：　通常の文字だけの原稿に適しています。
キレイ（フォト）：　写真のコピーに適しています。
ハヤイ：　低解像度での高速コピーに適しています。



用紙の種類で〈フツウシ〉を選んだときだけ、〈フツウ〉と〈ハヤイ〉を選ぶことができます。（→ 33 ページ）
その他の用紙を選んだときは〈キレイ（フォト）〉に設定されます。

4 [OK] を押します。



- 〈ハヤイ〉を選んで思ったような画質で印刷できないときは、〈フツウ〉または〈キレイ（フォト）〉を選んで、もう一度印刷してみてください。
- グレースケールでコピーしたいときは、〈キレイ（フォト）〉を選んでください。
  グレースケールとは、二値（2 階調）で表現している白黒に対し、グレーの濃淡を数多くの階調で表現したものです。

濃度（明るさ）をかえる

濃度（明るさ）とは、原稿を印刷するときの濃さを意味します。濃度を濃くすると暗い部分はより黒く、明るい部分はより白くなります。また、濃度を薄くするほど暗い部分と明るい部分の差がなくなります。濃度は 9 段階に切りかえることができます。

次のように操作してください。

1 [コピー] を押します。

2 ［濃度］を押します。

例：
```
ノウド
 -ウスク◖□□□□□■□□□□◗ コク+
```

3 ［◄］か［►］で、濃度を選びます。

［◄］を押すと薄くなり、［►］を押すと濃くなります。

4 ［OK］を押します。

拡大／縮小コピーする

原稿を拡大または縮小してコピーできます。拡大／縮小してコピーするには 3 通りの方法があります。

定型変倍　あらかじめ設定された倍率で拡大／縮小コピーすることができます。

ズーム　1% きざみで倍率を指定して、拡大／縮小コピーすることができます。

自動変倍　セットした用紙サイズにおさまるように自動的に拡大／縮小コピーします。

次に、それぞれの機能の使いかたを説明します。

■ あらかじめ設定された倍率を使って拡大／縮小する（定型変倍コピー）

定型変倍コピーは A4 から A5 への縮小、B5 から A4 への拡大など、用紙サイズを変更するときに便利です。

次のように操作してください。

1 ［コピー］を押します。

2 ［拡大／縮小］を押します。

例：
```
テイケイ ヘンバ゛イ
 -         100%         +
```

3 ［◀］か［▶］で、倍率を選びます。

25% サイショウ：　原稿を 25% 縮小してコピーします。
47% A4 →ハガキ：　A4 サイズの原稿をはがきサイズに縮小してコピーします。
70% A4 → A5：　A4 サイズの原稿を A5 サイズに縮小してコピーします。
86% A4 → B5：　A4 サイズの原稿を B5 サイズに縮小してコピーします。
100%：　サイズは変更されません。
115% B5 → A4：　B5 サイズの原稿を A4 サイズに拡大してコピーします。
141% A5 → A4：　A5 サイズの原稿を A4 サイズに拡大してコピーします。
200% ハガキ→ A4：はがきサイズの原稿を A4 サイズに拡大してコピーします。
400% サイダイ：　原稿を 400% 拡大してコピーします。



定型変倍を設定中にテンキーを使うと、パーセントで細かく指定する方法（ズームコピー）に切りかわります。

4 ［OK］を押します。

■ パーセントで細かく指定する方法（ズームコピー）

ズームコピーはパーセントを指定して拡大／縮小コピーします。原稿を微妙に拡大または縮小するときに便利です。

次のように操作してください。

1 ［コピー］を押します。

2 ［拡大／縮小］を 2 回押します。

例：
```
ズーム 25-400%
  -         100%          +
```

3 ［◀］か［▶］またはテンキーで、コピー倍率（25% ～ 400%）を指定します。

［◀］を押すと倍率が小さくなり、［▶］を押すと大きくなります。

［◀］か［▶］を押したままにするとコピー倍率を早く切りかえることができます。

4 ［OK］を押します。

■ 用紙におさまるようにコピーする（自動変倍コピー）

自動変倍コピーは、オートシートフィーダまたはカセットにセットした用紙サイズにおさまるように原稿を自動的に拡大、または縮小してコピーします。



- 原稿によっては、サイズを正しく検知できないことがあります。正しく検知できないときは定型変倍コピーかズームコピーを選んでください。
- この機能を使うときは、原稿を原稿台ガラスにセットしてください。

次のように操作してください。

1 ［コピー］を押します。

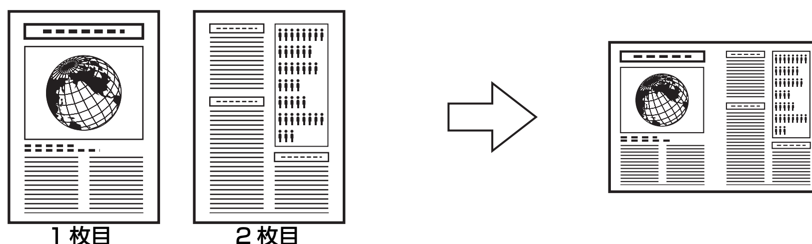
2 ［拡大／縮小］を 3 回押します。

ジ ド ウ ヘンバ イ

3 ［OK］を押します。

2 枚の原稿を 1 枚にコピーする（2 in 1 コピー）

2 枚の原稿を 1 枚の用紙におさまるように縮小してコピーすることができます。





- この機能は、両面コピー、電子コピー、おもしろコピー（絵はがきプリントやシールプリント、フチなしコピー、イメージリピートコピー）と組み合わせて設定することはできません。
- 読み込み中に〈メモリガ イッパイデス〉と表示された場合は、画質を〈フツウ〉に設定して、再度コピーしてください。（→ 35 ページ）

次のように操作してください。

1 原稿台ガラスまたは ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットします。

2 ［コピー］を押します。

3 ［給紙切替］で給紙箇所を設定して、設定した給紙箇所に用紙をセットします。



- 給紙切替の設定は、23 ページをご覧ください。
- 用紙の種類については、20 ページをご覧ください。
- 用紙のセットのしかたについては、24、28 ページをご覧ください。

4 ［◀］か［▶］またはテンキーで、コピー部数（最大 99 枚）を指定します。



オートシートフィーダまたはカセットに一度にセットできる枚数については、20 ページをご覧ください。

5 必要に応じて、設定を調整します。



- この機能は、用紙サイズを〈A4〉か〈LTR〉に設定したときだけ使うことができます。（→ 33 ページ）
- 用紙サイズと種類の設定は、33 ページをご覧ください。
- 画質の選びかたは、35 ページをご覧ください。
- 濃度の選びかたは、35 ページをご覧ください。
- 拡大／縮小は設定できません。

6 [2 in 1］を押します。

例：

```
 66%  A4   フツウ    01
2 in 1
```

〈A4〉、〈LTR〉以外の用紙サイズが選ばれているときは、次のように表示されます。

例：

```
サイズ゛ ： ◀    ＊A4     ▶
カミシュ ：     ＊フツウシ
```

［◀］か［▶］で、〈A4〉か〈LTR〉を選んで［OK］を押します。
［◀］か［▶］で、用紙の種類を選んで［OK］を押します。

7 カラーコピーをする場合は［カラースタート］を押し、白黒コピーをする場合は［モノクロスタート］を押します。

原稿台ガラスにセットしたとき：

1. 次のメッセージが表示されたあと、原稿台ガラスに 2 枚めの原稿をセットします。

```
ツギ゛ノ ヘ゜ージ゛   ：スタート
ヨミトリ シュウリョウ ：OK
```

1 枚の原稿で読み取りを終了するには、［OK］を押します。

2. ［カラースタート］または［モノクロスタート］を押します。

7 の操作で押したボタンと同じボタンを押してください。



7 の操作で押したボタンと同じでない場合は、コピーが開始されません。

ADF（自動原稿給紙装置）にセットしたとき：

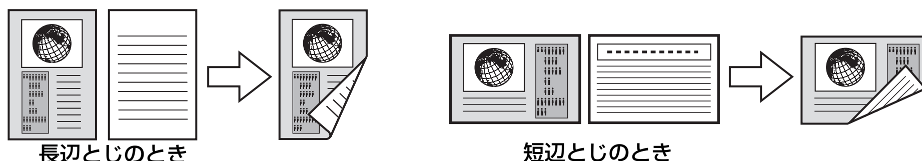
原稿の読み取りが終了したあと、自動的にコピーが始まります。



コピーを中止するときは、［ストップ／リセット］を押します。

用紙の両面にコピーする（両面コピー）

2 枚の原稿を 1 枚の用紙の両面にコピーすることができます。





とじしろの位置を設定することができます。詳しくは 42 ページをご覧ください。



この機能は、2 in 1 コピー、電子ソート、おもしろコピー（絵はがきプリントやシールプリント、フチなしコピー、イメージリピートコピー）と組み合わせて設定することはできません。

次のように操作してください。

1 原稿台ガラスまたは ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットします。

2 ［コピー］を押します。

3 ［給紙切替］で給紙箇所を設定して、設定した給紙箇所に用紙をセットします。



- 給紙切替の設定は、23 ページをご覧ください。
- 用紙の種類については、20 ページをご覧ください。
- 用紙のセットのしかたについては、24、28 ページをご覧ください。

4 ［◀］か［▶］またはテンキーで、コピー部数（最大 99 枚）を指定します。



オートシートフィーダまたはカセットに一度にセットできる枚数については、20 ページをご覧ください。

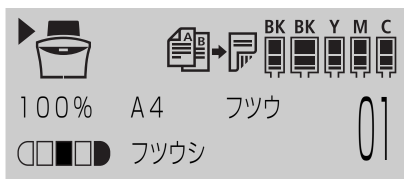
5 必要に応じて、設定を調整します。



- この機能は、用紙サイズを〈A4〉か〈LTR〉に設定したときだけ使うことができます。（→ 33 ページ）
- 用紙の種類は〈フツウシ〉に設定されます。〈フツウシ〉以外を選ぶことはできません。
- 画質の選びかたは、35 ページをご覧ください。
- 濃度の選びかたは、35 ページをご覧ください。
- 拡大／縮小の選びかたは、36 ページをご覧ください。
- 拡大／縮小の〈ジドウ ヘンバイ〉は選べません。

6 ［両面コピー］を押します。

例：



〈A4〉、〈LTR〉以外の用紙サイズが選ばれているときは、次のように表示されます。

例：



［◀］か［▶］で、〈A4〉か〈LTR〉を選んで［OK］を押します。

7 カラーコピーをする場合は［カラースタート］を押し、白黒コピーをする場合は［モノクロスタート］を押します。

原稿台ガラスにセットしたとき：

1. 次のメッセージが表示されたあと、原稿台ガラスに 2 枚めの原稿をセットします。

ツギ゛ ノ ペ゜ージ゛ ：スタート
ヨミトリ シュウリョウ ：OK

1 枚の原稿で読み取りを終了するには、［OK］を押します。

2. ［カラースタート］または［モノクロスタート］を押します。
7 の操作で押したボタンと同じボタンを押してください。



7 の操作で押したボタンと同じでない場合は、コピーが開始されません。

■ ADF（自動原稿給紙装置）にセットしたとき：

原稿の読み取りが終了したあと、自動的にコピーが始まります。



コピーを中止するときは、［ストップ／リセット］を押します。

■ 両面コピーのとじしろを設定する

次のように操作します。

1 ［コピー］を押します。

2 ［メニュー］で〈4. システム カンリ セッテイ〉を選びます。

3 ［◀］または［▶］で〈リョウメンコピー〉を選びます。

4．システム　カンリ　セッテイ
◀　リョウメンコピ゜ー　▶

4 ［OK］を押します。

例：

リョウメンコピ゜ー
＊ウラメン　ヲ　ハンテン　スル　▶

5 ［◀］または［▶］でとじる方向を選びます。

ウラメン ヲ ハンテン スル：用紙の長い辺でとじます。

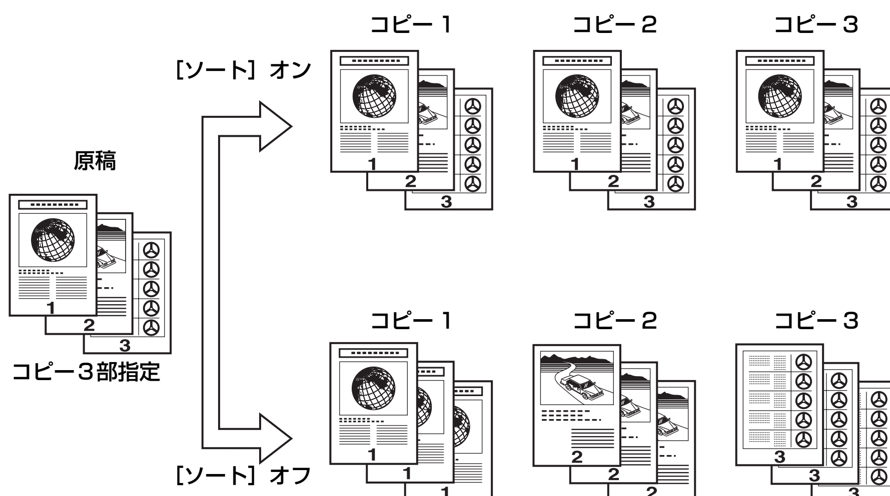
ウラメン ヲ ハンテン シナイ：用紙の短い辺でとじます。

6 ［OK］を押します。

7 ［ストップ／リセット］を押します。

コピーした用紙を 1 部ごとに分ける（電子ソート）

複数ページある原稿を複数部コピーするときに、1 部ずつまとめてコピーすることができます。



参考

- この機能は、2 in 1 コピー、両面コピー、おもしろコピー（絵はがきプリントやシールプリント、フチなしコピー、イメージリピートコピー）と組み合わせて設定することはできません。
- この機能を使うときは、原稿を ADF（自動原稿給紙装置）にセットしてください。
- この機能を使うと、きれいに印刷されないことがあります。きれいに印刷したいときは、電子ソートを使わずに印刷してください。

次のように操作してください。

1 ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットします。

2 ［コピー］を押します。

3 ［給紙切替］で給紙箇所を設定して、設定した給紙箇所に用紙をセットします。

参考

- 給紙切替の設定は、23 ページをご覧ください。
- 用紙の種類については、20 ページをご覧ください。
- 用紙のセットのしかたについては、24、28 ページをご覧ください。

4 ［◄］か［►］またはテンキーで、コピー部数（最大 99 枚）を指定します。

参考

オートシートフィーダまたはカセットに一度にセットできる枚数については、20 ページをご覧ください。

5 必要に応じて、設定を調整します。



- 用紙サイズと種類の設定は、33 ページをご覧ください。
- 画質の選びかたは、35 ページをご覧ください。
- 濃度の選びかたは、35 ページをご覧ください。
- 拡大／縮小の選びかたは、36 ページをご覧ください。
- 拡大／縮小の〈ジドウ ヘンバイ〉は選べません。

6 [ソート] を押します。

例：

100%	A4	フツウ	02
ソート			

7 [カラースタート] または [モノクロスタート] を押します。



- コピーを中止するときは、[ストップ／リセット] を押します。
- カラーコピーの場合は 5 枚まで、白黒コピーの場合は 10 枚まで、一度にコピーできます。

便利な機能

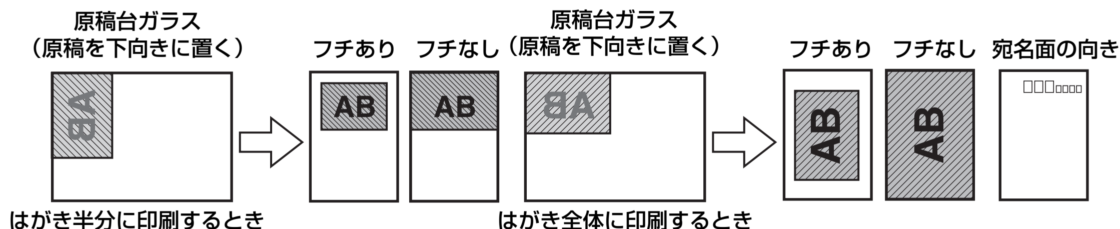
本機には、次の便利な機能があります。

絵はがきプリント	オリジナルの絵はがきを作ることができます。
シールプリント	オリジナルのシールを作ることができます。
フチなしコピー	用紙の全体に印刷することができます。
イメージリピートコピー	1 つの画像を 1 枚の用紙にくり返しコピーできます。

次に、それぞれの機能の使いかたを説明します。

■ 絵はがきを作る（絵はがきプリント）

L 判の写真やイラストを利用して、オリジナルの絵はがきを作ることができます。





- この機能を使うときは、原稿を原稿台ガラスにセットしてください。
- フチなしコピーは、インクジェット官製はがき、またはプロフェッショナルフォトはがきでのみ有効になります。
- 原稿がＬ判より大きい場合は、はがきからはみ出て印刷されます。

次のように操作してください。

1 原稿台ガラスに原稿をセットします。

2 ［コピー］を押します。

3 ［給紙切替］で給紙箇所を設定して、設定した給紙箇所に用紙をセットします。



- 給紙切替の設定は、23 ページをご覧ください。
- はがきの種類については、20 ページをご覧ください。
- はがきのセットのしかたについては、27、31 ページをご覧ください。

4 ［◄］か［►］またはテンキーで、コピー部数（最大 99 枚）を指定します。



オートシートフィーダまたはカセットに一度にセットできる枚数については、20 ページをご覧ください。

5 必要に応じて、設定を調整します。



- 濃度の選びかたは、35 ページをご覧ください。
- 画質、拡大／縮小は設定できません。

6 ［メニュー］を押します。

7 ［◄］か［►］で、〈エハガキ プリント〉を選びます。

1．オモシロ　コピ゜ー
　　　エハガ゛キ　プ゜リント　►

8 ［OK］を押します。

例：

レイアウト	：◄	ゼ゛ンタイ ►
フチ	：	アリ

9 ［◀］か［▶］で、レイアウトを選びます。

ゼンタイ：はがき全体に印刷します。
ハンブン：はがきの上半分に印刷します。

10 ［OK］を押します。

例：

レイアウト	：	ゼ゛ンタイ
フチ	：◀	アリ ▶

11 ［◀］か［▶］で、フチを付けるかどうかを選びます。

アリ：フチを付けて印刷します。
ナシ：フチなしで印刷します。



- フチなしで全面印刷をすると、画像ははがき全体にコピーされるように少し拡大されるため、画像の周囲がわずかに欠けます。
- フチありで全面印刷をすると、画像はほぼ原寸でコピーされますが、フチの分だけ画像の周囲が欠けます。
- カラーコピーのときだけフチなしコピーができます。

〈アリ〉を選んだとき：

1. ［OK］を押します。

例：

エハガ゛キ（ゼ゛ンタイ）	04
◐□■□◑ フツウシ	

2. 12 の操作に進みます。

〈ナシ〉を選んだとき：

1. ［OK］を押します。
   用紙の種類で〈フツウシ〉が選ばれているときは、次のように表示されます。

例：

サイズ゛	：	*ハガ゛キ
カミシュ	：	◀ *インクジ゛ェット ▶

［◀］か［▶］で、〈インクジェット〉か〈フォト〉を選びます。

2. ［OK］を押します。

例：

▶	BK BK Y M C
エハガ゛キ（ゼ゛ンタイ）	01
◐□■□◑ フォト	

3. 12 の操作に進みます。

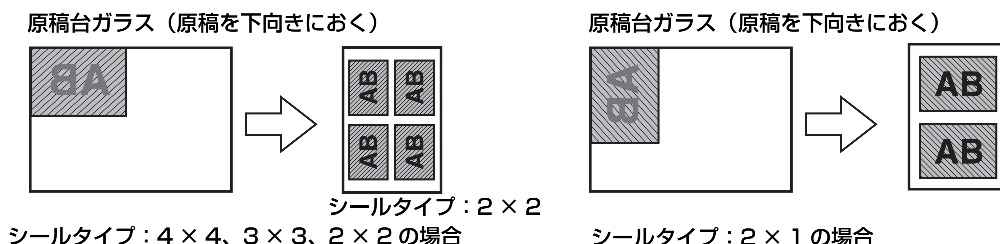
12 カラーコピーをする場合は［カラースタート］を押し、白黒コピーをする場合は［モノクロスタート］を押します。



コピーを中止するときは、［ストップ／リセット］を押します。

■ シールを作る（シールプリント）

L判の写真やイラストで、かんたんにシールを作ることができます。
シールタイプは４種類あります。



２×１：１枚に2面コピーされます。
２×２：１枚に4面コピーされます。
３×３：１枚に９面コピーされます。
４×４：１枚に 16 面コピーされます。



- この機能を使うときは、原稿を原稿台ガラスにセットしてください。
- この機能を使うときは、用紙をオートシートフィーダにセットしてください。

次のように操作してください。

1 原稿台ガラスに原稿をセットします。

2 ［コピー］を押します。

3 ［給紙切替］で〈ウシロ〉（オートシートフィーダ）に設定します。



給紙切替の設定は、23 ページをご覧ください。

4 オートシートフィーダにシール専用紙をセットします。



- オートシートフィーダに一度にセットできる枚数は 1 枚です。
- シール専用紙のセットのしかたについては、24 ページをご覧ください。

5 必要に応じて、設定を調整します。



- 濃度の選びかたは、35 ページをご覧ください。
- 画質、拡大／縮小は設定できません。

6 [メニュー] を押します。

7 [◄] か [►] で、〈シール プリント〉を選びます。

1. オモシロ コピ゜ー
◀ シール プ゜リント ▶

8 [OK] を押します。

例：

ヨミトリハンイ: ◀シャシン ゼ゛ンメン▶
シールタイプ゜: 4 × 4

9 [◄] か [►] で、読み取り範囲を選びます。

シャシン ゼンメン： 画像全体が印刷されます。
シャシン チュウオウ：画像の中央部分だけが印刷されます。



〈シャシン ゼンメン〉を選んでも、原稿の端がやや欠けて印刷されます。

10 [OK] を押します。

例：

ヨミトリハンイ: シャシン ゼ゛ンメン
シールタイプ゜: ◀ 4 × 4

11 [◄] か [►] で、シールの種類を選びます。

4 × 4 （16 面）
3 × 3 （9 面）
2 × 2 （4 面）
2 × 1 （2 面）

12 ［OK］を押します。

例： シール 2×1 01

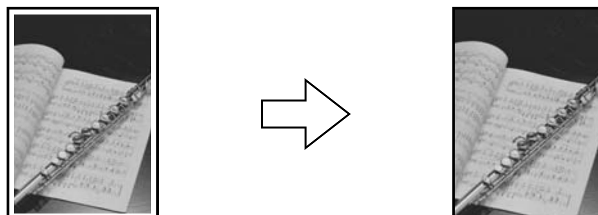
13 カラーコピーをする場合は［カラースタート］を押し、白黒コピーをする場合は［モノクロスタート］を押します。



コピーを中止するときは、［ストップ／リセット］を押します。

■ フチなし全面コピー（フチなしコピー）

フチなし全面コピーでは、画像のまわりにフチがでないように、用紙全体にコピーします。





- この機能を使うときは、原稿を原稿台ガラスにセットしてください。
- この機能は、カラーコピーのときだけ使うことができます。
- 画像は、用紙全体にコピーされるように少し拡大されるため、画像の周囲がわずかに欠けます。
- フチなし全面コピーを選ぶと、〈100%+〉、〈70%+〉のように「＋」記号が LCD ディスプレイに表示されます。

次のように操作してください。

1 原稿台ガラスに原稿をセットします。

2 ［コピー］を押します。

3 ［給紙切替］で給紙箇所を設定して、設定した給紙箇所に用紙をセットします。



- 給紙切替の設定は、23 ページをご覧ください。
- 用紙の種類については、20 ページをご覧ください。
- 用紙のセットのしかたについては、24、28 ページをご覧ください。

4 ［◀］か［▶］またはテンキーで、コピー部数（最大 99 枚）を指定します。



オートシートフィーダまたはカセットに一度にセットできる枚数については、20 ページをご覧ください。

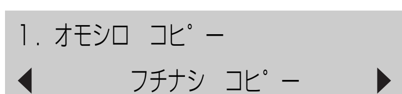
5 必要に応じて、設定を調整します。



- この機能は、用紙サイズを〈A4〉、〈LTR〉、〈ハガキ〉、〈L バン〉、〈2L バン〉、または〈メイシ〉に設定したときだけ使うことができます。（→ 33 ページ）
- この機能は、用紙の種類を〈コウタク〉、〈コウヒンイ〉、〈プロフォト〉、〈スーパーフォト〉、〈ソノタ フォト〉、または〈インクジェット〉、〈フォト〉に設定したときだけ使うことができます。（→ 33 ページ）
- 用紙サイズを〈ハガキ〉に設定したときは、インクジェット官製はがき、ハイグレードコートはがき、プロフェッショナルフォトはがきをお使いください。
- 画質は、〈キレイ（フォト）〉に設定されます。〈キレイ（フォト）〉以外を選ぶことはできません。
- 濃度の選びかたは、35 ページをご覧ください。
- 拡大／縮小の選びかたは、36 ページをご覧ください。
- 画像の大きさに合わせて、はみ出し量を調整できます。（→ 181 ページ）

6 ［メニュー］を押します。

7 ［◀］か［▶］で、〈フチナシ コピー〉を選びます。



8 ［OK］を押します。

例：



フチなしコピーで印刷できない用紙サイズや種類が選ばれているときは、次のように表示されます。

例：



［◀］か［▶］で〈A4〉、〈LTR〉、〈ハガキ〉、〈L バン〉、〈2L バン〉、〈メイシ〉の中から用紙サイズを選んで［OK］を押します。

［◀］か［▶］で〈コウタク〉、〈コウヒンイ〉、〈プロフォト〉、〈スーパーフォト〉、〈ソノタ フォト〉の中から用紙の種類を選んで［OK］を押します。用紙サイズで〈ハガキ〉を選んだときは、〈インクジェット〉、〈フォト〉の中から用紙の種類を選んで［OK］を押します。用紙サイズで〈メイシ〉を選んだときは、〈コウタク〉に設定されます。

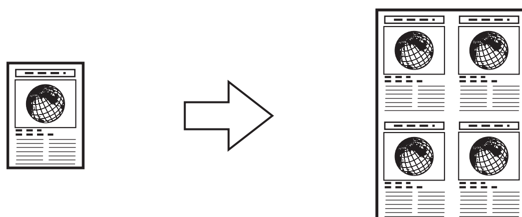
9 ［カラースタート］を押します。



- コピーを中止するときは、［ストップ／リセット］を押します。
- ［モノクロスタート］を押しても、印刷は開始されません。

■画像を 1 枚の用紙にくり返しコピーする(イメージリピートコピー)

用紙に原稿をくり返しコピーできます。くり返す回数は、あらかじめ本機に設定されている回数を選ぶか、または手動で何回コピーするかを指定します。





- **手動で回数を決める場合は、コピーを開始する前に用紙のサイズを設定する必要があります。（→ 33 ページ）**
- **原稿を読み込む範囲は、拡大／縮小率によって異なります。**

次のように操作してください。

1 原稿台ガラスまたは ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットします。



くり返す回数を自動的に設定された回数にする（〈ジドウ〉設定）ときは、原稿台ガラスを使います。ADF（自動原稿給紙装置）は使えません。

2 ［コピー］を押します。

3 ［給紙切替］で給紙箇所を設定して、設定した給紙箇所に用紙をセットします。



- 給紙切替の設定は、23 ページをご覧ください。
- 用紙の種類については、20 ページをご覧ください。
- 用紙のセットのしかたについては、24、28 ページをご覧ください。

4 [◀] か [▶] またはテンキーで、コピー部数（最大 99 枚）を指定します。



オートシートフィーダまたはカセットに一度にセットできる枚数については、20 ページをご覧ください。

5 必要に応じて、設定を調整します。



- 用紙サイズと種類の設定は、33 ページをご覧ください。
- 画質の選びかたは、35 ページをご覧ください。
- 濃度の選びかたは、35 ページをご覧ください。
- 拡大／縮小の選びかたは、36 ページをご覧ください。
- 拡大／縮小の〈ジドウ ヘンバイ〉は選べません。

6 [メニュー] を押します。

7 [◀] か [▶] で、〈イメージ リピート〉を選びます。

1. オモシロ コピ゜ー
◀ イメージ゛ リピ゜ート

8 [OK] を押します。

例：

イメージ゛ リピ゜ート
◀ ジ゛ ド゛ ウ

9 [◀] か [▶] で、〈ジドウ〉または〈シュドウ〉を選びます。

〈ジドウ〉を選んだとき：

1. [OK] を押します。

例：

100% A4 キレイ	01
リピ゜ート ジ゛ ド゛ ウ	

2. 10 の操作に進みます。

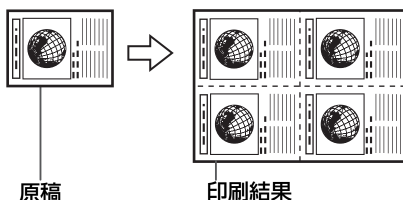
〈シュドウ〉を選んだとき：

1. **原稿をくり返しコピーする回数を決めます。**
   最大で縦４回、横４回です。

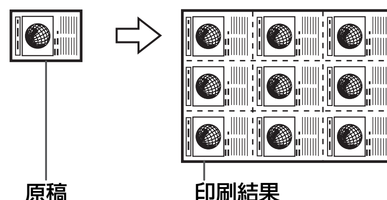


コピーする原稿は、一区切り分におさまるサイズでなければなりません。たとえば、等倍で原稿を４回コピーするときの原稿サイズは、用紙サイズの 1/4 以内でなくてはなりません。

● ２×２くり返し



● ３×３くり返し



2. **［OK］を押します。**

例：

タテ	◀ 2 ▶
ヨコ	2

3. **［◀］か［▶］で、縦方向にくり返す回数（最大４回）を選びます。**
4. **［OK］を押します。**

例：

タテ	2
ヨコ	◀ 2 ▶

5. **［◀］か［▶］で、横方向にくり返す回数（最大４回）を選びます。**
6. **［OK］を押します。**
7. **10 の操作に進みます。**

10 カラーコピーをする場合は［カラースタート］を押し、白黒コピーをする場合は［モノクロスタート］を押します。



コピーを中止するときは、［ストップ／リセット］を押します。

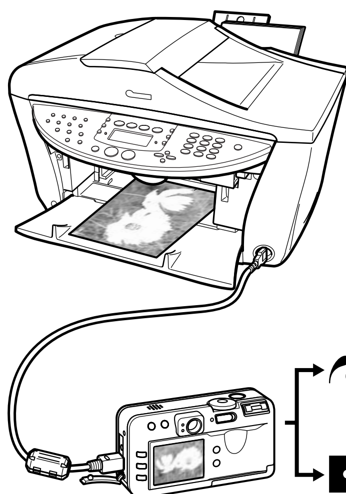
5章 デジタルカメラと直接つないで印刷しよう

本機にデジタルカメラやデジタルビデオカメラを接続することで、デジタルカメラやデジタルビデオカメラからの操作で写真を直接印刷することができます。
本機と接続して写真を直接印刷できるのは“PictBridge”対応、またはキヤノン“Bubble Jet Direct”対応のデジタルカメラ、デジタルビデオカメラです。



- PictBridge とは、デジタルカメラで撮影した画像をコンピュータを介さずにダイレクトプリントしたり、多様なデジタルフォトソリューションを提供するために策定した標準規格です。いままで、各社独自の方法で製品化を進めていたため、接続可能なプリンタとデジタルカメラの組み合わせには制限がありましたが、今後は PictBridge を採用したデジタルカメラとプリンタがあれば、メーカーや機種を問わず、カメラ側からの簡単な操作で美しい画像を直接印刷することができます。
- キヤノン“Bubble Jet Direct”に対応（“PictBridge”非対応）したデジタルカメラやデジタルビデオカメラを本機に接続することで、デジタルカメラやデジタルビデオカメラの操作で、写真を各種のキヤノン専用紙に印刷することができます。

* 以降、デジタルカメラ、デジタルビデオカメラを総称して、デジタルカメラまたはカメラとします。



“PictBridge”対応カメラから印刷（→ 56 ページ）
※このマークが表示されているカメラは、PictBridge に対応しています。

キヤノン“Bubble Jet Direct”対応カメラから印刷（→ 58 ページ）
※対応機種（→ 192 ページ）

* PictBridge に関する情報は、キヤノンホームページでご確認いただけます。canon.jp/pictbridge をご覧ください。

デジタルカメラを接続する

本機に対応のデジタルカメラを接続するときは、カメラに付属のUSBケーブル（パソコン接続用）を使用します。



本機のカメラ接続部には、“PictBridge”対応、またはキヤノン“Bubble Jet Direct”対応のカメラ以外は、接続しないでください。火災や感電、本機の損傷の原因となる場合があります。



- 本機を使用しているときに、USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- コピー、スキャナ、ファクス、プリントで使用中の場合は、本機とデジタルカメラを接続しないでください。



- デジタルカメラを接続して印刷する場合、デジタルカメラの電源は、家庭用電源をお使いになることをおすすめします。バッテリーをお使いになるときは、フル充電されたバッテリーをお使いください。
- “PictBridge”対応のカメラから印刷する場合、ご使用のカメラの機種により、接続する前に“PictBridge”で印刷するモードに切りかえる必要があります。また接続後、手動で電源を入れたり、再生モードにする必要があります。ご使用のカメラに付属の使用説明書を参照のうえ、接続前に必要な操作を行ってください。

次のように操作してください。

1 本機の電源を入れます。

2 [給紙切替]で給紙箇所を設定して、設定した給紙箇所に用紙をセットします。



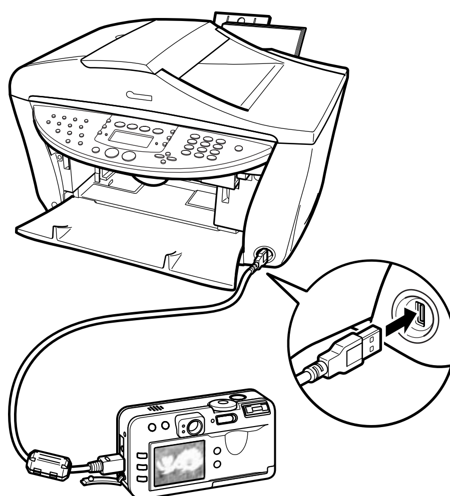
- 給紙切替の設定は、23 ページをご覧ください。
- 用紙の種類については、20 ページをご覧ください。
- 用紙のセットのしかたについては、24、28 ページをご覧ください。

3 デジタルカメラの電源がオフになっていることを確認します。

4 デジタルカメラに付属しているUSBケーブルを使って、デジタルカメラと本機を接続します。



接続が完了すると、自動的にデジタルカメラの電源が入る機種もあります。電源が自動的に入らない機種をお使いの場合は、手動で電源を入れてください。



5 デジタルカメラから印刷できる状態にします。

カメラと本機の接続が確認されると、デジタルカメラの液晶モニターに次のマークが表示されます。

：“PictBridge”対応のカメラです。（→ 56 ページ）

：キヤノン“Bubble Jet Direct”対応のカメラです。（→ 58 ページ）



マークが表示されない場合は、「デジタルカメラからうまく印刷できない」（→ 171 ページ）を参照してください。

“PictBridge”対応カメラから印刷する

操作については、必ずご使用のカメラに付属の使用説明書にしたがってください。ここでは、本機を使用したときに“PictBridge”対応のデジタルカメラで設定できるペーパーサイズやペーパータイプ、レイアウト、イメージオプティマイズ、日付印刷について説明します。

■ カメラの設定を確認／変更するには

使用するペーパーサイズやペーパータイプなどを変更するときは、カメラ側の操作で“PictBridge”の印刷設定を開始し、設定内容を確認／変更してください。
カメラ側で次の該当項目を「標準設定」（プリンタの設定にしたがう選択項目）に指定したときは、次の設定で印刷されます。

ペーパーサイズ（L 判）／ペーパータイプ（フォト）	スーパーフォトペーパー SP-101L
レイアウト	「フチなし」
トリミング	「切（トリミングなし）」
イメージオプティマイズ（画像補正）	「入（ExifPrint）」
日付印刷	「切（撮影日を印刷しない）」

説明している項目について
ご使用のカメラにより、説明している項目が設定できない場合があります。設定できない項目については、説明中に「標準設定」（プリンタの設定にしたがう選択項目）で明記してある設定にしたがって印刷されます。
※説明に使用している名称は、キヤノン製“PictBridge”対応のデジタルカメラを使用したときに表示される名称を例に説明しています。ご使用のカメラにより設定項目の名称は異なる場合があります。

●「ペーパーサイズ」／「ペーパータイプ」について
「標準設定」（プリンタの設定にしたがう選択項目）を選んだときには、「ペーパーサイズ：L 判」「ペーパータイプ：スーパーフォトペーパー（「フォト」）」が設定されています。
※プロフェッショナルフォトペーパーに印刷するときはカメラ側で「ペーパータイプ」を「高級フォト」に、スーパーフォトペーパーに印刷するときは「ペーパータイプ」を「フォト」に指定してください。
「ペーパーサイズ」と「ペーパータイプ」の設定で、本機に設定できるのは次の用紙です。

「ペーパーサイズ」の設定	「ペーパータイプ」の設定	本機にセットする用紙
L 判（標準設定）	フォト（標準設定）	スーパーフォトペーパー SP-101 L
	フォト	• スーパーフォトペーパー・シルキー SG-101 L • エコノミーフォトペーパー EC-101 L
	高級フォト	プロフェッショナルフォトペーパー PR-101 L
2L 判	フォト	スーパーフォトペーパー SP-101 2L
	高級フォト	プロフェッショナルフォトペーパー PR-101 2L
はがき	フォト	• フォト光沢ハガキ KH-201N • ピクサスプチシール PS-101 • フォトシールセット PSHRS • ピクサスプチシール・フリーカット PS-201
	高級フォト	プロフェッショナルフォトはがき PH-101
カード	フォト	エコノミーフォトペーパー EC-101 カードサイズ
8.9 × 25.4cm*1	フォト	スーパーフォトペーパー SP-101 パノラマ
A4	フォト	• スーパーフォトペーパー SP-101 A4 • スーパーフォトペーパー・シルキー SG-101 A4 • キヤノン光沢紙 GP-401 A4
	高級フォト	プロフェッショナルフォトペーパー PR-101 A4

*1 パノラマサイズです。キヤノン製“PictBridge”対応のカメラのみ設定できます（機種によっては設定できない場合があります）。

●「レイアウト」／「トリミング」について

「標準設定」（プリンタの設定にしたがう選択項目）を選んだときには、「レイアウト：フチなし」が設定されています。「トリミング」はカメラ側の設定にしたがいます。

ピクサスプチシール PS-101（16 面）、フォトシールセット PSHRS（2 面、4 面、9 面、16 面）に印刷するときは、次のように設定してください。

1. 給紙箇所をオートシートフィーダに切りかえる
   シール専用紙は、必ずオートシートフィーダにセットしてください。
2. 「ペーパーサイズ：はがき」「ペーパータイプ：フォト」に設定する
3. 「レイアウト」で印刷するシール紙の面数に合わせて「2 面配置」「4 面配置」「9 面配置」「16 面配置」に設定する

※ レイアウトに「2 面配置」「4 面配置」「9 面配置」「16 面配置」（キヤノン製デジタルカメラでの表示）に該当する選択項目がない場合は、各シール専用紙への印刷はできません。

※ シール専用紙に印刷するときは、「レイアウト」で「フチなし」を設定しないでください。

●「イメージオプティマイズ」について

本機の設定（「標準設定」）は「入（Exif Print）」が設定されています。

また、キヤノン製“PictBridge”対応のカメラをご使用の場合は、「VIVID」「NR」「VIVID+NR」が設定できます（機種によっては設定できない場合があります）。

※「VIVID」は、緑や青色をより鮮やかに印刷します。
「NR」は、「ノイズリダクション」の略で、空などの青い部分や、暗い部分のノイズを除去します。
「VIVID+NR」は、「VIVID」と「NR」の両方を設定します。

●「日付印刷」について

「標準設定」（プリンタの設定にしたがう選択項目）を選んだときには、「切（撮影日を印刷しない）」が設定されています。



- 本機で印刷できる画像データは、Exif/JPEG データです。
- 印刷中は USB ケーブルを絶対に抜かないでください。また、デジタルカメラと本機の USB ケーブルを取り外すときは、カメラに付属の使用説明書にしたがってください。
- デジタルカメラの操作で、次の機能は使用できません。
  – 印刷品質の設定
  – メンテナンス機能

キヤノン“Bubble Jet Direct”対応カメラから印刷する

キヤノン“Bubble Jet Direct”対応デジタルカメラ（PictBridge 非対応機種）から印刷できる用紙、印刷のしかたについて説明します。



キヤノン“Bubble Jet Direct”対応のデジタルカメラやデジタルビデオカメラの機種については、仕様一覧の「キヤノン "Bubble Jet Direct" プリント」（→ 192 ページ）を参照してください。

■ ダイレクト印刷に使用できる用紙について

キヤノン製の次の専用紙を使用できます。

デジタルカメラの用紙（ペーパー）設定	本機にセットする用紙
L 判	• スーパーフォトペーパー SP-101 L • プロフェッショナルフォトペーパー PR-101 L • スーパーフォトペーパー・シルキー SG-101 L • エコノミーフォトペーパー EC-101 L
2L 判	• スーパーフォトペーパー SP-101 2L • プロフェッショナルフォトペーパー PR-101 2L
はがきサイズ	プロフェッショナルフォトはがき PH-101
A4 サイズ	• スーパーフォトペーパー SP-101 A4 • プロフェッショナルフォトペーパー PR-101 A4 • スーパーフォトペーパー・シルキー SG-101 A4 • キヤノン光沢紙 GP-401 A4
カードサイズ	エコノミーフォトペーパー EC-101 カードサイズ

■ デジタルカメラから印刷を開始する

本機とカメラを接続後、印刷する手順を説明します。



- デジタルカメラの操作については、デジタルカメラに付属の使用説明書を参照してください。印刷時のエラー表示と対処方法については「デジタルカメラからうまく印刷できない」（→ 171 ページ）を参照してください。
- デジタルビデオカメラの操作、印刷時のエラー表示と対処方法については、デジタルビデオカメラに付属の使用説明書を参照してください。

次のように操作してください。

1 デジタルカメラの再生モードで、印刷したい画像を表示します。

再生モードに切りかわらないときは、デジタルカメラに付属の使用説明書にしたがって再生モードに切りかえてください。

正しく接続されると、カメラの液晶モニターに が表示されます。

2 デジタルカメラの［SET］ボタンを押します。

デジタルカメラの液晶モニターに［プリント設定］画面が表示されます。

3 ［スタイル］を選び、用紙サイズ（ペーパー）、フチのあり／なし、日付印刷のオン／オフなどを指定します。

4 スタイルを設定後、印刷枚数を指定して［プリント］を選び、デジタルカメラの［SET］ボタンを押します。

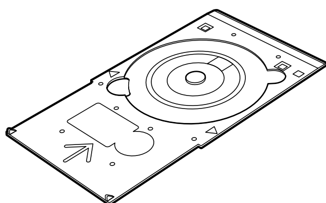


- デジタルカメラの操作で、次の印刷ができます。
  - シングル再生またはインデックス再生中の画像をスタンダードプリントできます。
  - DPOF のプリント設定で、写真に設定した枚数を印刷したり、インデックスプリントすることができます。
    *JPEG の Exif 画像以外は、インデックスプリントできない場合があります。
  - Exif 2.2 対応デジタルカメラで撮影した画像は、オートフォトパーフェクト機能で自動的に補正します。
  - デジタルカメラで日付設定を有効にしている写真（インデックスプリントを除く）は、日付付きで印刷されます。
  - デジタルカメラで撮影した画像は、用紙サイズに合わせて自動的に拡大／縮小して印刷します。
- デジタルカメラの操作で、次の機能は使用できません。
  - 印刷品質の設定
  - メンテナンス機能
- デジタルカメラと本機の USB ケーブルを取り外すときは、次の操作にしたがってください。
  1. 本機側の USB ケーブルを取り外す
  2. デジタルカメラの電源を切る
  3. デジタルカメラ側の USB ケーブルを取り外す
- USB ケーブルを取り外すときは、必ずコネクタの側面を持って取り外してください。

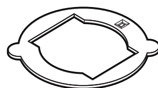
6章 CD-R に直接印刷してみよう

本機付属の CD-R トレイを使うことで、CD-R や DVD-R（プリンタブルディスク）に画像を印刷することができます。また、セットアップ CD-ROM に付属のアプリケーション「らくちん CD ダイレクトプリント for Canon」または「Easy-PhotoPrint」を使うことで、印刷用の画像を編集・加工して印刷することができます。

用意するもの



CD-R トレイ



8cmCD-R アダプタ
（8cmCD-R に印刷するときのみ）

CD-R や DVD-R（プリンタブルディスク）
ラベル面がインクジェット方式のプリンタに対応した 12cm/8cm サイズの CD-R/DVD-R に印刷できます。推奨の CD-R や DVD-R を使うと、よりきれいな印刷結果を得ることができます。



推奨する CD-R や DVD-R の情報は、不定期に更新されます。また、推奨品の仕様は予告なく変更されることがあります。最新情報については、canon.jp/support/ をご覧ください。

CD-R をセットする



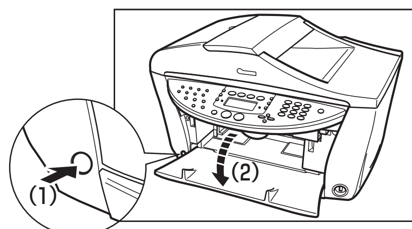
開封時に、8cmCD-R アダプタが装着されています。12cmCD-R/DVD-R の場合は、8cmCD-R アダプタを外してからご使用ください。



- CD-R/DVD-R はできるだけ端を持ち、ラベル面（印刷面）、記録面に触れないでください。
- CD-R トレイに付いている反射板を汚したり、傷つけたりしないでください。CD-R トレイが汚れたときは、反射板に傷がつかないように柔らかい布などでふいてください。
- 8cmCD-R に印刷するときは、付属の 8cmCD-R アダプタを取り付けてください。取り付けないと印刷品位が低下したり、8cmCD-R に傷がつくことがあります。

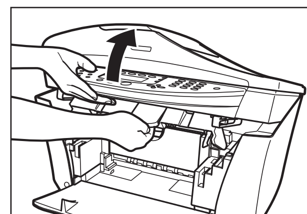
次のように操作してください。

1 排紙トレイオープンボタン (1) を押して、排紙トレイを開けます (2)。



2 スキャナユニットを止まるまで持ち上げます。

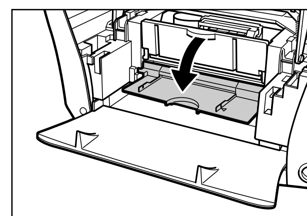
スキャナユニットオープンレバーを手前に引きながら、スキャナユニットを持ち上げます。



⚠ 注意

スキャナユニットは必ず片手でしっかりと持ってください。

3 CD-R トレイガイドを開けます。



4 スキャナユニットオープンレバーを手前に引きながら、スキャナユニットをゆっくり閉じます。

⚠ 注意

スキャナユニットは必ず片手でしっかりと持ってください。

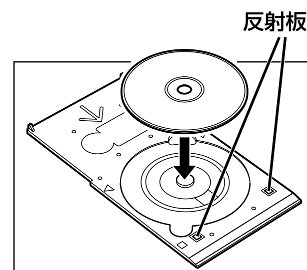
5 CD-R/DVD-R を CD-R トレイにセットします。



セットするときにディスクの印刷面や反射板に触れないでください。

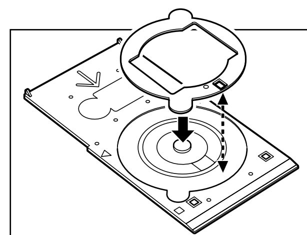
12cmCD-R/DVD-R のとき：

1. 印刷面を上にして、CD-R/DVD-R を CD-R トレイにセットします。
2. 6 の操作に進みます。

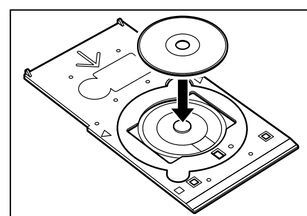


8cmCD-R のとき：

1. 8cmCD-R アダプタ両端の突起部分を、CD-R トレイ両端のくぼみに合わせて置きます。

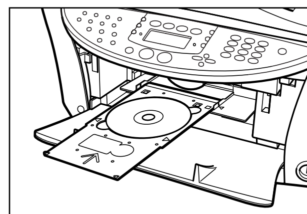


2. 印刷面を上にして、8cmCD-R をセットします。



3. 6 の操作に進みます。

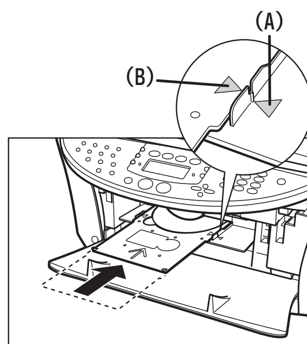
6 CD-RトレイをCD-Rトレイガイドにセットします。





- アプリケーションを使ってCD-RやDVD-Rに印刷するときには、「CD-Rをセットしてください」という内容の画面が表示されるまで、CD-R トレイはセットしないでください。
- 準備動作中などに CD-R トレイをセットした場合、CD-R トレイが排出されることがあります。その場合は、画面の指示に従って CD-R トレイをセットしなおしてください。

7 CD-R トレイの矢印と、CD-R トレイガイドの矢印がほぼ合うところまで入れます。





- CD-R トレイを矢印より先に無理に押しこまないでください。
- CD-R トレイの矢印 (A) と、CD-R トレイガイドの矢印 (B) の位置を確認してください。

CD-R に印刷する

セットアップ CD-ROM に付属のアプリケーション「らくちん CD ダイレクトプリント for Canon」または「Easy-PhotoPrint」を使って、CD-R や DVD-R に印刷します。
まだインストールしていない場合は、セットアップ CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットして、［カスタムインストール］画面で、「らくちん CD ダイレクトプリント for Canon」または「Easy-PhotoPrint」をインストールしてください。
ここでは「らくちん CD ダイレクトプリント for Canon」に付属の画像（Windows）およびテンプレート（Macintosh）を使って、12cm サイズの CD-R や DVD-R に印刷する手順を説明します。
「Easy-PhotoPrint」については、『アプリケーションガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

重要

- インクジェット方式に対応していない CD-R/DVD-R に印刷すると、インクが乾かず、それ以降使用できなくなる恐れもありますので、印刷しないでください。
- CD-R/DVD-R への印刷は、データを書き込んだ後に行ってください。書き込みの前に印刷すると、指紋などの汚れやキズなどによって、書き込みのときにエラーが発生することがあります。
- CD-R/DVD-R の記録面には印刷しないでください。記録したデータが読めなくなることがあります。
- 「らくちん CD ダイレクトプリント for Canon」または「Easy-PhotoPrint」以外のアプリケーションを使って印刷すると、CD-R トレイが汚れることがあります。
- CD-R/DVD-R の印刷中に、CD-R トレイを取り外さないでください。破損の原因になります。
- 印刷後はドライヤーの熱や直射日光を避けて、自然乾燥させてください。また、インクが乾くまで印刷面に触れないでください。

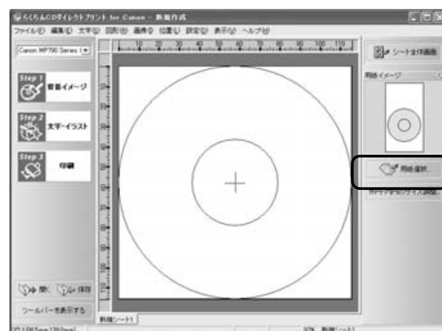
次のように操作してください。

Windows

1 タスクバーの［スタート］ボタンから、［（すべての）プログラム］→［らくちん CD ダイレクトプリント for Canon］→［らくちん CD ダイレクトプリント for Canon］をクリックします。

「らくちん CD ダイレクトプリント for Canon」が起動します。

2 ［用紙選択］をクリックします。



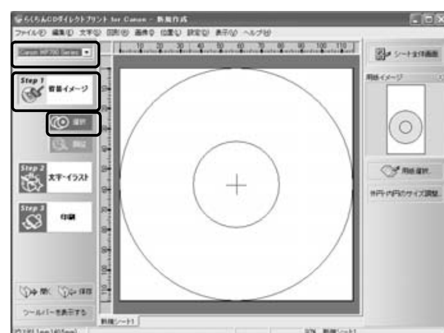
3 ［メディア名］から CD-R/DVD-R のサイズを選びます。

通常のCD-R/DVD-Rよりも内円が小さいCD-R/DVD-Rに印刷する場合は、［12cmCD/DVD（内円小）］または［8cmCD/DVD（内円小）］を選んでください。



4 ［OK］をクリックします。

5 本機の名称に設定されていることを確認し、［Step 1 背景イメージ］をクリックして［選択］をクリックします。



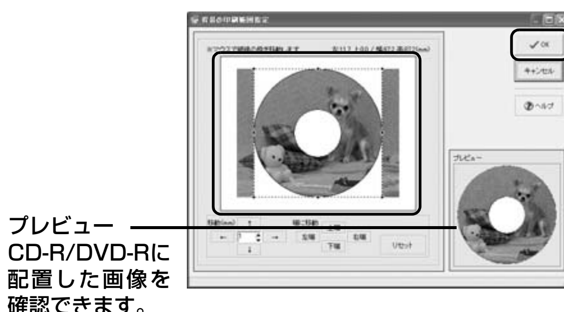
6 ［種類］の▼をクリックして背景にしたい画像の種類を選び、背景にしたい画像を選んで［OK］をクリックします。ここでは［写真］を選び、［No.1］の画像を選びます。



7 ［調整］をクリックします。



8 背景の画像の位置を調整し、[OK]をクリックします。

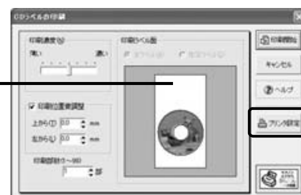


プレビュー
CD-R/DVD-Rに配置した画像を確認できます。

9 [Step 3 印刷]をクリックします。

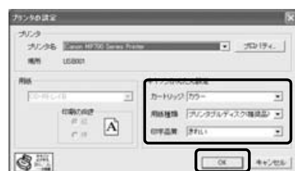


10 [プリンタ設定]をクリックします。



印刷ラベル面
この画面は CD-R トレイ（長方形）とプリンタブルディスク（円形）の印刷イメージを表しています。画面の下側が CD-R トレイの先端部分になります。

11 ご使用の CD-R/DVD-R、印刷データに合わせて各項目を設定します。



カートリッジ：[カラー]
用紙種類：　[プリンタブルディスク（推奨品）]か[プリンタブルディスク（その他）]
印字品質：　[きれい]、[標準]か[はやい]

12 [OK]をクリックします。

13 [CD ラベルの印刷]画面が表示されたら、[印刷開始]をクリックします。



CD-R トレイをすでにセットしていた場合、CD-R トレイが排出されることがあります。その場合は、14 の画面が表示されるまでお待ちください。

14 メッセージが表示されたら内容を確認し、[OK] をクリックします。

印刷が開始されます。



参考

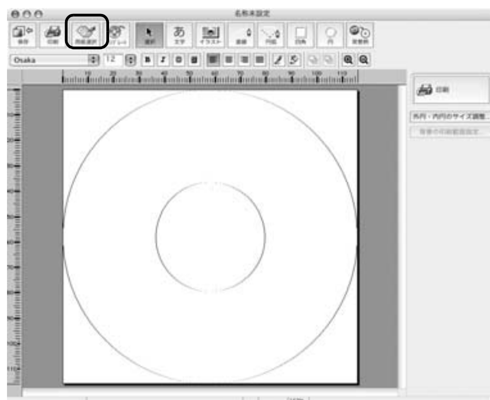
- CD-R 印刷中は、CD-R トレイガイドを閉じないでください。
- 「らくちん CD ダイレクトプリント for Canon」の詳しい使い方については、らくちん CD ダイレクトプリント for Canon の「操作説明」をご覧ください。タスクバーの［スタート］ボタンから、[(すべての) プログラム] → [らくちん CD ダイレクトプリント for Canon] → [操作説明] をクリックするとご覧になれます。

Macintosh

1 らくちんCDダイレクトプリントfor Canonをインストールしたハードディスクアイコン→［アプリケーション］フォルダ→［CD ダイレクトプリント］フォルダを順にダブルクリックし、[CD ダイレクトプリント] をダブルクリックします。

「らくちん CD ダイレクトプリント for Canon」が起動します。

2 ［用紙選択］をクリックします。



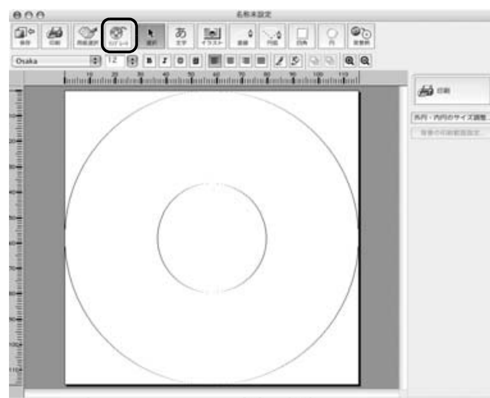
3 [メディア名]から CD-R/DVD-R のサイズを選びます。

通常の CD-R/DVD-R よりも内円が小さい CD-R/DVD-R に印刷する場合は、[12cmCD/DVD（内円小)] または [8cmCD/DVD（内円小)] を選んでください。



4 [OK] をクリックします。

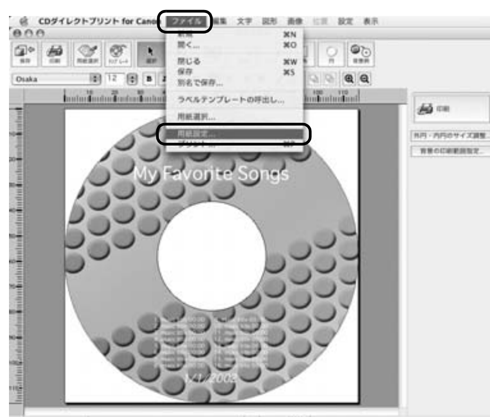
5 [テンプレート] をクリックします。



6 どちらかの画像を選び、[OK] をクリックします。ここでは左側の画像を選びます。



7 [ファイル] メニューの [用紙設定] をクリックします。



8 [対象プリンタ] で本機を選び、各項目を設定し、[OK] ボタンをクリックします。

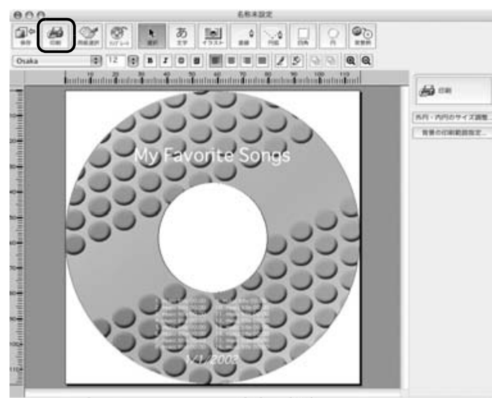
用紙サイズ：[CD-R トレイ B]

方向：　[縦]

拡大縮小：　[100%]



9 ［印刷］をクリックします。

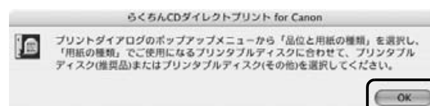


10 ［印刷開始］をクリックします。



印刷ラベル面
この画面は CD-R トレイ（長方形）とプリンタブルディスク（円形）の印刷イメージを表しています。画面の下側がCD-Rトレイの先端部分になります。

11 ［OK］をクリックします。



12 ご使用のCD-R/DVD-R、印刷データに合わせて各項目を設定します。



用紙の種類：［プリンタブルディスク（推奨品）］か［プリンタブルディスク（その他）］

給紙方法：［ディスクトレイ］

印刷設定：［写真をきれいに印刷］または［図表やグラフをきれいに印刷］

13 ［プリント］をクリックします。

14 メッセージが表示されたら内容を確認し、［OK］をクリックします。

印刷が開始されます。



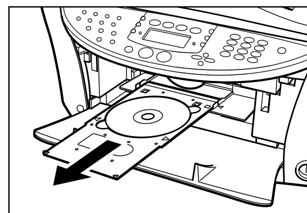
- CD-R 印刷中は、CD-R トレイガイドを閉じないでください。
- 「らくちんCDダイレクトプリント for Canon」の詳しい使い方については、らくちんCDダイレクトプリント for Canonのマニュアルをご覧ください。らくちん CD ダイレクトプリント for Canon をインストールしたハードディスクアイコン→［アプリケーション］フォルダ→［CD ダイレクトプリント］フォルダ→［マニュアル］フォルダを順にダブルクリックし、［マニュアル .html］をダブルクリックするとご覧になれます。

印刷が終わったら

印刷中は、CD-R トレイが本機の中へ引きこまれます。CD-R トレイが、最初にセットした位置まで戻ったら印刷は終わりです。

次のように操作してください。

1 CD-R トレイを手前に引いて取り出します。



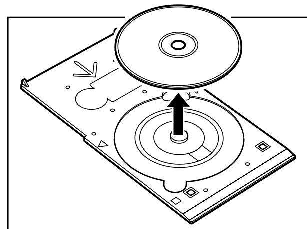
2 印刷面が十分に乾いたら、CD-R/DVD-R を取り出します。

⚠ 注意

取り出す際に印刷面に触れないでください。

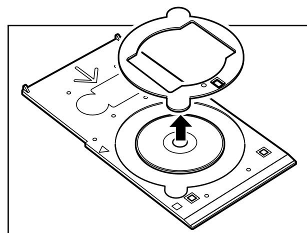
12cmCD-R/DVD-R のとき：

1. CD-R トレイから CD-R/DVD-R を取り出します。

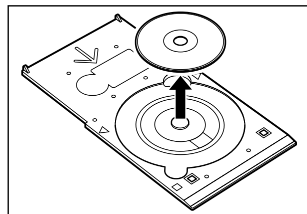


8cmCD-R のとき：

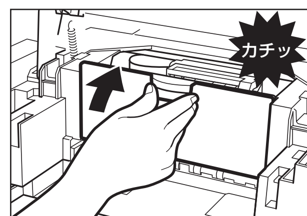
1. 8cmCD-R アダプタを取り外します。



2. 8cmCD-R を取り出します。



3 CD-R トレイガイドを閉じます。





CD-R トレイガイドを開いた状態では、用紙を使った通常の印刷はできません。
必ず CD-R トレイガイドを閉じてください。

7章 ファクスの基本的な設定

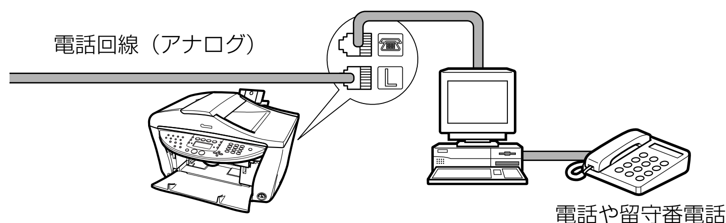
基本的な設定

本機の操作パネルを使ってファクスを送受信するための基本的な設定をします。

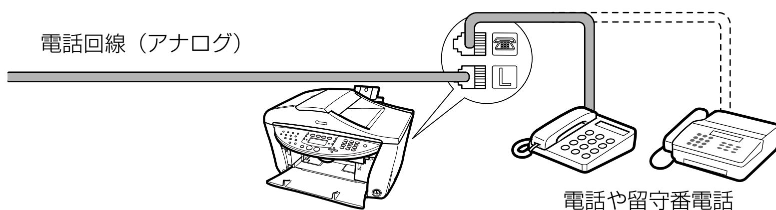
本機の接続例

本機の接続方法の代表的な例をご紹介します。間違った接続をするとファクスの送受信ができませんので、正しく接続してください。

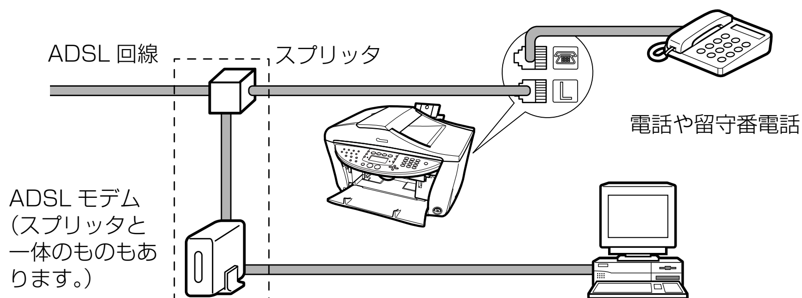
■ パソコンと接続して使用する



■ 電話や留守番電話と接続して使用する



■ ADSL 回線に接続して使用する



詳しくは、ADSL モデムに付属している取扱説明書をご覧ください。
この接続方法は代表例です。すべての接続を保証するものではありません。

■ ISDN 回線に接続して使用する

ISDN 回線を使用する場合の接続と設定のしかたについては、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータに付属している取扱説明書をご覧ください。

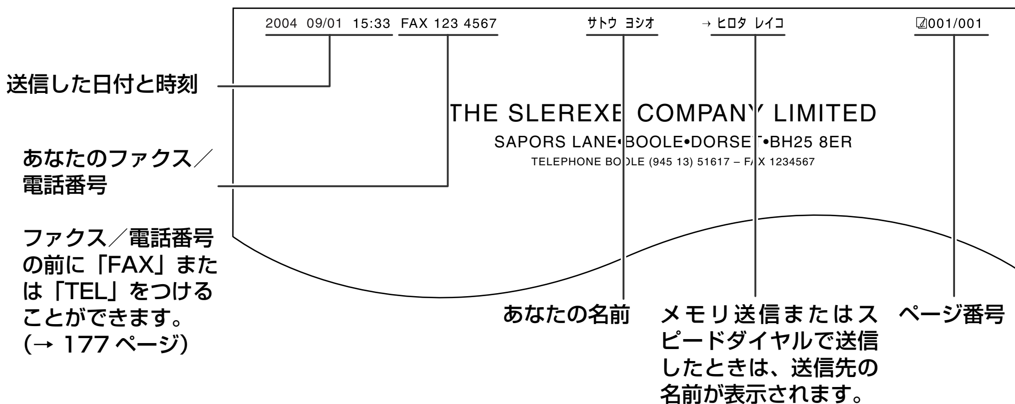
電話回線の種類を設定する

本機には電話回線の種類を自動的に設定する機能があります。ただし ADSL モデムに接続する場合や、本機を設置するときに誤って電源コードを接続したあとに、電話回線を接続した場合は、手動で電話回線の種類を設定してください。
手動で設定するときは、〈カイセンシュベツ ジドウ〉を〈シナイ〉に設定し、ダイヤル回線かプッシュ回線を選んでください。(→ 177 ページ)

発信元情報を登録する

ファクスを受信すると、受信した用紙のいちばん上に小さな文字で、送信してきた人の名前や会社名、ファクス／電話番号、送信した日付と時刻が印刷されていることがあります。これが発信元情報です。
本機では、この発信元情報を登録できるので、ファクスを受信した人はあなたの名前や送信日時を知ることができます。

発信元情報は、次のように印刷されます。





- 送信するファクスの画像領域の内側と外側のどちらに発信元情報をつけるかを設定できます。(→ 177 ページ)
- カラーファクス送信のときは、送信先の名前は印刷されません。
- 発信元情報は、操作パネルから入力します。(→ 73 ページ)
- 日付の表示形式には 3 通りあり、必要に応じて変更できます。(→ 177 ページ)

■ 日付と時刻を入力する

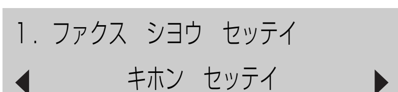


本機の操作パネルで日付と時刻を入力しても、パソコンを接続して使用している場合は、パソコンの起動時や本機の電源を入れたとき、または USB ケーブルを接続するときに、本機の日付と時刻がパソコンに設定されたデータに、書きかえられます。
パソコンを接続して使用する場合は、パソコンの日付と時刻を正しく設定してください。

次のように操作してください。

1 [ファクス] → [メニュー] の順に押します。

2 [◀] か [▶] で、〈キホン セッテイ〉を選びます。



3 [OK] を 2 回押します。

例：

ヒヅケ/ジコク セット
2004 09/01 18:46

4 テンキーで、現在の日付と時刻（24 時間形式）を入力します。

西暦は下 2 桁を入力してください。



- 入力を間違えたときは、[◀] または [▶] を押してカーソルを修正したい位置まで移動させ、正しく入力しなおしてください。
- 日付の表示形式には 3 通りあり、必要に応じて変更できます。（→ 177 ページ）

5 [OK] を押します。

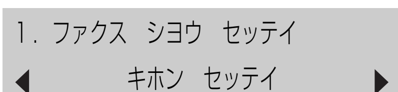
6 [ストップ／リセット] を押します。

■ファクス／電話番号と名前を入力する（発信元情報）

次のように操作してください。

1 [ファクス] → [メニュー] の順に押します。

2 [◀] か [▶] で、〈キホン セッテイ〉を選びます。



3 [OK] を押します。

キホン　セッテイ
　　ヒヅ゛ケ/ジ゛コク　セット　▶

4 [◀] か [▶] で、〈ユーザ　TEL トウロク〉を選びます。

キホン　セッテイ
◀　　ユーザ゛　TEL　トウロク　▶

5 [OK] を押します。

ユーザ゛　TEL　トウロク
TEL=

6 テンキーで、ファクス／電話番号を入力します（スペースを含む最大 20 文字）。

番号の前にプラス記号（＋）を入力するときは、[#] を押します。



数字を入力する方法や消去する方法については、83 ページをご覧ください。

7 [OK] を２回押します。

ユーザ゛　リャクショウ　トウロク　：ア
　　＿

8 テンキーで、発信元の名前を入力します（スペースを含む最大 24 文字）。



文字を入力する方法や消去する方法については、83 ページをご覧ください。

9 [OK] を押します。

10 [ストップ／リセット] を押します。



ユーザデータリストを印刷すると、登録した発信元情報を確認できます。（→ 85 ページ）

スピードダイヤルとは

スピードダイヤルとは、ボタンを 1、2 回押すだけでかんたんにダイヤルできる便利な機能です。
スピードダイヤルには、次の 3 つがあります。

ワンタッチダイヤル	ワンタッチダイヤルにファクス／電話番号を登録しておくと（→ 75 ページ）、ワンタッチダイヤル（01 ～ 08）を押すだけでダイヤルできます。
短縮ダイヤル	短縮ダイヤルにファクス／電話番号を登録しておくと（→ 77 ページ）、［短縮］を押して、登録した 2 桁の短縮ダイヤルの番号を押すだけでダイヤルできます。
グループダイヤル	グループダイヤルに、すでに登録されているワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルをまとめて登録しておくと（→ 79 ページ）、ワンタッチダイヤル（01 ～ 08）を押すか、［短縮］を押して、登録した 2 桁の短縮ダイヤルの番号を押すだけで、同じ原稿を複数の送信先に一度に送信できます。

これらについて次で説明します。

ワンタッチダイヤルに登録する

ワンタッチダイヤルを使うには（→ 94 ページ）、あらかじめ送信先のファクス／電話番号を登録しておく必要があります。

次のように操作してください。

1 ［ファクス］→［メニュー］の順に押します。

2 ［◀］か［▶］で、〈デンワバンゴウ トウロク〉を選びます。

3 ［OK］を 2 回押します。

```
ワンタッチ ダ イヤル
 01=
```

4 ［◀］か［▶］で、ワンタッチダイヤルの番号（01 ～ 08）を選びます。



ワンタッチダイヤル（01 ～ 08）を押して選ぶこともできます。

5 ［OK］を 2 回押します。

```
デ ンワバ ンゴ ウ
TEL=_
```

7 ファクスの基本的な設定

6 テンキーで、登録したいファクス／電話番号を入力します。



- 数字を入力する方法や消去する方法については、83 ページをご覧ください。
- ポーズを入力するときは［リダイヤル／ポーズ］を押します。
- トーンを入力するときは［⋇］を押します。

7 ［OK］を 2 回押します。

```
ナマエ                    :ア
      _
```

8 テンキーで、送信先の名前を入力します（スペースを含む最大 16 文字）。



文字を入力する方法や消去する方法については、83 ページをご覧ください。

9 ［OK］を押します。

続けてその他の番号や名前をワンタッチダイヤルに登録するには、4 の操作からくり返します。

10 ［ストップ／リセット］を押します。



- ワンタッチダイヤル（01 ～ 08）に宛名ラベルを貼っておくと、ダイヤルするときに便利です。
- ワンタッチダイヤル電話番号リストを印刷して、登録した送信先を確認できます。（→ 82 ページ）

■ ワンタッチダイヤルに登録した情報を変更、削除する

次のように操作してください。

登録したファクス／電話番号を変更するとき：

1. 「ワンタッチダイヤルに登録する」（→ 75 ページ）の手順 1 ～ 5 まで操作します。
2. ［◀］を押して、登録されているファクス／電話番号を削除します。
3. テンキーで新しい番号を入力します。
4. ［OK］を押します。
5. ［ストップ／リセット］を押します。

登録した名前を変更するとき：

1. 「ワンタッチダイヤルに登録する」（→ 75 ページ）の手順1～7まで操作します。
2. ［◀］を押しつづけて、登録されている名前を削除します。
3. テンキーで新しい名前を入力します。
4. ［OK］を押します。
5. ［ストップ／リセット］を押します。

登録をすべて削除するとき：

1. 「ワンタッチダイヤルに登録する」（→ 75 ページ）の手順1～5まで操作します。
2. ［◀］を押しつづけて、登録されているファクス／電話番号を削除します。
3. ［OK］を押します。
4. ［ストップ／リセット］を押します。
   ファクス／電話番号を削除すると、登録されていた名前は自動的に削除されます。

短縮ダイヤルに登録する

短縮ダイヤルを使うには（→ 94 ページ）、あらかじめ送信先のファクス／電話番号を登録しておく必要があります。

次のように操作してください。

1 ［ファクス］→［メニュー］の順に押します。

2 ［◀］か［▶］で、〈デンワバンゴウ トウロク〉を選びます。

3 ［OK］を押します。

```
デ゛ンワハ゛ンコ゛ウ　トウロク
　　　ワンタッチ　ダ゛イヤル　▶
```

4 ［◀］か［▶］で、〈タンシュク ダイヤル〉を選びます。

5 ［OK］を押します。

```
タンシュク　ダ゛イヤル
＊00=
```

7 ファクスの基本的な設定

6 ［◄］か［►］で、短縮ダイヤルの番号（00 ～ 99）を選びます。



［短縮］を押して、テンキーで短縮ダイヤルの番号（2 桁）を押すこともできます。

7 ［OK］を 2 回押します。

デ ンワバ ンゴ ウ
TEL=_

8 テンキーで、登録したいファクス／電話番号を入力します。



- 数字を入力する方法や消去する方法については、83 ページをご覧ください。
- ポーズを入力するときは［リダイヤル／ポーズ］を押します。
- トーンを入力するときは［⁎］を押します。

9 ［OK］を 2 回押します。

ナマエ :ア
_

10 テンキーで、送信先の名前を入力します（スペースを含む最大 16 文字）。



文字を入力する方法や消去する方法については、83 ページをご覧ください。

11 ［OK］を押します。

続けてその他の番号や名前を短縮ダイヤルに登録するには、6 の操作からくり返します。

12 ［ストップ／リセット］を押します。



短縮ダイヤル電話番号リストを印刷して、登録した送信先を確認できます。（→ 82 ページ）

■ 短縮ダイヤルに登録した情報を変更、削除する

次のように操作してください。

登録したファクス／電話番号を変更するとき：

1.「短縮ダイヤルに登録する」（→ 77 ページ）の手順 1 ～ 7 まで操作します。
2.［◀］を押して、登録されているファクス／電話番号を削除します。
3. テンキーで新しい番号を入力します。
4.［OK］を押します。
5.［ストップ／リセット］を押します。

登録した名前を変更するとき：

1.「短縮ダイヤルに登録する」（→ 77 ページ）の手順 1 ～ 9 まで操作します。
2.［◀］を押しつづけて、登録されている名前を削除します。
3. テンキーで新しい名前を入力します。
4.［OK］を押します。
5.［ストップ／リセット］を押します。

登録をすべて削除するとき：

1.「短縮ダイヤルに登録する」（→ 77 ページ）の手順 1 ～ 7 まで操作します。
2.［◀］を押しつづけて、登録されているファクス／電話番号を削除します。
3.［OK］を押します。
4.［ストップ／リセット］を押します。
   ファクス／電話番号を削除すると、登録されていた名前は自動的に削除されます。

グループダイヤルに登録する

グループダイヤルを使うには（→ 94 ページ）、あらかじめ送信先のファクス／電話番号を登録しておく必要があります。



グループダイヤルに登録できるのは、すでにワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録されているファクス／電話番号だけです。（→ 75、77 ページ）

次のように操作してください。

1 ［ファクス］→［メニュー］の順に押します。

2 ［◀］か［▶］で、〈デンワバンゴウ トウロク〉を選びます。

3 ［OK］を押します。

デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ　トウロク
　　ワンタッチ　ダ゛イヤル　▶

7
ファクスの基本的な設定

4 ［◀］か［▶］で、〈グループ ダイヤル〉を選びます。

5 [OK］を押します。

6 グループダイヤルを登録するワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルの番号を選びます。

```
グループ　ダイヤル
 01=
```

ワンタッチダイヤルに登録するとき：

1. ［◀］か［▶］で、まだ使っていないワンタッチダイヤル（01 ～ 08）を選びます。
2. 7 の操作に進みます。

短縮ダイヤルに登録するとき：

1. ［短縮］を押して、テンキーでまだ使っていない短縮ダイヤルの番号（00 ～ 99）を選びます。
2. 7 の操作に進みます。

7 [OK］を 2 回押します。

```
TEL=
```

8 グループダイヤルに登録するワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを入力します。

ワンタッチダイヤルに登録されている番号を入力するとき：

1. グループダイヤルに登録するワンタッチダイヤル（01 ～ 08）を押します。
2. 9 の操作に進みます。

短縮ダイヤルに登録されている番号を入力するとき：

1. ［短縮］を押して、テンキーでグループダイヤルに登録する短縮ダイヤルの番号を入力します。
2. 9 の操作に進みます。



- 同じグループダイヤルに、続けてその他のワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを登録するには、1. の操作をくり返します。
- グループダイヤルに登録できるのは、すでにワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録されているファクス／電話番号だけです（テンキーでファクス／電話番号を入力することはできません）。
- 8 の操作で［◀］か［▶］を押して、入力した番号を確認できます。

9 [OK] を 2 回押します。

ナマエ　　　　　　　　　：ア

　　＿

10 テンキーで、グループの名前を入力します（スペースを含む最大 16 文字)。



- 文字を入力する方法や消去する方法については、83 ページをご覧ください。
- ここで入力した名前は、グループダイヤル電話番号リストに印刷されます。

11 [OK] を押します。

続けてその他のグループを登録するには、6 の操作からくり返します。

12 [ストップ／リセット] を押します。

グループダイヤル電話番号リストを印刷して、登録した送信先を確認できます。(→ 82 ページ)

■ グループダイヤルに登録した情報を変更、削除する

次のように操作してください。

登録した名前を変更するとき：

1.「グループダイヤルに登録する」(→ 79 ページ) の手順 1 〜 9 まで操作します。
2. [◄] を押しつづけて、登録されている名前を削除します。
3. テンキーで新しい名前を入力します。
4. [OK] を押します。
5. [ストップ／リセット] を押します。

グループ内の番号を削除するとき：

1.「グループダイヤルに登録する」(→ 79 ページ) の手順 1 〜 7 まで操作します。
2. [◄] か [►] で、削除したい番号を選びます。
3. [◄] を押しつづけます。
4. [OK] を押します。
5. [ストップ／リセット] を押します。

グループに番号を追加するとき：

1.「グループダイヤルに登録する」(→ 79 ページ) の手順 1 〜 7 まで操作します。
2. グループに登録するワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを入力します。
3. [OK] を押します。
4. [ストップ／リセット] を押します。

■グループを削除するとき：

1.「グループダイヤルに登録する」（→ 79 ページ）の手順 1 〜 7 まで操作します。
2.［◀］を押しつづけて、登録されているすべての番号を削除します。
3.［OK］を押します。
4.［ストップ／リセット］を押します。
番号を削除すると、グループの名前も自動的に削除されます。

スピードダイヤルに登録されている番号リストを印刷する

スピードダイヤルに登録したファクス／電話番号の一覧を印刷できます。このリストを本機のそばに置いておくと、ダイヤルするときに便利です。

次のように操作してください。

1 ［ファクス］→［メニュー］の順に押します。

2 ［◀］か［▶］で、〈レポート／リスト〉を選びます。

1．ファクス　シヨウ　セッテイ
◀　レポ゜ート/ リスト　▶

3 ［OK］を押します。

1．レポ゜ート/ リスト
ツウシンカンリ　レポ゜ート　▶

4 ［◀］か［▶］で、〈ダイヤルリスト〉を選びます。

1．レポ゜ート/ リスト
◀　ダ゛イヤルリスト　▶

5 ［OK］を押します。

1．ダ゛イヤルリスト
ワンタッチ　ダ゛イヤルリスト　▶

6 ［◀］か［▶］で〈ワンタッチ ダイヤルリスト〉、〈タンシュク ダイヤルリスト〉、または〈グループ ダイヤルリスト〉を選びます。

7 [OK] を押します。

〈ワンタッチ ダイヤルリスト〉、〈タンシュク ダイヤルリスト〉を選んだとき：

1. [◀] か [▶] で、ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録した名前の 50 音順で印刷するかどうかを選びます。

ソート　シュツリョク
－　ハイ　　　　　　イイエ　＋

ハイ［◀］：　名前の 50 音順（アルファベット順）で印刷します。
イイエ［▶］：ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルの番号順で印刷します。

スピードダイヤルリストが印刷されます。

文字や数字を入力する

次のように操作してください。

1 [⁎] を押して、カナモード（：ア)、英字モード（：A)、または数字モード（：1）に切りかえます。

LCD ディスプレイの右上に選択されたモードが表示されます。

例：

ナマエ　　　　　　　　：ア
＿



2 テンキーで、文字を入力します。入力する文字が表示されるまでくり返し押します。

次に入力したい文字が同じボタンに割り当てられているとき：

1. [▶] を押してから、同じボタンをもう一度押します。

スペースを入力するとき：

1. [▶] を 2 回押します（数字モード時は 1 回)。

文字を消去するとき：

1. [◀] を押します。

入力した文字をすべて消去するとき：

1. [◀] を押しつづけます。

ボタン	カナモード（：ア）	英字モード（：A）	数字モード（：1）
[1]	アイウエオァィゥェォ		1
[2]	カキクケコ	A B C a b c	2
[3]	サシスセソ	D E F d e f	3
[4]	タチツテトッ	G H I g h i	4
[5]	ナニヌネノ	J K L j k l	5
[6]	ハヒフヘホ	M N O m n o	6
[7]	マミムメモ	P Q R S p q r s	7
[8]	ヤユヨャュョ	T U V t u v	8
[9]	ラリルレロ	W X Y Z w x y z	9
[0]	ワヲン		0
[#]	゛ ゜ 。「 」、・ ー	- . ＊ # ! ” , ; : ^ ` _ = / | ’ ? $ @ % &+ ( ) [ ] { } < >	
[＊]	カナモード（：ア） → 英字モード（：A） → 数字モード（：1） →（カナモード（：ア）に戻る）		

印刷できるレポートとリスト

本機で印刷できるレポートやリストには、次のような種類があります。詳しい説明については、該当するページをご覧ください。

レポート名またはリスト名	説明	参照
通信管理レポート	送受信したファクスの履歴です。20 通信ごとに自動的に印刷するかどうかを設定できます。また、手動で印刷することもできます。	85 ページ
ワンタッチダイヤル電話番号リスト	ワンタッチダイヤルに登録されている番号と名前のリストです。	82 ページ
短縮ダイヤル電話番号リスト	短縮ダイヤルに登録されている番号と名前のリストです。	82 ページ
グループダイヤル電話番号リスト	グループダイヤルに登録されている番号と名前のリストです。	82 ページ
ユーザデータリスト	現在の設定と発信元情報のリストです。	85 ページ
原稿リスト	現在メモリに保存されている原稿のリストです。	95 ページ
送信結果レポート	ファクスの送信後に印刷されます。 このレポートを印刷するかどうか設定できます。 また、エラーが発生したときだけ印刷するように設定することもできます。送信結果レポートの下に原稿の最初のページを印刷して、送信したファクスの内容がわかるように設定することもできます。	178 ページ
受信結果レポート	ファクスの受信後に印刷されます。 このレポートを印刷するかどうか設定できます。 また、エラーが発生したときだけ印刷するように設定することもできます。	179 ページ
マルチ通信結果レポート	同報送信後に印刷されます。	91 ページ

通信管理レポート

工場出荷時の設定により、通信管理レポートは 20 回通信するごとに自動的に印刷されるようになっています。またこのレポートが印刷されないように設定することもできます。



設定については、177 ページをご覧ください。

■ 通信管理レポートを印刷する

次のように操作してください。

1 ［ファクス］→［メニュー］の順に押します。

2 ［◄］か［►］で、〈レポート／リスト〉を選びます。

1．ファクス　シヨウ　セッテイ
◄　レポ゜ート/ リスト　►

3 ［OK］を 2 回押します。

通信管理レポートが印刷されます。

ユーザデータリスト

ユーザデータリストには、現在の設定と発信元情報（→ 72 ページ）が印刷されます。

■ ユーザデータリストを印刷する

次のように操作してください。

1 ［ファクス］→［メニュー］の順に押します。

2 ［◄］か［►］で、〈レポート／リスト〉を選びます。

1．ファクス　シヨウ　セッテイ
◄　レポ゜ート/ リスト　►

3 [OK] を押します。

```
1. レポ゜ート/リスト
      ツウシンカンリ  レポ゜ート  ▶
```

4 [◀] か [▶] で、〈ユーザデータリスト〉を選びます。

```
1. レポ゜ート/リスト
◀      ユーザ゛デ゛ータリスト    ▶
```

5 [OK] を押します。

ユーザデータリストが印刷されます。

送信結果レポート

原稿を送信したあとに、送信結果レポートを印刷することができます。送信結果レポートは、送信するたびに、またはエラーが発生したときだけ印刷されるように設定できます。また、このレポートが印刷されないように設定することもできます。



- 設定については、178 ページをご覧ください。
- 工場出荷時は〈エラージ ノミ プリント〉に設定されています。

受信結果レポート

原稿を受信したあとに、受信結果レポートを印刷することができます。受信結果レポートは、受信するたびに、またはエラーが発生したときだけ印刷されるように設定できます。また、このレポートが印刷されないように設定することもできます。



- 設定については、179 ページをご覧ください。
- 工場出荷時は〈プリント シナイ〉に設定されています。

8章 ファクスを送信する

送信できる原稿

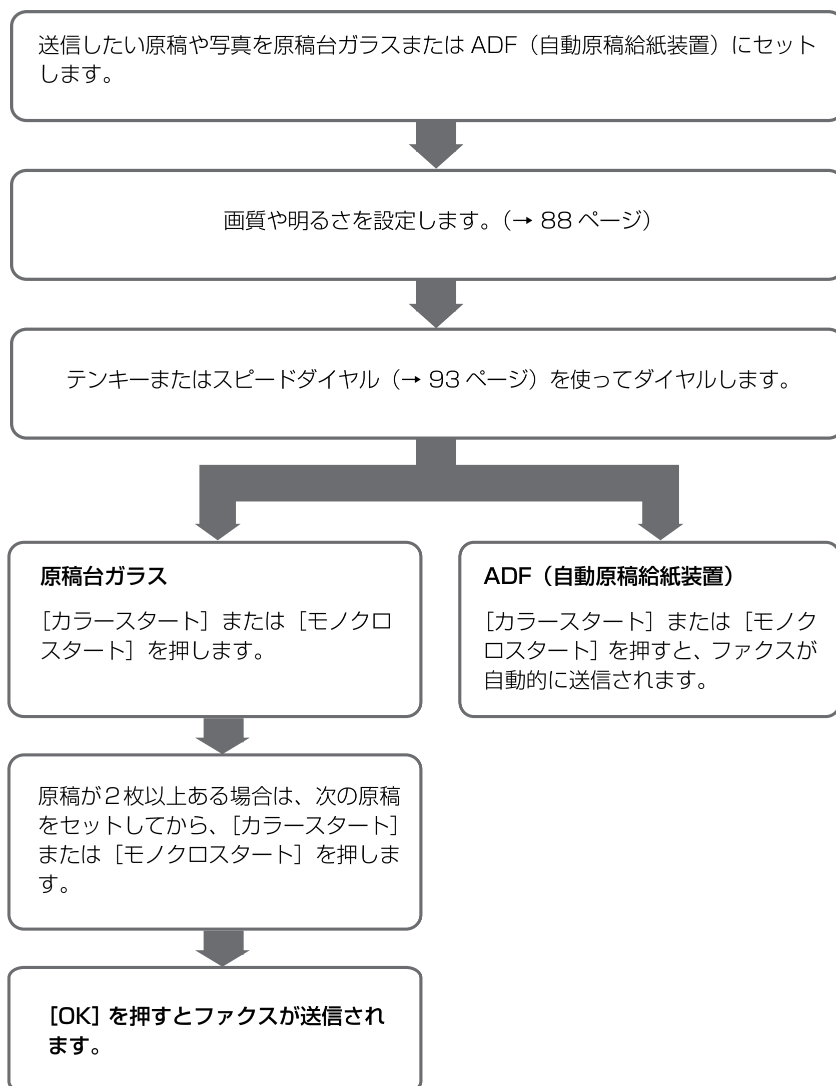
送信できる原稿の種類や条件、セットのしかたについては、2 章をご覧ください。

ファクス送信の流れ

本機からファクスを送信するまでの主な操作の流れを次に示します。



カラー送信は送信先がカラーに対応しているときのみ有効になります。



ファクスを送信する前に

原稿に合わせて、画質や濃度を設定できます。

■画質（解像度）をかえる

送信する原稿の画質を調整できます。解像度を高くすると、よりきれいに原稿を送信できますが、送信時間が長くなります。送信する原稿の種類に合わせて、画質を調整してください。

次のように操作してください。

1 ［ファクス］→［画質］の順に押します。

例： ファクス カイゾ゛ウド゛ セッテイ



2 ［◀］か［▶］で、画質を選びます。

ヒョウジュン： 通常の文字だけの原稿に適しています。
ファイン： 高解像度の原稿に適しています。
シャシン： 写真の入った原稿に適しています。
※カラーファクス送信の場合、〈ファイン〉を選択しても〈シャシン〉を選択した場合と同じ動作になります。

3 ［OK］を押します。

■濃度（明るさ）をかえる

濃度（明るさ）とは、原稿を読み込むときの濃さを意味します。濃度を濃くすると暗い部分はより黒く、明るい部分はより白くなります。また、濃度を薄くするほど暗い部分と明るい部分の差がなくなります。濃度は３段階に切りかえることができます。

次のように操作してください。

1 ［ファクス］→［濃度］の順に押します。

例： ファクス ヨミトリ ノウド゛



2 ［◀］か［▶］で、濃度を選びます。

［◀］を押すと薄くなり、［▶］を押すと濃くなります。

3 ［OK］を押します。

送信方法

ファクスを送信するには、次の 4 つの方法があります。
●本機からの送信（メモリ送信）
●手動送信
●複数の相手に一度に送信する（同報送信）
●パソコンからの送信（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））
これらの方法について次で説明します。

■本機からの送信（メモリ送信）

次のように操作してください。

1 原稿台ガラスまたは ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについては、18 ページをご覧ください。

2 ［ファクス］を押します。

3 必要に応じて、設定を調整します。



- 画質の選びかたは、88 ページをご覧ください。
- 濃度の選びかたは、88 ページをご覧ください。

4 送信先のファクス番号をテンキー、またはスピードダイヤルでダイヤルします。



スピードダイヤルの使いかたは、93 ページをご覧ください。

5 カラーファクスをする場合は［カラースタート］を押し、白黒ファクスをする場合は［モノクロスタート］を押します。

原稿台ガラスにセットしたとき：

1. **次のメッセージが表示されたあと、原稿台ガラスに 2 枚めの原稿をセットします。**

ツギ゛ノ ペ゜ージ゛　：スタート
ヨミトリ シュウリョウ ：OK

1 枚の原稿で読み込みを終了するには、［OK］を押します。

2. **［カラースタート］または［モノクロスタート］を押します。**
5 の操作で押したボタンと同じボタンを押してください。



5 の操作で押したボタンと同じでない場合は、読み込みが開始されません。

ADF（自動原稿給紙装置）にセットしたとき：

原稿の読み込みが終了したあと、自動的に送信が始まります。



カラー送信は送信先がカラーに対応しているときのみ有効になります。



- 送信を中止するときは、［ストップ／リセット］を押してください。また、送信中のときは［ストップ／リセット］を押したあとで、LCD ディスプレイの表示にしたがってください。
- ADF（自動原稿給紙装置）から送信中に［ストップ／リセット］を押して原稿が ADF（自動原稿給紙装置）内に残った場合は、［OK］を押してください。ADF（自動原稿給紙装置）に残った原稿が、自動的に排紙されます。

■ 手動送信

ファクスを送信する前に、相手と会話をしたいときや、相手が自動的にファクスに切りかわらないファクスを使っているときは、手動送信を使います。



- **手動送信では、原稿台ガラスは使えません。**
- **ファクスを送信する前に、相手と会話をしたいときは、電話機を本機に接続する必要があります。**

次のように操作してください。

1 ファクスを送信する前に相手と会話をしたいときは、電話機を本機につなぎます。（→『かんたんスタートガイド（本体設置編）』）

2 ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットします。



ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットする方法については、19 ページをご覧ください。

3 ［ファクス］を押します。

4 必要に応じて、設定を調整します。



- 画質の選びかたは、88 ページをご覧ください。
- 濃度の選びかたは、88 ページをご覧ください。

5 ［オンフック］を押すか、受話器を取ります。

6 送信先のファクス番号をテンキー、またはスピードダイヤルでダイヤルします。



スピードダイヤルの使いかたは、93 ページをご覧ください。

7 電話機を使って相手と会話をします。



相手の声ではなく、ピーという音が聞こえたら、9 の操作に進みます。

8 相手に、原稿を受信する操作をしてもらいます。

9 ピーという音が聞こえたら、カラーファクスをする場合は［カラースタート］を押し、白黒ファクスをする場合は［モノクロスタート］を押して、受話器を置きます。



カラー送信は送信先がカラーに対応しているときのみ有効になります。



手動送信を中止するときは、［ストップ／リセット］を押してください。

■ 複数の相手に一度に送信する（同報送信）

同じ原稿を複数の相手（最大 109 件）に一度に送信できます。同報送信するには、次の 3 つの方法があります。

ワンタッチダイヤル： 8 件まで
短縮ダイヤル： 100 件まで
通常のダイヤル（テンキーを使う）またはリダイヤル： 1 件

送信先は、どのような順で入力してもかまいませんが、テンキーで入力したあとは、必ず［OK］を押してください。



複数の送信先に同じ原稿をひんぱんに送るようなときは、送信先を 1 つのグループとして登録しておくと便利です。このグループダイヤルを使うと、かんたんなキー操作で、グループ内のすべての送信先に一度に原稿を送ることができます。(→ 79 ページ)

次のように操作してください。

1 原稿台ガラスまたは ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについては、18 ページをご覧ください。

2 ［ファクス］を押します。

3 必要に応じて、設定を調整します。



- 画質の選びかたは、88 ページをご覧ください。
- 濃度の選びかたは、88 ページをご覧ください。

4 送信先のファクス番号をダイヤルします。

ワンタッチダイヤルのとき：

1. ワンタッチダイヤル（01 ～ 08）を押します。

短縮ダイヤルのとき：

1. ［短縮］を押して、テンキーで 2 桁の短縮ダイヤルの番号を押します。

通常のダイヤルのとき：

1. テンキーでファクス番号を入力して、［OK］を押します。



4 の操作で［◀］または［▶］を押して、入力した番号を確認できます。

5 カラーファクスをする場合は［カラースタート］を押し、白黒ファクスをする場合は［モノクロスタート］を押します。

■原稿台ガラスにセットしたとき：

1. 次のメッセージが表示されたあと、原稿台ガラスに 2 枚めの原稿をセットします。

ツギ゛ノ　ヘ゜ージ゛	：スタート
ヨミトリ　シュウリョウ	：OK

1 枚の原稿で読み込みを終了するには、[OK] を押します。

2. [カラースタート] または [モノクロスタート] を押します。

5 の操作で押したボタンと同じボタンを押してください。



5 の操作で押したボタンと同じでない場合は、読み込みが開始されません。

■ADF（自動原稿給紙装置）にセットしたとき：

原稿の読み込みが終了したあと、自動的に送信が始まります。



カラー送信は送信先がカラーに対応しているときのみ有効になります。



- 送信を中止するときは、[ストップ／リセット] を押して、LCD ディスプレイの表示にしたがいます。
- 1 件だけを中止することはできません。4 の操作でダイヤルしたすべての送信先への送信が中止されます。

Windows

■ PC パソコンからの送信

本機をパソコンに接続しファクスを送信することができます。
詳しくは、『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

スピードダイヤルの使いかた

スピードダイヤルにファクス／電話番号を登録しているとかんたんにダイヤルすることができます。
スピードダイヤルを使って、ファクスを送信するときは、ダイヤルしたあとに [カラースタート] または [モノクロスタート] を押します。

スピードダイヤルには、次の 3 つがあります。
●ワンタッチダイヤル
●短縮ダイヤル
●グループダイヤル
これらについて次で説明します。



- スピードダイヤルになにも登録されていないと〈デンワバンゴウ ミトウロク〉と表示されます。
- スピードダイヤルの登録のしかたについては、75 ページをご覧ください。
- 送信のしかたについては、89 ページをご覧ください。

■ ワンタッチダイヤルを使ってダイヤルする

ワンタッチダイヤル(01 ～ 08)にファクス番号を登録しておくと、ボタン 1 つでかんたんにダイヤルできます。

次のように操作してください。

1 ダイヤルしたい番号を割り当てたワンタッチダイヤル(01 ～ 08)を押します。

■ 短縮ダイヤルを使ってダイヤルする

短縮ダイヤルにファクス番号を登録しておくと、［短縮］を押して、2 桁の短縮ダイヤルの番号を押すだけでダイヤルできます。

次のように操作してください。

1 ［短縮］を押します。

2 テンキーで、ダイヤルしたい番号を割り当てた 2 桁の番号（00 ～ 99）を入力します。

■ グループダイヤルを使ってダイヤルする

グループダイヤルに複数のファクス番号を登録しておくと、ワンタッチダイヤルか短縮ダイヤルを使って、一度に複数の相手に原稿を送信できます。

次のように操作してください。

ワンタッチダイヤルに登録したとき：

1. ダイヤルしたいグループダイヤルに割り当てられているワンタッチダイヤル（01 ～ 08）を押します。（→ 94 ページ）

短縮ダイヤルに登録したとき：

1. ［短縮］を押して、テンキーで、ダイヤルしたいグループダイヤルに割り当てられている 2 桁の番号を入力します。（→ 94 ページ）

リダイヤルする

リダイヤルには、手動リダイヤルと自動リダイヤルの 2 つがあります。

■ 手動リダイヤル

テンキーを使用して、最後に送信したファクス番号にリダイヤルするには、[リダイヤル／ポーズ] を押します。



- 送信のしかたについては、89 ページをご覧ください。
- 手動リダイヤルを中止するときは、[ストップ／リセット] を押します。

■ 自動リダイヤル

メモリ送信で、送信先が話し中などでファクスを送信できなかったときは、間隔をあけて自動的にリダイヤルします。



- 自動リダイヤルの設定は、必要に応じて変更できます。
- 自動リダイヤルを中止するときは、リダイヤルが開始されたら、[ストップ／リセット] を押して、LCD ディスプレイの表示にしたがいます。
- メモリから原稿を消去することもできます。詳しくは 96 ページをご覧ください。

自動リダイヤルの設定を変更する

次の設定を変更できます。

●自動リダイヤル設定のオン／オフ
●リダイヤルの回数 （1 ～ 15 回）
●リダイヤルの間隔（2 ～ 99 分）



設定については 178 ページをご覧ください。

メモリに保存されているファクス



電源を切ると、メモリに保存されているファクスはすべて削除されます。電源を切るときは、必要なファクスを送信または印刷しておいてください。

■ メモリに保存されているファクスの一覧を印刷する

メモリに保存されているファクスの一覧 （原稿リスト）を印刷できます。一覧には、送受信したファクスの受付番号、通信モード、相手先や枚数、日付、送受信したときの時刻が印刷されます。メモリに保存されているファクスを印刷したり削除したりするときは、受付番号を指定します。

次のように操作してください。

1 [ファクス] → [メニュー] の順に押します。

2 [◀] か [▶] で、〈メモリ ショウカイ〉を選びます。

3 [OK] を 2 回押します。

送受信したファクスの一覧が印刷されます。



- メモリに何も保存されていないときは、〈チクセキガゾウガ アリマセン〉と表示され、もとの画面に戻ります。
- 2 の操作で〈レポート／リスト〉を選んで〈ゲンコウ リスト〉からも印刷できます。(→ 176 ページ)

■ メモリに保存されているファクスを印刷、削除する

次のように操作してください。

1 [ファクス] → [メニュー] の順に押します。

2 [◀] か [▶] で、〈メモリ ショウカイ〉を選びます。

3 [OK] を押します。

4 [◀] か [▶] で、〈ゲンコウ プリント〉または〈ゲンコウ クリア〉を選びます。

〈ゲンコウ プリント〉を選んだとき :

1. [OK] を押します。
2. [◀] か [▶] またはテンキーで、印刷したいファクスの受付番号を指定します。
   受付番号がわからないときは、原稿リストを印刷します。(→ 95 ページ)
3. [OK] を押します。
4. 最初のページだけを印刷するときは、[◀] を押し、すべてのページを印刷するときは、[▶] を押します。
5. 続けて別の原稿を印刷するときは、2. の操作に戻り、終了するときは、5 の操作に進みます。

〈ゲンコウ クリア〉を選んだとき :

1. [OK] を押します。
2. [◀] か [▶] またはテンキーで、削除したいファクスの受付番号を指定します。
   受付番号がわからないときは、原稿リストを印刷します。(→ 95 ページ)
3. [OK] を押します。
4. [◀] を押します。
   [▶] を押すとキャンセルされ、2. の LCD 表示に戻ります。
5. 続けて別の原稿を削除するときは、2. の操作に戻り、終了するときは、5 の操作に進みます。

5 ［ストップ／リセット］を押します。

■ メモリに保存されているファクスを確認する

メモリに保存されているファクスを印刷したり削除したりする前に、LCD ディスプレイでファクスの情報を確認できます。

例：

```
ゲ゛ンコウ プ゜リント
ウケツケ バ゛ンゴ゛ウ     *0001
```

(A)

(B)

(A) 受付番号

●0001 ～ 4999 は、送信ファクスを指します。

●5001 ～ 9999 は、受信ファクスを指します。

(B) 受付番号の前にあるマーク

●何もマークがないものは、白黒原稿を指します。

●〈*〉は、カラー原稿を指します。

●〈#〉は、送信中または印刷中の白黒原稿を指します。

●〈&〉は、送信中または印刷中のカラー原稿を指します。

詳しい情報を表示する

詳しい情報 （受付番号、受付時刻、ファクス番号）を確認するときは、［*］または ［#］を押します。



受付番号がわからないときは、原稿リストを印刷します。（→ 95 ページ）

そのほかの送受信方法

■ 外線へのダイヤル

本機を PBX（構内電話交換機）やほかの電話交換システムに接続しているときは、まず外線呼び出し番号をダイヤルしてから、相手のファクス／電話番号をダイヤルしてください。

■ 一時的にプッシュ信号に切りかえる

銀行、航空券の予約、ホテルの予約などのプッシュホンサービスをダイヤル回線で利用するときは、プッシュ信号を使います。本機をダイヤル回線に接続しているときは、一時的にプッシュ信号に切りかえてください。

次のように操作してください。

1 ［ファクス］を押します。

2 ［オンフック］を押します。本機を電話機に接続しているときは、受話器を取っても操作できます。

3 テンキーで、サービス先の電話番号を入力します。

4 録音音声のメッセージが聞こえたら、［トーン（［*］）］を押して、プッシュ（トーン）信号に切りかえます。

2 の操作で、［オンフック］を押した場合、相手と会話をするときは、受話器を取ってください。

5 メッセージにしたがって、テンキーで番号を入力します。

6 サービスの利用が終わったら、［オンフック］を押すか、受話器を戻します。

■ ECM 方式による送受信

本機は、ECM（自動誤り訂正モード）方式で送受信するように設定されています。送信側と受信側で送受信状態を確認し合いながら通信を行い、回線のトラブルなどによるエラーを自動的に訂正します。



- 送信側または受信側のファクスが ECM に対応していないときは、標準モードで送受信されます。
- ECM 方式で送受信しないように設定することもできます。（→ 178 ページ）

9章 ファクスを受信する

ファクス受信の流れ

本機でファクスを受信するまでの主な操作の流れを次に示します。

Step 1

オートシートフィーダまたはカセットに用紙をセットします。（→ 24、28 ページ）



- A4、レター、リーガルの用紙をセットしてください。
- リーガルの用紙は、オートシートフィーダにセットしてください。

Step 2

受信方法を選択します。

●ファクスだけを受けたい、ファクス専用の電話回線がある
〈ジドウ ジュシン モード〉（→ 100 ページ）

●ファクスよりも電話のほうが多い、ファクスは手動で受信したい
〈シュドウ ジュシン モード〉（→ 100 ページ）

●電話のときは留守番電話が応答し、ファクスのときは自動的に受信したい
〈ルス TEL セツゾク モード〉（→ 101 ページ）

●自動的にファクスと電話を切りかえたい
〈FAX/TEL キリカエ〉（→ 101 ページ）



- 手動受信モードや FAX/TEL 切りかえモードに設定する場合は、外付け機器接続部に電話機を接続する必要があります。
- 留守 TEL 接続モードに設定する場合は、外付け機器接続部に留守番電話機を接続する必要があります。

用紙のサイズと種類について

本機で受信したファクスを印刷するときは、A4、レター、またはリーガルの用紙をオートシートフィーダまたはカセットにセットしてください。



- リーガルの用紙は、オートシートフィーダにセットしてください。
- ［給紙切替］で設定した給紙箇所に A4、レター、またはリーガル以外の用紙がセットされていると、〈ダイコウ ジュシン シマシタ〉と表示されます。設定した給紙箇所の用紙を A4、レター、またはリーガルに変更して［OK］を押してください。

- 用紙サイズの設定が A4、LTR、または LGL 以外の場合は、出力されず〈ヨウシヲ ヘンコウ シテクダサイ A4/LTR/LGL フツウシ〉と表示されます。A4、LTR、または LGL に変更して［OK］を押してください。
- 2つの給紙箇所にセットされている用紙のサイズが A4 またはレターで、2つの給紙箇所の用紙のサイズと種類が同じ場合、自動連続給紙が行われます。（→ 23 ページ）



相手が A3 や B4 など、A4 よりも大きいサイズの原稿を送信した場合、相手先のファクス機が自動的に縮小、分割、または一部分（A4 の範囲）だけを送信することがあります。

受信モードについて

本機には4つの受信モードがあります。お使いの用途に合わせて受信モードを選んでください。



- 本機は電源が入っていないとファクスを受信することができません。［電源］を押して電源を入れてください。
- ナンバーディスプレイ対応の電話機を使用する場合、本機には何も表示されません。
- ナンバーディスプレイを使用する場合は、〈ジドウ ジュシン モード〉、〈シュドウ ジュシン モード〉、または〈ルス TEL セツゾク モード〉に設定してください。



コピーモード（［コピー］を押したあとの状態）、ファクスモード（［ファクス］を押したあとの状態）、スキャンモード（［スキャン］を押したあとの状態）、フォトモード*（［フォト］を押したあとの状態）のどのモードでもファクスを受信することができます。

* フォトモードの時、ファクスを受信すると［ファクス］が点滅します。［ファクス］を押して受信したファクスを印刷してください。

■ ファクスだけを受けたい、ファクス専用の電話回線がある

●〈ジドウ ジュシン モード〉を選びます。

ファクスを受信するとき：本機が自動的に受信します。

電話のとき：電話を受けることはできません。



- ファクスのときは、呼び出し音は鳴りません。呼び出し音を鳴らしたいときは、本機に電話機を接続して、〈チャクシン ヨビダシ〉を〈スル〉に設定します。（→ 179 ページ）また、呼び出し音を鳴らす回数も設定できます。（→ 179 ページ）
- ナンバーディスプレイを使用する場合は、〈チャクシン ヨビダシ〉を〈スル〉に設定してください。

■ ファクスよりも電話のほうが多い、ファクスは手動で受信したい

●〈シュドウ ジュシン モード〉を選びます。

ファクスを受信するとき：呼び出し音が鳴ります。受話器を取って、「ピー」という音が聞こえたら、本機の［カラースタート］または［モノクロスタート］を押して、ファクスを受信します。

電話のとき：呼び出し音が鳴ります。受話器を取って、相手と会話をします。

リモート受信をするとき：本機が離れた場所にあるときは、受話器を取って、25（リモート受信 ID）をダイヤルするとファクスを受信します。



- 一定の時間呼び出し音を鳴らしたあと、自動的にファクスを受信することができます。（→ 179 ページ）
- リモート受信をしないように設定できます。また、リモート受信 ID は変更できます。（→ 179 ページ）
- 本機に留守番電話を接続しているときは、留守番電話を操作するための暗証番号がリモート受信 ID と同じ番号になっていることがあります。この場合は、リモート受信 ID の番号を変更してください。（→ 179 ページ）

■ 電話のときは留守番電話が応答し、ファクスのときは自動的に受信したい

●〈ルス TEL セツゾク モード〉を選びます。

ファクスを受信するとき：	はじめに本機に接続した留守番電話が応答し、そのあと本機が受信します。
電話のとき：	本機に接続した留守番電話が応答します。

留守番電話を設定する

留守番電話は、次のように設定します。

●呼び出し音が 1 回か 2 回鳴ったところで応答するように設定してください。
●応答メッセージの長さは 15 秒以内にしてください。
●メッセージでは、ファクスの送信方法を説明してください。

■ 自動的にファクスと電話を切りかえたい

●〈FAX/TEL キリカエ〉を選びます。

ファクスを受信するとき：	本機が自動的に受信します。
電話のとき：	呼び出し音が鳴ります。受話器を取って、相手と会話をします。電話機によっては呼び出し音が鳴らない場合があります。



ファクスのときは、呼び出し音は鳴りません。呼び出し音を鳴らしたいときは、本機に電話機を接続して、〈チャクシン ヨビダシ〉を〈スル〉に設定します。（→ 179 ページ）また、呼び出し音を鳴らす回数も設定できます。（→ 179 ページ）

FAX/TEL 切りかえモードの詳細設定

FAX/TEL 切りかえモードでは、相手からの呼び出しに対して、本機がどのように対応するかを細かく設定できます。着信がファクスか電話かを判断するための時間、着信が電話だったときは、呼び出し音を鳴らす時間、設定した呼び出し時間が経過したあとの本機の対応を設定することができます。



設定については、178 ページをご覧ください。

受信モードを設定する

次のように操作してください。

1 ［ファクス］→［メニュー］を押します。

2 [OK] を押します。

例：
ｼﾞｭｼﾝﾓｰﾄﾞ
◀*ｼﾞﾄﾞｳ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ ▶

3 [◀] か [▶] で、受信モードを選びます。

ジドウ ジュシン モード： 自動的にファクスだけを受信します（本機に電話機を接続している場合、接続した電話機の呼び出し音は鳴りません）。

シュドウ ジュシン モード： ファクスのときも電話のときも呼び出し音が鳴ります。ファクスは手動で受信します。

ルス TEL セツゾク モード： はじめに留守番電話が応答し、ファクスのときは自動的に受信します。

FAX/TEL キリカエ： 自動的にファクスと電話を切りかえます。ファクスのときは自動的に受信し、電話のときは呼び出し音が鳴ります。

4 [OK] を押します。

受信モードが LCD ディスプレイの左下に表示されます。

例：
2004 09/01 WED 15:30
受信モード—ｼﾞﾄﾞｳ ﾋｮｳｼﾞｭﾝ

受信を中止する

[ストップ／リセット] を押して、LCD ディスプレイの表示にしたがってください。

メモリでの受信

ファクスを受信中に用紙やインクがなくなったときや紙づまりが発生したときは、印刷が済んでいないファクスは自動的にメモリに保存され、〈ダイコウ ジュシン シマシタ〉などのメッセージが表示されます。メモリに保存されたファクスは用紙の補給、インクタンクの交換、紙づまりが処理されたあとに自動的に印刷されます。



- 本機のメモリには、約 250 ページ分* のファクスが保存できます。
- メモリがいっぱいになると、残りのページは受信できません。相手先に連絡して、もう一度送信してもらってください。

* キヤノン FAX 標準チャート No.1（標準モード）使用時

10章 PC 本機のソフトウェアについて知っておこう

パソコンと接続するにはインストールが必要です

本機とパソコンを接続してご利用になる場合は、本機付属のセットアップ CD-ROM に含まれているソフトウェアをインストールする必要があります。インストールの手順は、『かんたんスタートガイド（ソフトウェアインストール編）』をご覧ください。



ソフトウェアの機能についての詳細は、『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

必要なシステム

ソフトウェアをインストールして使うには、お使いのパソコンが次の条件を満たしている必要があります。

Windows

- CD-ROM ドライブ、またはネットワーク上で共有されている CD-ROM ドライブ
- 256 色対応の SVGA 以上のモニタ（High Color 以上を推奨）
  - 表示解像度 800 × 600 ドット以上、32000 色以上の SVGA モニタ（High Color 以上を推奨）
- IBM PC/AT 互換機
- Microsoft Internet Explorer バージョン 4.01（Service Pack*2）以降
- 130MB 以上（200MB 以上を推奨）の空きがあるハードディスク
  - MP ドライバ：　130MB 以上の空き容量
  - MP Navigator：　50MB 以上の空き容量
- USB2.0 Hi-Speed で使用する場合：
  本機には USB2.0 Hi-Speed 対応のコネクタが装備されています。Hi-Speed モードは大幅に通信速度を向上させた高速 USB モードです。ただし、使用する環境が USB2.0 Hi-Speed に対応している必要があります。USB2.0 Hi-Speed モードでご使用の場合は USB2.0 Hi-Speed インタフェースが標準で装備されているパソコンと接続してください。
  USB ケーブルは本機に付属されている USB ケーブル、または 3m 以内の 2.0 対応のケーブルを使用してください。

オペレーションシステム（OS） **＊日本語版のみ対応**	**CPU**	**必要なメモリ容量**
Microsoft Windows 2000 Professional （Service Pack*4 以降）	Pentium/Celeron 566MHz プロセッサ以上	128MB 以上 （256MB 以上を推奨）
Microsoft Windows XP Professional/Home Edition （Service Pack*1 以降）		



- USB2.0 Hi-Speed インタフェースを標準装備したパソコンのすべての動作を保証するものではありません。

- USB2.0 Hi-Speed インタフェースは USB Full-Speed（USB1.1 相当）に完全上位互換ですので、USB Full-Speed（USB1.1 相当）としてもご使用いただけます。
- Windows 2000 Professional でご利用いただくためには、Windows 2000 Professional に Service Pack*4 以降がインストールされている必要があります。
- Windows XPでご利用いただくためには、Windows XPにService Pack*1 以降がインストールされている必要があります。

●USB Full-Speed（USB1.1 相当）で使用する場合：
USB Full-Speed で使用する場合は、パソコンが次の条件を満たしている必要があります。USB ケーブルは本機に付属されている USB ケーブル、または 3m 以内の USB-IF 認定の USB ケーブルを使用してください。

オペレーションシステム（OS） **＊日本語版のみ対応**	**CPU**	**必要なメモリ容量**
Microsoft Windows 98	Pentium/Celeron 233MHz プロセッサ以上 （300MHz 以上を推奨）	64MB 以上（128MB 以上を推奨）
Microsoft Windows Me		
Microsoft Windows 2000 Professional		
Microsoft Windows XP Professional/Home Edition	Pentium/Celeron 300MHz プロセッサ以上	

* Service Pack とは Windows 自体のトラブルを修正するためのプログラムで、Microsoft 社から提供されております。Service Pack の入手方法は、Microsoft 社にお問い合わせください。

- パソコンにどの Service Pack がインストールされているかは、次の方法で確認できます。
  1. ［マイ コンピュータ］を右クリックして、［プロパティ］をクリックします。
  2. ［全般］タブの［システム］に現在インストールされている Service Pack が表示されます。



パソコンに本機を接続して印刷または画像を読み込んでいるときや、パソコンがスリープモードまたはスタンバイモードのときに USB ケーブルを抜き差ししないでください。

Windows 2000/XP 使用時のユーザ権限について

Windows 2000 にソフトウェアをインストールするときは、Administrator としてログオンするか、Administrator 権限が必要です。Windows XP にインストールするときは、管理者としてログオンする必要があります。
使用時は、Users 権限以上のユーザでログオンしてください。



パソコンにソフトウェアをインストールしたり、ユーザを管理する権限を Administrator と呼びます（Windows XP では、管理者と呼ぶこともあります）。

Macintosh

●CD-ROM ドライブ、またはネットワーク上で共有されている CD-ROM ドライブ
●256 色対応の SVGA 以上のモニタ（32000 色以上を推奨）
- 表示解像度 800 × 600 ドット以上

●オペレーションシステム（OS）日本語版のみ対応
- Mac OS X v.10.2.4 以上（USB Full-Speed（USB 1.1 相当）で使用する場合）
- Mac OS X v.10.2.7 以上（USB2.0 Hi-Speed で使用する場合）

●Microsoft Internet Explorer 5.0 以降
●128MB 以上のメモリ

●110MB 以上の空きがあるハードディスク
- MP ドライバ：　100MB 以上の空き容量
- MP Navigator：　200MB 以上の空き容量
●USB インタフェース



パソコンに本機を接続して印刷または画像を読み込んでいるときや、パソコンがスリープモードやスタンバイモードのときにUSB ケーブルを抜き差ししないでください。

Mac OS X 使用時のユーザ権限について

Mac OS X にソフトウェアをインストールするときは、管理者としてログインする必要があります。

Classic 環境使用時について

本機は Mac OS X Classic 環境には対応していません。

セットアップ CD-ROM に含まれるソフトウェア

本機には、次のソフトウェアが含まれています。各ソフトウェアの機能については『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）、または各ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

MP ドライバ

●プリンタドライバ（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））
印刷機能のあるアプリケーションから印刷するときに使います。
●ファクスドライバ（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））
印刷機能のある Windows アプリケーションからファクスするときに使います。
●スキャナドライバ（ScanGear MP、WIA ドライバ（Windows XP のみ））（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））
パソコンに画像を読み込むときに使います。



MP ドライバをインストールすると、ScanGearStarter（Windows）または ScanGear Starter 1.0J（Macintosh）もインストールされます。ScanGearStarter（Windows）または ScanGear Starter 1.0J（Macintosh）は、ScanGear MP を起動して、読み込んだ画像をいろいろなファイル形式で保存するソフトウェアです。

MP Navigator

パソコンに画像を読み込んだり、保存するときに使います。

アプリケーション

アプリケーションについては、8 ページをご覧ください。



アプリケーションを［カスタムインストール］でインストールするときは、MP ドライバと MP Navigator も一緒にインストールしてください。

画像の読み込みと設定は MP Navigator で

MP Navigator を使うと、原稿台ガラスや ADF（自動原稿給紙装置）にセットされた原稿を読み込んだり、パソコンに保存された画像データを表示することができます。読み込んだ原稿はプレビューで確認でき、さまざまな目的に応じて手軽に印刷や加工などをすることができます。
また、読み込んだ原稿を本機付属のアプリケーションで編集／印刷することもできます。

Windows

デスクトップの［MP Navigator 1.0］アイコンをダブルクリックすると起動します。

Macintosh

MP Navigator をインストールしたハードディスクアイコン→［アプリケーション］フォルダを順にダブルクリックし、［MP Navigator 1.0］アイコンをダブルクリックすると起動します。

MP Navigator から起動できるアプリケーションは、次のとおりです。

- ●Easy-PhotoPrint（イージーフォトプリント）（焼き増し印刷）
- ●PhotoRecord（フォトレコード）（レイアウト印刷）（Windows のみ）
- ●らくちん CD（シーディー） ダイレクトプリント for Canon（フォー キヤノン）（CD-R 印刷）（Windows のみ）
- ●ArcSoft PhotoStudio（アークソフトフォトスタジオ）（写真画像の編集）
- ●読取革命 Lite（よみとりかくめい ライト）（文書をテキストに変更）



［カスタムインストール］で MP ドライバと MP Navigator のみをインストールした場合は、アプリケーションは起動できません。

ソフトウェアのアンインストール（削除）と再インストール

MP Navigator や MP ドライバが必要なくなった場合や、正しくインストールされなかったときは、アンインストール（削除）してください。
Windows 2000 からソフトウェアをアンインストール（削除）するときは、Administrator としてログオンするか、Administrator 権限が必要です。Windows XP からアンインストール（削除）するときは、管理者としてログオンする必要があります。
Mac OS X からアンインストール（削除）するときは、管理者の権限が必要です。

Windows



MP Navigator や MP ドライバを削除するときは、MP Navigator、ScanGearStarter、MP ドライバの順に削除してください。MP ドライバを先に削除すると 、スタートメニューのプログラムの中に［Canon］フォルダが残る場合があります。

■ MP Navigator を削除するには

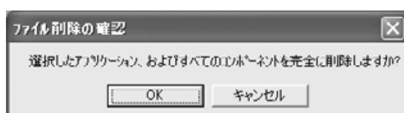
次のように操作してください。

Windows

1 MP Navigator など、起動しているアプリケーションをすべて終了します。ウイルスチェックプログラムも終了してください。

MP Navigator は、画面の右上の［×］または画面右下の［閉じる］をクリックすると終了します。
終了してよいかをたずねるメッセージが表示されたら、［OK］をクリックしてください。

2 タスクバーの［スタート］ボタンから、［(すべての) プログラム］→［Canon］→［MP Navigator 1.0］→［MP Navigator アンインストール］をクリックします。



3［OK］をクリックします。

4［完了］をクリックします。

Macintosh

1 MP Navigator など、起動しているアプリケーションをすべて終了します。ウイルスチェックプログラムも終了してください。

MP Navigator は、画面左上の［×］または画面右下の［閉じる］をクリックすると終了します。

2 MP Navigator をインストールしたハードディスクアイコン→［アプリケーション］フォルダを順にダブルクリックし、［MP Navigator 1.0］アイコンをゴミ箱に入れます。

ユーザ名とパスワードを入力してください。

3 パソコンを再起動します。

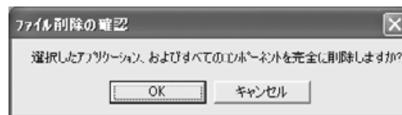
■ MP ドライバを削除するには

次のように操作してください。

Windows

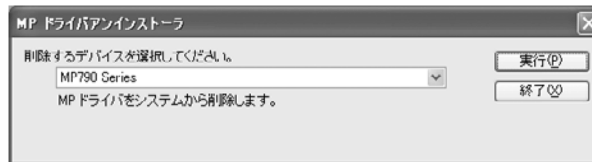
1 起動しているアプリケーションをすべて終了します。ウイルスチェックプログラムも終了してください。

2 タスクバーの［スタート］ボタンから、［（すべての）プログラム］→［Canon］→［ScanGearStarter］→［ScanGearStarter のアンインストール］をクリックします。



3 ［OK］をクリックします。

4 タスクバーの［スタート］ボタンから、［（すべての）プログラム］→［Canon］→［MP ドライバ 6.1］→［ドライバアンインストール］をクリックします。



5 「削除するデバイスを選択してください。」と表示されたら、［MP790 Series］を選んで［実行］をクリックします。

MP ドライバを削除してよいかをたずねるメッセージが表示されたら、［はい］をクリックしてください。

6 ［完了］をクリックします。

再起動を促すメッセージが表示されたら、パソコンを再起動してください。

重要

パソコンを再起動したときは、パソコンが起動する前に USB ケーブルを外してください。

7 USB ケーブルをパソコンと本機から外します。

Macintosh

1 起動しているアプリケーションをすべて終了します。ウイルスチェックプログラムも終了してください。

2 ScanGear Starter 1.0J をインストールしたハードディスクアイコン→［アプリケーション］フォルダを順にダブルクリックし、[ScanGear Starter 1.0J］フォルダをゴミ箱に入れます。

ユーザ名とパスワードを入力してください。

3 MP ドライバをインストールしたハードディスクアイコン→［アプリケーション］フォルダを順にダブルクリックし、[ユーティリティ］フォルダ→［プリンタ設定ユーティリティ］（Mac OS X v.10.2.x のときは、[ユーティリティ］フォルダ→［プリントセンター]）を順にダブルクリックします。

4 [プリンタリスト] で登録されているすべての BJ プリンタを選び、[削除] をクリックします。

5 MP ドライバをインストールしたハードディスクアイコン→ [ライブラリ] フォルダ→［Printers］フォルダ→［Canon］フォルダを順にダブルクリックし、[BJPrinter］フォルダをゴミ箱に入れます。

ユーザ名とパスワードを入力してください。

6 パソコンを再起動します。

7 パソコンが起動する前に、USB ケーブルをパソコンと本機から外します。

■ 再インストールするには

MP Navigator、ScanGearStarter（Windows）または ScanGear Starter 1.0J（Macintosh)、MP ドライバの順に削除したあと、インストールの操作を行ってください。(→『かんたんスタートガイド（ソフトウェアインストール編)』)

11章 PCパソコンから印刷しよう

印刷する前に

印刷前に次のことを確認してください。



コピーモード（［コピー］を押したあとの状態）、ファクスモード（［ファクス］を押したあとの状態）、スキャンモード（［スキャン］を押したあとの状態）のどのモードでもパソコンから印刷することができます。

■ ソフトウェア（MP ドライバ）はインストールされていますか？

まだインストールしていないときは、『かんたんスタートガイド（ソフトウェアインストール編）』をご覧ください。



■ 本機を［通常使うプリンタ］に設定していますか？

アプリケーションで［プリンタ］画面を開くと、本機が［通常使うプリンタ］に設定されているか確認できます。通常使うプリンタに設定されていないときは、次のように操作してください。



Windows 2000 では、プリンタドライバをインストールしただけでは［通常使うプリンタ］に設定されないことがあります。［通常使うプリンタ］に設定したいときは、必ず次のように操作してください。

1. タスクバーの［スタート］ボタンから、［コントロール パネル］→［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタと FAX］（Windows XP 以外のときは、［スタート］ボタンから［設定］→［プリンタ］）をクリックします。

2. ［プリンタと FAX］画面（Windows XP 以外のときは、［プリンタ］画面）で本機のプリンタのアイコンをクリックします。

3. ［プリンタ］メニューで、［通常使うプリンタに設定］をクリックします。

Macintosh

■ 本機をデフォルトプリンタに設定していますか？

アプリケーションで［プリンタ］画面を開くと、本機がデフォルトプリンタに設定されているか確認できます。デフォルトプリンタに設定されていないときは、次のように操作してください。

1. アップルメニューで［システム環境設定］を開き、［プリントとファクス］をクリックします。

2. 開いた画面で［プリント］をクリックし、［“プリント”画面で選択されるプリンタ］ポップアップメニューから本機を選びます。

■ オートシートフィーダまたはカセットに適切な用紙がセットされていますか？

詳しくは、3 章をご覧ください。

印刷する

MP ドライバをインストールすると、印刷機能があるアプリケーションから、印刷ができるようになります。印刷の手順は、アプリケーションによって異なります。ここでは、一般的な印刷の手順を説明します。実際の操作は、印刷に使うアプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

重要

パソコンに本機を接続して印刷しているときや、パソコンがスリープモードまたはスタンバイモードのときに USB ケーブルを抜き差ししないでください。

参考

ご使用のアプリケーションにより、表示される画面が異なる場合があります。
なお、本書では表示される画面の例として、Windows XP および Mac OS X v.10.3.x の画面を使用しています。

次のように操作してください。

Windows

1. ［給紙切替］で給紙箇所を設定して、設定した給紙箇所に用紙をセットします。

参考

- 給紙切替の設定は、23 ページをご覧ください。
- 用紙の種類については、20 ページをご覧ください。
- 用紙のセットのしかたについては、24、28 ページをご覧ください。

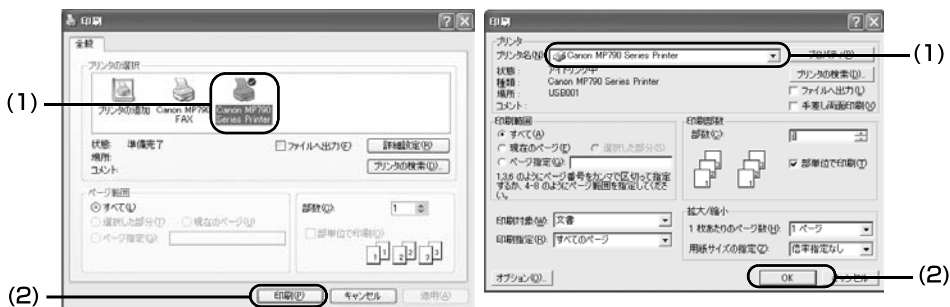
2 アプリケーションで印刷する文書を開き、印刷のコマンドを選びます。

通常、［ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。

アプリケーションによっては、ツールバーの印刷ボタンをクリックして、現在のプリンタドライバの設定のままで印刷することもできます。

3 ［印刷］画面の［プリンタの選択］または［プリンタ名］で、本機が選ばれていることを確認します。

選ばれていないときは、本機のプリンタ名 (1) を選んでください。



例：Word の場合

4 必要に応じて印刷設定を変更し､文書を印刷するボタン (2) をクリックします。

通常、印刷するボタンは［OK］または［印刷］です。

参考

- オートシートフィーダまたはカセットにセットする用紙は、アプリケーションで設定された用紙サイズに合わせてください。
- 設定の変更については『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

Macintosh

1 ［給紙切替］で給紙箇所を設定して、設定した給紙箇所に用紙をセットします。

参考

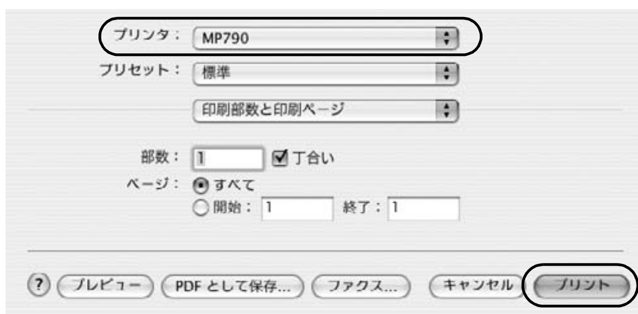
- 給紙切替の設定は、23 ページをご覧ください。
- 用紙の種類については、20 ページをご覧ください。
- 用紙のセットのしかたについては、24、28 ページをご覧ください。

2 アプリケーションで印刷する文書を開き、印刷のコマンドを選びます。

通常、［ファイル］メニューの［プリント］をクリックします。

3 ［プリンタ］で本機が選ばれていることを確認します。

4 ［プリント］をクリックします。



参考

- オートシートフィーダまたはカセットにセットする用紙は、アプリケーションで設定された用紙サイズに合わせてください。
- 設定の変更については『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

印刷を中止する

印刷を開始する前にキャンセルすることができます。また、印刷を開始したあとでも、キャンセルすることができます。

Windows

印刷が開始される前に中止する場合：

1. ［印刷］画面で、印刷を中止するボタンをクリックします。
   通常、このボタンは［キャンセル］です。

印刷が開始されたあとに中止する場合：

1. BJ ステータスモニタで［印刷中止］をクリックします。

参考

本機の［ストップ／リセット］を押して、印刷を中止することもできます。

Macintosh

印刷が開始される前に中止する場合：

1. ［プリント］画面で、印刷を中止するボタンをクリックします。
   通常、このボタンは［キャンセル］です。

印刷が開始されたあとに中止する場合：

1. Dock 内にあるプリンタのアイコンをクリックして、中止したい印刷ジョブを選んで［削除］をクリックします。

参考

本機の［ストップ／リセット］を押して、印刷を中止することもできます。

印刷の設定をかえる

印刷の設定は、文書を印刷するときに細かく調整することができます。詳しくは、オンラインヘルプまたは『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

Windows

印刷設定には、次の 2 つの方法があります。

●**プリントアドバイザーを使って設定をかえる**

画面に表示されるメッセージにしたがって順番に印刷設定を変更できます。

●**個別に設定をかえる**

設定をかえたい項目を設定画面からさがして印刷設定を変更します。

■ プリントアドバイザーを使って印刷設定をかえる

次のように操作してください。

1 ［給紙切替］で給紙箇所を設定して、設定した給紙箇所に用紙をセットします。



- 給紙切替の設定は、23 ページをご覧ください。
- 用紙の種類については、20 ページをご覧ください。
- 用紙のセットのしかたについては、24、28 ページをご覧ください。

2 アプリケーションで印刷する文書を開き、印刷のコマンドを選びます。

通常、［ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。

3 ［印刷］画面の［プリンタの選択］または［プリンタ名］でプリンタを選び、［詳細設定］または［プロパティ］をクリックします。

4 プロパティまたは印刷設定画面の［基本設定］タブで、［プリントアドバイザー］をクリックします。



5 画面の表示にしたがって操作します。

■ 個別に設定をかえる

次のように操作してください。

1 ［給紙切替］で給紙箇所を設定して、設定した給紙箇所に用紙をセットします。



- 給紙切替の設定は、23 ページをご覧ください。
- 用紙の種類については、20 ページをご覧ください。
- 用紙のセットのしかたについては、24、28 ページをご覧ください。

2 アプリケーションで印刷する文書を開き、印刷のコマンドを選びます。

通常、［ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。

3 ［印刷］画面の［プリンタの選択］または［プリンタ名］でプリンタを選び、［詳細設定］または［プロパティ］をクリックします。

4 プロパティまたは印刷設定画面で、変更したいタブや画面で設定を変更します。

変更したあとで、元の設定（インストールしたときの設定）に戻したいときは、［標準に戻す］をクリックします。

5 変更を確定して画面を閉じるときは、［OK］をクリックします。

変更した設定が適用されて画面が閉じます。

変更を取り消して画面を閉じるときは、［キャンセル］をクリックします。

Macintosh

印刷設定には、次の 2 つの方法があります。

● **［ページ設定］画面の設定をかえる**

［ページ設定］画面では、用紙サイズや印刷方向、拡大／縮小印刷など、ページに関する設定を行います。印刷の開始は［プリント］画面から行います。

● **［プリント］画面の設定をかえる**

［プリント］画面では、用紙の種類や給紙方法、印刷の品位などを設定し、印刷を開始することができます。

■［ページ設定］画面の設定をかえる

次のように操作してください。

1 ［給紙切替］で給紙箇所を設定して、設定した給紙箇所に用紙をセットします。



- 給紙切替の設定は、23 ページをご覧ください。
- 用紙の種類については、20 ページをご覧ください。
- 用紙のセットのしかたについては、24、28 ページをご覧ください。

2 アプリケーションで印刷する文書を開き、用紙設定のコマンドを選びます。

通常、［ファイル］メニューの［用紙設定］または［ページ設定］をクリックします。



3 ［対象プリンタ］で設定するプリンタ名を選びます。

4 ［設定］のポップアップメニューから必要な項目を選んで、設定します。

［ページ設定］画面の表示は、［設定］のポップアップメニューによって切りかわります。

5 ページ設定の設定内容を確認し、［OK］をクリックします。



［設定］ポップアップメニューから［一覧］を選ぶと、［ページ設定］画面で設定されている内容が表示されます。

■［プリント］画面の設定をかえる

次のように操作してください。

1 ［給紙切替］で給紙箇所を設定して、設定した給紙箇所に用紙をセットします。



- 給紙切替の設定は、23 ページをご覧ください。
- 用紙の種類については、20 ページをご覧ください。
- 用紙のセットのしかたについては、24、28 ページをご覧ください。

2 アプリケーションで印刷する文書を開き、印刷のコマンドを選びます。

通常、［ファイル］メニューの［プリント］をクリックします。



3 ［プリンタ］で使用しているプリンタ名を選びます。

［プリンタリストを編集］を選ぶと、プリンタリストが表示されます。

4 ポップアップメニューから必要な項目を選んで、設定します。

［プリント］画面の表示は、ポップアップメニューによって切りかわります。

5 次のいずれかの操作をします。

［プレビュー］を表示する：

1. ［プレビュー］をクリックします。
   印刷する前に、どのような印刷結果になるかを画面に表示することができます。

PDF 形式として保存する：

1. ［PDF として保存］をクリックします。
   ポップアップメニューから［出力オプション］を選んで、［ファイルとして保存］にチェックマークをつけ、［フォーマット］で［PDF］を選んでも、原稿を PDF 形式で保存することができます。［保存］をクリックすると、保存するファイル名や保存場所を設定する画面が表示されます。

パソコンからファクス送信する（Mac OS X v.10.3 のみ）：

1. ［ファクス］をクリックします。
   パソコンの内蔵モデムを使用して、設定した内容で文書をファクス送信することができます。詳しい操作のしかたは、Macintosh のヘルプをご覧ください。



パソコンから、本機を経由してファクス送信することはできません。

変更をキャンセルする：

1. ［キャンセル］をクリックします。

印刷を開始する：

1.［プリント］をクリックします。



- ［プリセット］で［別名で保存］を選ぶと、［プリント］画面の設定を登録できます。登録する印刷設定の名前を入力し、［OK］をクリックします。登録した印刷設定は、呼び出したり編集したりできます。
  - 印刷設定を呼び出すには、［プリント］画面の［プリセット］から保存した印刷設定を選びます。
  - 登録した印刷設定を選択しているときに、［プリセット］から［名称変更］または［削除］を選ぶと、名称を変更したり、その設定を削除したりできます。
- ポップアップメニューから［一覧］を選ぶと、［プリント］画面で設定されている印刷設定の内容が表示されます。

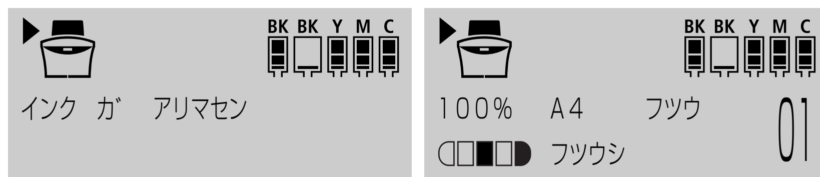
12章 お手入れ

インクタンクを交換する

■ インクタンクの交換時期

LCD ディスプレイに、次の警告が表示されたら、インクタンクを交換してください。

例：3eBK インクタンクが空の場合

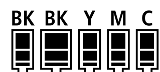


（メッセージが交互に表示される）

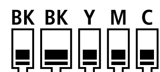
きれいに印刷されないとき、または何も印刷されないときは、インクタンクを交換してください。ただし、インクタンクを交換する前に、124 ページのフローチャートを見て、ほかに原因がないか調べてください。

■ インク残量を確認する

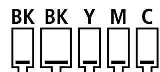
LCD ディスプレイでインク残量を確認することができます。



インク残量は充分にあります。



インク残量は半分ほどあります。



インク残量が少なくなっています。新しいインクタンクをご用意ください。

■ 使えるインクタンクの種類

次のインクタンクを使うことができます。

ブラック :BCI-3eBK	3e Black BCI-3eBK		
ブラック :BCI-7BK	7 Black BCI-7BK	シアン　:BCI-7C	7 Cyan BCI-7C
マゼンタ :BCI-7M	7 Magenta BCI-7M	イエロー :BCI-7Y	7 Yellow BCI-7Y



2 つのブラックのインクタンクは、インクタンクの型番が異なります。インクタンクを別途ご購入になる場合は、型番を間違えないように注意してください。



- **プリントヘッドとインクタンクはお子様の手が届かない場所に保管してください。もし誤って飲み込んだときは、ただちに医師の診断を受けてください。**
- **最適な印刷品質を保つため、キヤノン製の指定インクタンクの使用をおすすめします。また、インクを詰めかえたインクタンクを使用することで発生した被害、損害などは、キヤノンでは保証しておりません。**
- **交換用インクタンクは新品のものを装着してください。使いかけのインクタンクを装着すると、ノズルが詰まる原因になります。また、インクタンク交換時期を正しくお知らせできません。**
- **最適な印刷品質を保つため、インクタンクは梱包箱に記載されている「推奨取付年月日」までに本機に取り付けてください。また、開封後 6ヶ月以内に使い切るようにしてください（本機に取り付けた年月日を、控えておくことをおすすめします）。**
- **印刷後の用紙にぬれた手で触ったり、水などをこぼしたりしないようにしてください。インクがにじむことがあります。**
- **インクタンクの交換はすみやかに行い、インクタンクを取り外した状態で放置しないでください。そのまま放置しておいたインクタンクを使うと、きれいに印刷できません。**

■ インクタンクを交換する

ここでは、インクタンクを交換する方法について説明します。インクタンクを交換する前に、「インクタンクの交換時期」（→ 119 ページ）をご覧ください。

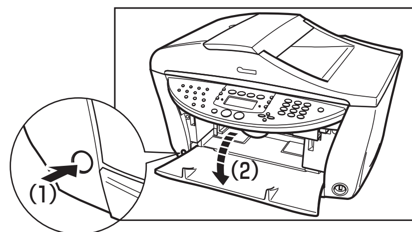


本機が動作中のときには、インクタンクを交換しないでください。

次のように操作してください。

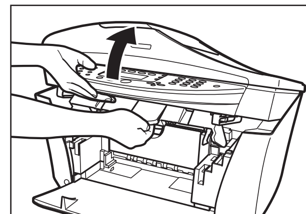
1 電源が入っていることを確認します。

2 排紙トレイオープンボタン (1) を押して、排紙トレイを開けます (2)。



3 スキャナユニットを止まるまで持ち上げます。

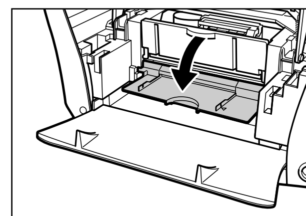
スキャナユニットオープンレバーを手前に引きながら、スキャナユニットを持ち上げます。



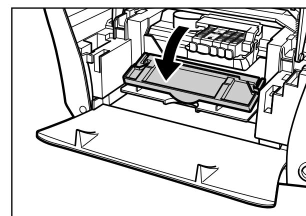
⚠ 注意

スキャナユニットは必ず片手でしっかりと持ってください。

4 CD-R トレイガイドを開けます。



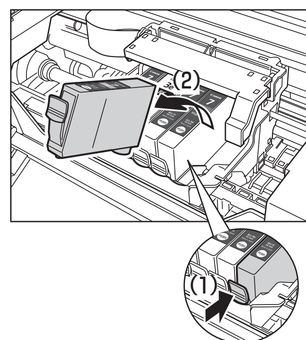
5 内カバーを開けます。



⚠ 注意

- プリントヘッドホルダを手で止めたり、無理に動かしたりしないでください。
- 本体内部の金属部分に触れないでください。

6 空のインクタンクの固定つまみを押して (1)、スロットから取り外します (2)。

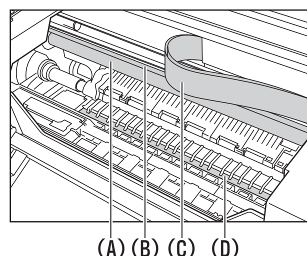


⚠ 注意

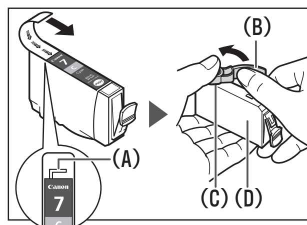
- プリントヘッドは、取り外さないでください。
- 複数のインクタンクを交換する場合でも、必ずひとつずつ交換してください。

重要

- 丸い軸 (A)、透明フィルム (B)、フィルムケーブル (C)、スポンジ部分 (D)、そのほかの金属部分には触れないでください。
- 使用済みのインクタンクの処分については、最終ページの「使用済みインクタンク回収のお願い」をご覧ください。
- インクが衣類などに付くと落ちにくいので注意してください。



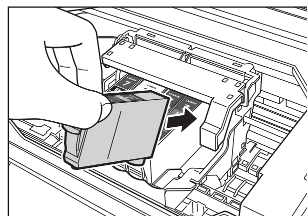
7 新しいインクタンクを袋から取り出し、オレンジ色のテープを矢印の方向に引っぱって、空気穴 (A) に保護フィルムが残らないようにきれいにはがします。図のように持って、オレンジ色の保護キャップ (B) を外します。



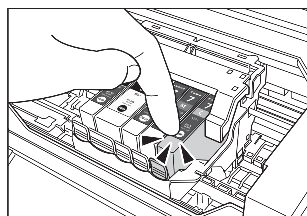
注意

- インクタンクの横 (D) を持たないでください。インクが飛び出すことがあります。
- 保護キャップ (B) を外したあと、インクの出口 (C) には触れないでください。
- インクタンクをふったり落としたりしないでください。インクがもれて、服や手を汚すことがあります。また、インクタンクの包装は手順どおりに剥がしてください。
- 一度外した保護キャップは、再装着しないでください。

8 プリントヘッドにインクタンクを斜めに差し込みます。

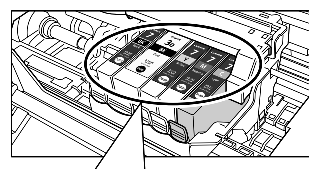


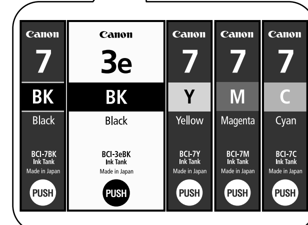
9 カチッと音がするまでしっかりと押してください。



重要

- インクタンクが、その色に合ったスロットに入っていることを確認してください。
- インクタンクの位置を間違えて取り付けたときは、ヘッドリフレッシングを２回～３回行なってください。
- ヘッドリフレッシングを行うと、余分なインク（廃インク）が廃インク吸収体に吸収されます。ヘッドリフレッシングは、通常のクリーニングよりインクを消費しますので、必要な場合のみ行ってください。





10 別の色のインクタンクを交換するときは、6～9の操作をくり返します。

11 内カバーを閉じます。

12 CD-R トレイガイドを閉じます。

13 スキャナユニットオープンレバーを手前に引きながら、スキャナユニットをゆっくり閉じます。

注意

スキャナユニットは必ず片手でしっかりと持ってください。

プリントヘッドのメンテナンス

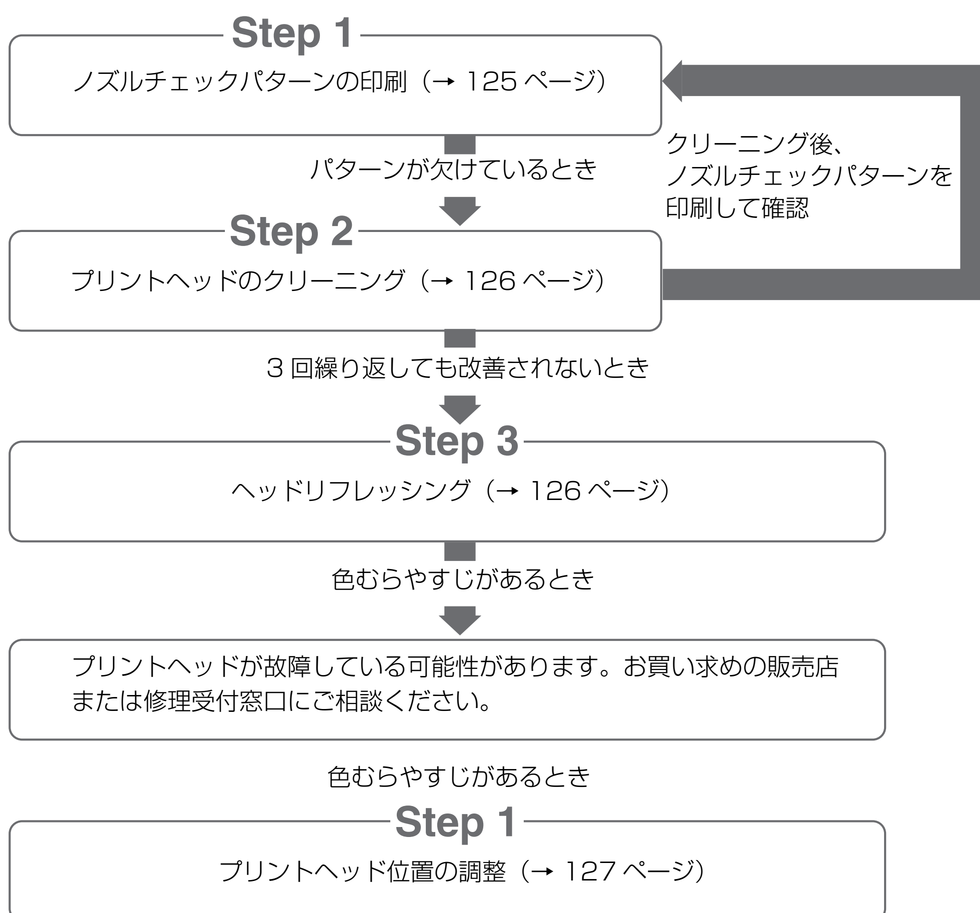
インクがまだ十分あるのに印刷がかすれたり特定の色が出なくなったときには、プリントヘッドのノズルが目詰まりしている可能性があります。ノズルチェックパターンを印刷してノズルの状態を確認した後に、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。
また、印刷の結果が思わしくないときは、プリントヘッドの位置調整を行うと状態が改善することがあります。

■ メンテナンス操作の流れ



メンテナンスを行う前に、次のことを確認してください。

– スキャナユニットを開け、インクタンクにインクが残っているか確認してください。インクがない場合は、インクタンクを交換してください。(→ 120 ページ)
– インクタンクの包装フィルムが完全にはがされているか確認してください。(→ 120 ページ)
– インクタンクの「PUSH」の部分を押して、インクタンクがしっかりセットされていることを確認してください。(→ 120 ページ)
– インクタンクの取り付け位置が正しいことを確認してください。(→ 120 ページ)



■ ノズルチェックパターンを印刷する

プリントヘッドのノズルからインクが正しく出ているかを確認するときは、ノズルチェックパターンを印刷します。



PC ノズルチェックパターンは、パソコンからも印刷できます。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））

次のように操作してください。

1 ［給紙切替］で給紙箇所を設定して、設定した給紙箇所に用紙をセットします。



- 給紙切替の設定は、23 ページをご覧ください。
- 用紙の種類については、20 ページをご覧ください。
- 用紙のセットのしかたについては、24、28 ページをご覧ください。

2 ［メニュー］で〈3. メンテナンス〉を選びます。

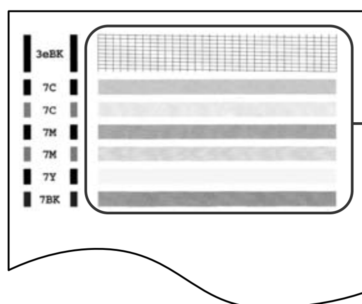
3. メンテナンス
プ゜リンタ ノズ゛ル チェック ▶



表示されるメニュー番号は、選択しているモードによって異なります。

3 ［OK］を押します。

ノズルチェックパターンが印刷されます。

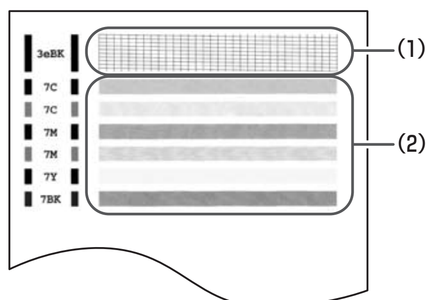


ノズルチェックパターン
ノズルチェックパターンの確認については 126 ページをご覧ください。

12
お手入れ

■ ノズルチェックパターンを確認する

ノズルチェックパターンの説明をします。



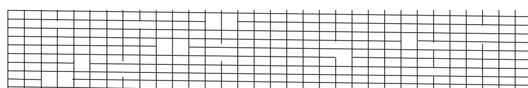


インク残量が少ないとノズルチェックパターンが正しく印刷されません。インク残量が少ない場合はインクタンクを交換してください。（→ 120 ページ）

パターン (1) で線が欠けている場合：

1. プリントヘッドのクリーニングが必要です。（→ 126 ページ）

線が欠けている場合



パターン (2) に白い横すじが目立つ場合：

1. プリントヘッドのクリーニングが必要です。（→ 126 ページ）

横すじがある場合



■ プリントヘッドをクリーニングする

ノズルチェックパターンが乱れたり欠けたりしているとき、または特定の色が印刷されないときは、プリントヘッドをクリーニングします。



- プリントヘッドのクリーニングは、少量のインクを消費します。ひんぱんにクリーニングすると、インクの減りが早くなります。
- 電源コードをコンセントに差し込んだときにも、プリントヘッドのクリーニングが行われます。また、電源が入っている状態でも定期的にクリーニングが行われます。
- PC パソコンからもプリントヘッドのクリーニングを行えます。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））

次のように操作してください。

1 ［メニュー］で〈3. メンテナンス〉を選びます。



表示されるメニュー番号は、選択しているモードによって異なります。

2 ［◀］か［▶］で、〈ヘッド クリーニング〉または〈ヘッド　リフレッシング〉を選びます。

例：

3．メンテナンス
◀　　ヘッド゛　クリーニング゛　▶

ヘッド クリーニング：　プリントヘッドをクリーニングします。
ヘッド リフレッシング：より強力にプリントヘッドをクリーニングします。

3 ［OK］を押します。

例：

ヘッド゛　クリーニング゛



- ヘッドクリーニングをしてもきれいに印刷できないときは、ヘッドリフレッシングを行ってください。
- ヘッドリフレッシングを行うと、余分なインク（廃インク）が廃インク吸収体に吸収されます。ヘッドリフレッシングは、通常のクリーニングよりインクを消費しますので、必要な場合のみ行ってください。

■ 自動でプリントヘッドの位置を調整する

罫線がずれたり、印刷結果が思わしくない場合は、プリントヘッドの位置を調整してください。
プリントヘッド位置の調整には自動と手動があります。自動でうまくいかなかったときは、手動でプリントヘッド位置を調整してください。



PC パソコンからもプリントヘッド位置を調整できます。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））

次のように操作してください。

1 ［給紙切替］でオートシートフィーダに設定します。



- ［給紙切替］で〈マエ〉（カセット）に設定されている場合、オートシートフィーダに用紙がセットされていても給紙されません。給紙箇所が〈ウシロ〉（オートシートフィーダ）に設定されていることを確認して、用紙をオートシートフィーダにセットしてから、操作し直してください。
- プリントヘッド位置調整パターンを正しく印刷するために、用紙は必ず 2 枚以上セットしてください。

2 オートシートフィーダに A4 の用紙を 2 枚以上セットします。

3 [メニュー] で〈3. メンテナンス〉を選びます。



表示されるメニュー番号は、選択しているモードによって異なります。

4 [◀] か [▶] で、〈ジドウヘッドイチチョウセイ〉を選びます。

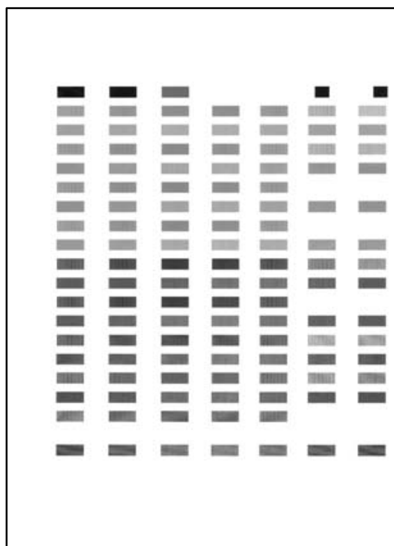
3．メンテナンス
◀ ジ゛ド゛ウヘッド゛イチチョウセイ ▶

5 [OK] を押します。

ジ゛ド゛ウヘッド゛イチチョウセイ
ヘッド゛ イチ チョウセイチュウ． ． ．

プリントヘッド位置調整パターンが印刷されます。

6 印刷されたパターンを確認します。



図のようなパターンが印刷されたら、プリントヘッド位置の調整は完了です。



- 6 のパターンが印刷されなかった場合は、次の対処をしてください。
  – A4 の用紙をセットする。
  – オートシートフィーダに用紙をセットする。(→ 24 ページ)
  – インクタンクを交換するか、正しくセットしなおす。(→ 120 ページ)
  – ノズルチェックパターンを印刷する。(→ 125 ページ)
  – 排紙口内に強い光が当たらないように調整する。
- 上記の対処をとった後、再度自動プリントヘッド調整を行ってもうまく印刷されないときには、手動でプリントヘッド位置を調整してください。(→ 129 ページ)

■ 手動でプリントヘッドの位置を調整する

自動でのプリントヘッド位置の調整がうまくいかなかったときは、手動でプリントヘッド位置を調整してください。



PC パソコンからもプリントヘッド位置を調整できます。(→『ソフトウェアガイド』(電子マニュアル))

次のように操作してください。

1 [給紙切替] で給紙箇所を設定して、設定した給紙箇所に用紙をセットします。



- 給紙切替の設定は、23 ページをご覧ください。
- 用紙の種類については、20 ページをご覧ください。
- 用紙のセットのしかたについては、24、28 ページをご覧ください。

2 [メニュー] で〈3. メンテナンス〉を選びます。



表示されるメニュー番号は、選択しているモードによって異なります。

3 [◀] か [▶] で、〈ヘッド イチ チョウセイ〉を選びます。

3．メンテナンス
◀ ヘッド゛ イチ チョウセイ ▶

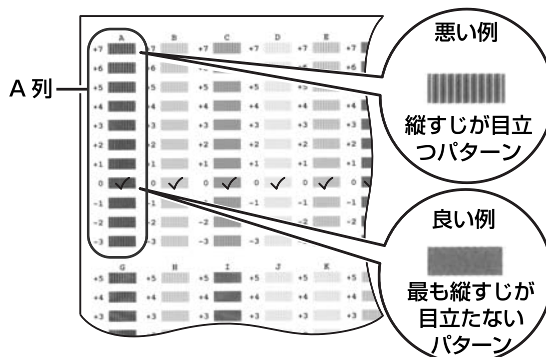
4 [OK] を押します。

ヨコ ホウコウ パ゜ターン
プ゜リント ジ゛ュンビ゛チュウ．．．

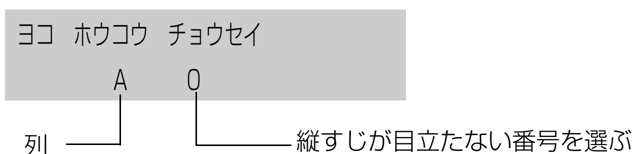
横方向のパターンが印刷されます。

12 お手入れ

5 印刷されたパターンの A 列から順に、最も縦すじが目立たないパターンにチェックマークを付けてください。



6 印刷されたパターンの A 列から順番に、5 でチェックしたパターン番号を［◄］か［►］で選びます。



7 [OK] を押します。

例：

ヨコ ホウコウ チョウセイ
B 0

8 6 と 7 の操作をくり返して、B ～ L 列を調整します。

すべての横方向のパターンを調整すると、LCD ディスプレイに次のように表示されます。

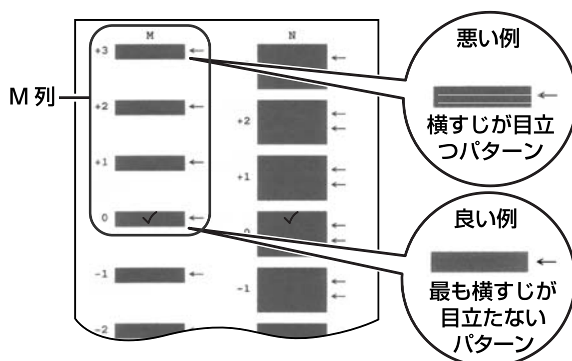
タテ パ゜ターン プ゜リントシマスカ?
－ ハイ イイエ ＋

9 [◄] を押します。

タテ ホウコウ パ゜ターン
プ゜リント ジ゛ュンビ゛チュウ. . .

縦方向のパターンが印刷されます。

10 印刷されたパターンのM列から順に、最も横すじが目立たないパターンにチェックマークを付けてください。



11 印刷されたパターンのM列から順番に、10でチェックしたパターン番号を［◄］か［►］で選びます。

例：
タテ　ホウコウ　チョウセイ
M　　0

12 ［OK］を押します。

例：
タテ　ホウコウ　チョウセイ
N　　0

13 11と12の操作をくり返して、N列を調整します。

■ スキャン結果の色合いを調整する

スキャンされた写真などの色合いが原稿と違うときは、キャリブレーション機能を使って印刷結果の色合いを調節することができます。

次のように操作してください。

1 ［メニュー］で〈3. メンテナンス〉を選びます。



表示されるメニュー番号は、選択しているモードによって異なります。

2 [◄] か [►] で、〈キャリブレーション〉を選びます。

3．メンテナンス
◄ キャリブ レーション

3 [OK] を押します。

キャリブ レーションチュウ．．．

色合いの調整が始まります。

調整が終わると、もとの画面に戻ります。

■ パワーセーブタイマーを設定する

パワーセーブとは、読み込みランプが消えている状態のことをいいます。
この機能で、パワーセーブに入るまでの時間を設定することができます。
パワーセーブから復帰したあとすぐにご使用になると、画像をきれいに読み込めないことがあります。頻繁にご使用になる場合は、パワーセーブタイマーを 4 時間または 8 時間に設定することをおすすめします。



- **パワーセーブから復帰したあとにコピー、またはスキャンをするときは、1 分以上たってからご使用ください。**
- **工場出荷時の設定は 1 時間になっています。**

次のように操作してください。

1 [メニュー] で〈4. システム カンリ セッテイ〉を選びます。



表示されるメニュー番号は、選択しているモードによって異なります。

2 [◄] か [►] で、〈パワーセーブ タイマーセット〉を選びます。

4．システム カンリ セッテイ
◄ パ ワーセーブ タイマーセット ►

3 [OK] を押します。

例： パ ワーセーブ タイマーセット
◄ ＊1 ジ カン ►

4 [◄] か [►] で、パワーセーブが開始される時間を選びます。

15 フン： 操作パネルのボタンを 15 分以上押さない状態が続くとパワーセーブモードになります。

1 ジカン： 操作パネルのボタンを 1 時間以上押さない状態が続くとパワーセーブモードになります。

4 ジカン： 操作パネルのボタンを 4 時間以上押さない状態が続くとパワーセーブモードになります。

8 ジカン： 操作パネルのボタンを 8 時間以上押さない状態が続くとパワーセーブモードになります。

5 [OK] を押します。

6 [ストップ／リセット] を押します。

清掃する

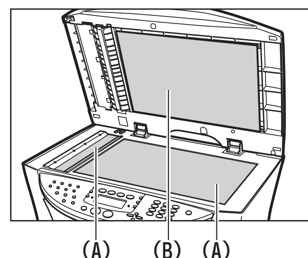
ここでは、清掃のしかたについて説明します。

⚠ 注意

- 清掃する前に、電源を切り、電源コードを抜いてください。
- 電源を切ると、メモリに保存されている原稿はすべて消去されます。電源を切るときは、必要な原稿を印刷しておいてください。
- 清掃には、ティッシュペーパーやペーパータオルは使わないでください。部品に紙の粉が付き、静電気の原因になることがあります。部品を傷つけないように、必ず柔らかい布を使ってください。
- ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の化学薬品は使わないでください。故障の原因になります。

■ スキャンエリアの清掃

きれいで柔らかく、糸くずの出ない布を用意してください。水に浸し、固くしぼってから、原稿台ガラス (A)、原稿台カバーの裏側（白い部分）(B) の汚れや、ほこりを拭き取ります。そのあと、乾いた柔らかい布で水気を拭き取ります。とくにガラス面は、拭いたあとが残らないように十分拭き取ってください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めて使ってください。



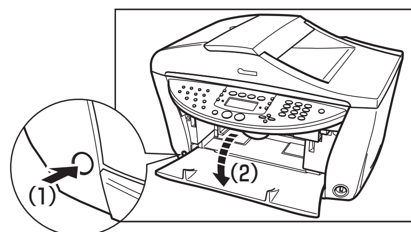
■ 本体内部の清掃

本体内部がインクで汚れていたり、紙の粉がたまっていたりすると、きれいに印刷できないので、定期的に清掃してください。

次のように操作してください。

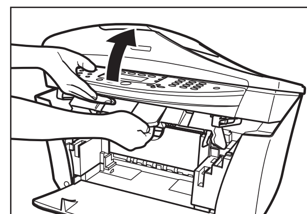
1 電源を切り、コンセントから電源コードを抜きます。

2 排紙トレイオープンボタン (1) を押して、排紙トレイを開けます (2)。



3 スキャナユニットを止まるまで持ち上げます。

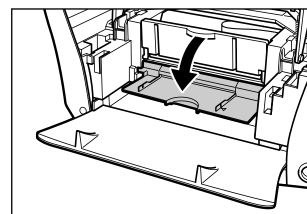
スキャナユニットオープンレバーを手前に引きながら、スキャナユニットを持ち上げます。



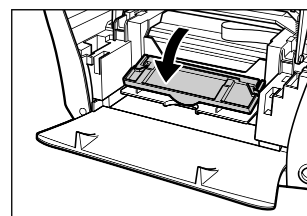
⚠ 注意

スキャナユニットは必ず片手でしっかりと持ってください。

4 CD-R トレイガイドを開けます。



5 内カバーを開けます。

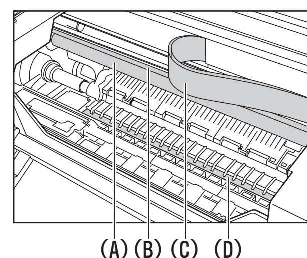


⚠ 注意

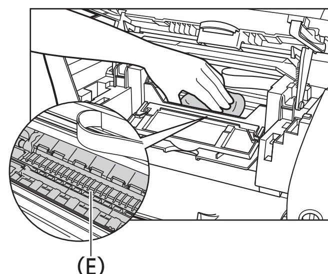
- プリントヘッドホルダを無理に動かさないでください。
- 本体内部の金属部分に触れないでください。

重要

丸い軸 (A)、透明フィルム (B)、フィルムケーブル (C)、スポンジ部分 (D)、そのほかの金属部分には触れないでください。



6 乾いた布で、本体内部、特にプラテン (E) のまわりから、インクの汚れや紙の粉、ほこりを拭き取ります。



7 内カバーを閉じます。

8 CD-R トレイガイドを閉じます。

9 スキャナユニットオープンレバーを手前に引きながら、スキャナユニットをゆっくり閉じます。

⚠ 注意

スキャナユニットは必ず片手でしっかりと持ってください。

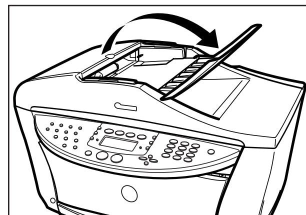
10 電源コードをコンセントに差し込み、電源を入れます。

■ ADF（自動原稿給紙装置）の清掃

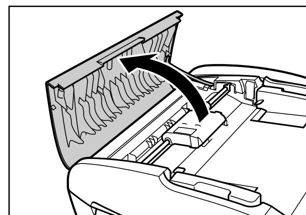
次のように操作してください。

1 電源を切り、コンセントから電源コードを抜きます。

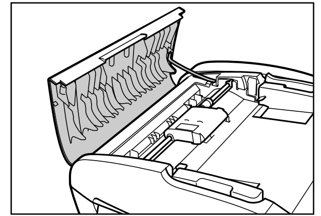
2 原稿トレイを開けます。



3 フィーダカバーを開きます。



4 きれいで柔らかく、糸くずの出ない乾いた布で、フィーダカバーの内側（図の灰色部分）から紙の粉を拭き取ります。



5 拭き終わったら、カチッと音がするまで、フィーダカバーを押して、閉めます。

6 原稿トレイを閉めます。

7 電源コードをコンセントに差し込み、電源を入れます。

■ 外側の清掃

きれいで柔らかく、糸くずの出ない布を水に浸し、固くしぼってからていねいに本体外側を拭きます。

■ ローラの清掃

用紙がうまく送られないときは、ローラを清掃してください。

次のように操作してください。

1 オートシートフィーダおよびカセットから用紙を取り除きます。

2 ［給紙切替］で、清掃する給紙箇所を選びます。



給紙切替の設定は、23 ページをご覧ください。

3 ［メニュー］で〈3. メンテナンス〉を選びます。



表示されるメニュー番号は、選択しているモードによって異なります。

4 ［◀］か［▶］で、〈キロク ローラ クリーニング〉を選びます。

3．メンテナンス
◀　キロク　ローラ　クリーニング　▶

5 [OK] を押します。

キロク　ローラ　クリーニング

ローラの清掃が行われます。

6 クリーニングが終わったら、3から5の操作を 2 回くり返します。

7 2で選んだ給紙箇所にA4の用紙をセットして、3から5の操作を3回くり返します。

■ インクふき取りクリーニングをする

本機の内部の汚れをとります。本機の内部が汚れていると、印刷した用紙が汚れる場合がありますので、定期的に行うことをおすすめします。



インクふき取りクリーニング中は他の操作をしないでください。

次のように操作してください。

1 オートシートフィーダから用紙を取り除きます。

2 A4 の用紙を横半分に折って開き、開いた面が表になるように、オートシートフィーダに 1 枚だけセットします。



[給紙切替] で〈マエ〉(カセット) に設定していても、オートシートフィーダから給紙されます。

3 [メニュー] で〈3. メンテナンス〉を選びます。



表示されるメニュー番号は、選択しているモードによって異なります。

4 [◀] か [▶] で、〈インク フキトリ クリーニング〉を選びます。

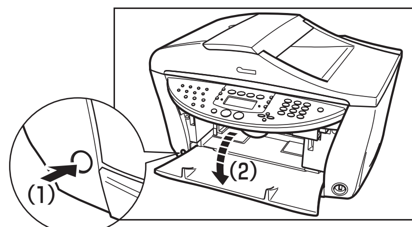
3．メンテナンス
◀ インク　フキトリ　クリーニング ▶

5 [OK] を押します。

用紙が給紙され、排紙されます。

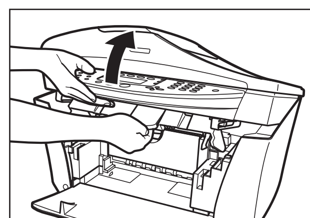
上記の操作を行っても汚れている場合：

1. 電源を切り、コンセントから電源コードを抜きます。
2. 排紙トレイオープンボタン (1) を押して、排紙トレイを開けます (2)。



3. スキャナユニットを止まるまで持ち上げます。

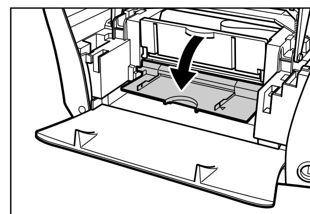
   スキャナユニットオープンレバーを手前に引きながら、スキャナユニットを持ち上げます。



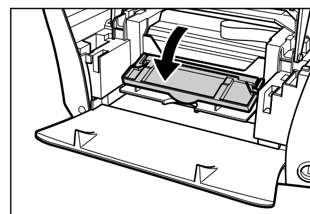
   注意

   スキャナユニットは必ず片手でしっかりと持ってください

4. CD-R トレイガイドを開けます。



5. 内カバーを開けます。

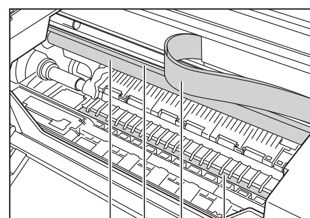


   注意

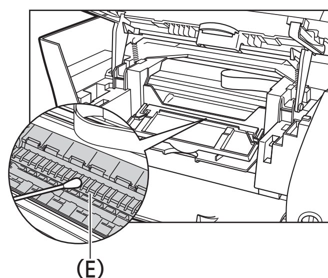
   - プリントヘッドホルダを無理に動かさないでください。
   - 本体内部の金属部分に触れないでください。

   重要

   丸い軸 (A)、透明フィルム (B)、フィルムケーブル (C)、スポンジ部分 (D)、そのほかの金属部分には触れないでください。



6. 綿棒で、プラテン (E) のまわりから、インクの汚れや紙の粉、ほこりを拭き取ります。



7. 内カバーを閉じます。
8. CD-R トレイガイドを閉じます。
9. スキャナユニットオープンレバーを手前に引きながら、スキャナユニットをゆっくり閉じます。



スキャナユニットは必ず片手でしっかりと持ってください

10.電源コードをコンセントに差し込み、電源を入れます。

12

お手入れ

13章 困ったときには

◆ 用紙が詰まったとき

詰まった用紙の取り除きかた

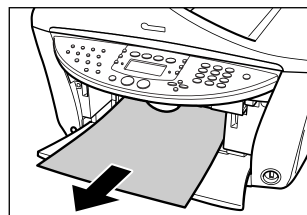
LCD ディスプレイに〈カミヅマリ ヲ トリノゾイテクダサイ カミヅマリ ヲ トリノゾイテ［OK］モシクハ［スタート］ヲ オシテクダサイ〉と表示されたときは、次のように操作して、詰まった用紙を取り除いてください。ファクスの受信中に用紙が詰まったときは、受信したファクスはメモリに保存されます。詰まった用紙を取り除いて、［OK］を押すと、印刷されます。

排紙口で用紙が詰まったとき

次のように操作してください。

1 排紙口から、詰まっている用紙をゆっくり引き出します。

排紙口から用紙が見えていないときは、本体内部から用紙を取り除いてください。



2 ［OK］を押します。

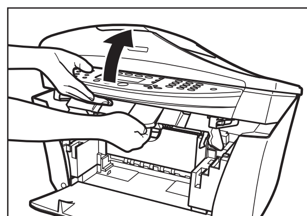
PC アプリケーションから印刷していたときは、パソコンの画面表示にしたがってください。

本体内部で用紙が詰まったとき

次のように操作してください。

1 スキャナユニットを止まるまで持ち上げます。

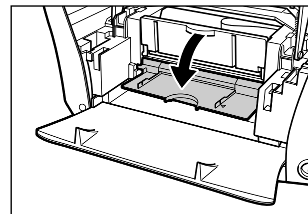
スキャナユニットオープンレバーを手前に引きながら、スキャナユニットを持ち上げます。



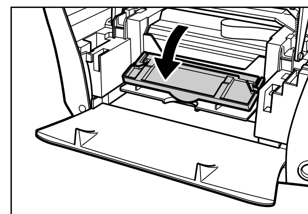
⚠ 注意

スキャナユニットは必ず片手でしっかりと持ってください。

2 CD-R トレイガイドを開けます。



3 内カバーを開けます。

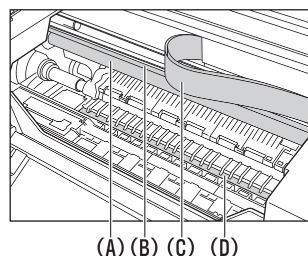


⚠ 注意

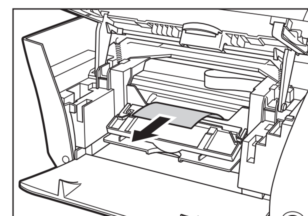
- プリントヘッドホルダを無理に動かさないでください。
- 本体内部の金属部分に触れないでください。

重要

丸い軸 (A)、透明フィルム (B)、フィルムケーブル (C)、スポンジ部分 (D)、そのほかの金属部分には触れないでください。



4 詰まった用紙を開口部の中央にゆっくり集めてから、引き出します。



⚠ 注意

本体内部の部品に触れないように注意してください。

5 内カバーを閉じます。

6 CD-R トレイガイドを閉じます。

7 スキャナユニットオープンレバーを手前に引きながら、スキャナユニットをゆっくり閉じます。

⚠ 注意

スキャナユニットは必ず片手でしっかりと持ってください。

8 [OK] を押します。

PC アプリケーションから印刷していたときは、パソコンの画面の表示にしたがってください。

13 困ったときには

オートシートフィーダ側で用紙が詰まったとき

次のように操作してください。

1 詰まった用紙をオートシートフィーダ側からそっと引き出します。

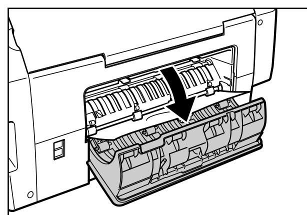
2 [OK] を押します。

PC アプリケーションから印刷していたときは、パソコンの画面表示にしたがってください。

搬送ユニットで用紙が詰まったとき

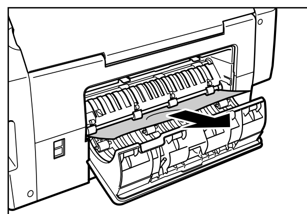
次のように操作してください。

1 背面カバーを開けます。



2 詰まっている用紙をゆっくり引き出します。

用紙が見えていないときは、カセットを取り外して用紙を取り除いてください。(→ 142 ページ)



3 背面カバーを閉めます。

4 [OK] を押します。

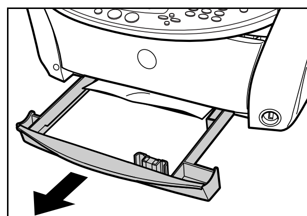
両面搬送部で用紙が詰まったとき

次のように操作してください。

1 電源を切り、コンセントから電源コードを抜きます。

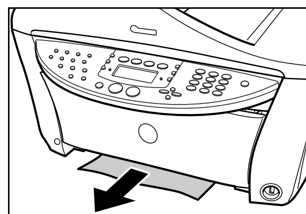
2 カセットを取り外します。

オートシートフィーダに用紙がセットされている場合は、用紙を取り除いて用紙サポートを閉じてください。



用紙が見えている場合：

1. 詰まっている用紙をゆっくり引き出します。



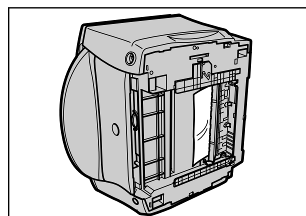
2. 3 の操作に進みます。

用紙が見えない場合：

1. 左側面を下にして、本機を立てます。



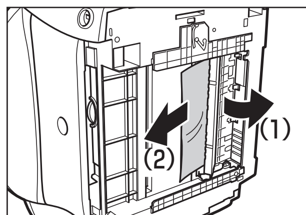
本機を横向きに立てる場合は、必ず左側面を下に向けて立ててください。右側面を下に向けないでください。



2. 緑色のレバーを手前に開きながら（1）、両面搬送部から用紙をゆっくり引き出します（2)。



詰まった用紙を取り除いたあとは、すみやかに本機を元の位置に戻してください。



3. 3 の操作に進みます。

3 カセットから用紙がはみ出している場合は、セットしなおします。

4 カセットを本機にセットします。

5 電源コードをコンセントに差し込み、電源を入れます。

紙づまりがたびたび起きるとき

ローラに不具合がある場合、または用紙のセットのしかたに問題がある場合に、紙づまりがよく起こります。次の点に注意して、用紙をセットしなおしてください。

チェック項目	チェックポイント	対処方法
ローラ	ローラが汚れていませんか？	ローラを清掃してください。（→ 136 ページ）
	ローラは動いていますか？	ローラが正しく動作していないときは、お買い求めの販売店、またはキヤノンお客様相談センターに連絡してください。
用紙	用紙どうしがくっついていませんか？	用紙をよくさばいてください。
	用紙の端はそろっていますか？	用紙の端をそろえてください。
	用紙ガイドは用紙にぴったりと沿っていますか？	用紙ガイドの位置を正しく調整してください。
	オートシートフィーダまたはカセットにセットできる最大枚数を超えていませんか？ オートシートフィーダまたはカセットに用紙を無理に詰めこんでいませんか？	最大用紙量のマークを超えないように用紙をセットしてください。（→ 24、28 ページ）
	種類の異なる用紙を一度にセットしていませんか？	同じ種類の用紙だけをセットしてください。
	本機で使用できる用紙をセットしていますか？	条件に合っている用紙を使ってください。（→ 20 ページ）

◆ 原稿が ADF（自動原稿給紙装置）で詰まったとき

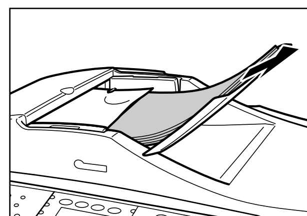
詰まった原稿の取り除きかた

ADF（自動原稿給紙装置）で原稿が詰まったり、原稿の長さが 1m 以上あってうまく送られないときは、LCD ディスプレイに〈ゲンコウガ ナガスギマス〉と表示されるので、［ストップ / リセット］→［OK］の順に押してください。
ADF（自動原稿給紙装置）に詰まった原稿を取り除くときは、電源を切る必要はありません。

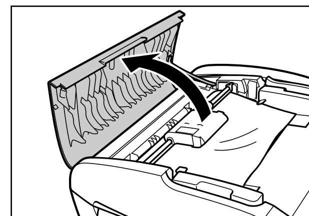
次のように操作してください。

1 ［ストップ／リセット］を押します。

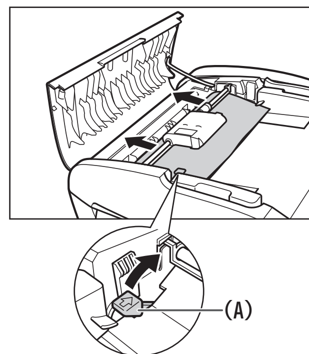
2 複数ページの原稿がセットされているときは、詰まっている原稿以外のすべての原稿を ADF（自動原稿給紙装置）から取り出します。



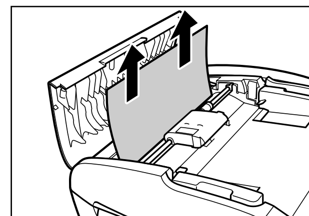
3 フィーダカバーを開きます。



4 用紙解除レバー（A）を上げて、詰まっている原稿を、ローラの下からフィーダカバー側に取り出します。

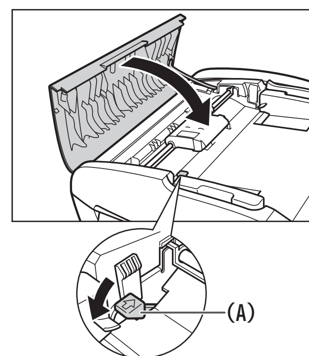


5 詰まっている原稿を、ADF（自動原稿給紙装置）から引き抜きます。



6 用紙解除レバー（A）を下げ、フィーダカバーを閉めます。

原稿の読み取り中に、[ストップ／リセット] を押して、原稿がADF（自動原稿給紙装置）に残ったときは、スタンバイ状態になってから、[OK] を押してください。ADF（自動原稿給紙装置）に残った原稿が、自動的に排紙されます。



◆ 予期せず電源が切れたとき

停電や誤って電源コードをコンセントから抜いてしまった場合でも、内蔵されている電池により、ユーザデータやスピードダイヤルの設定は保持されます。ただし、メモリに保存されていた原稿はすべて消えます。

電源が切れると、本機は次のような状態になります。

・ファクスの送受信やコピーはできません。
・本機に電話機が接続されている場合、電話を受けることはできます。
・電話をかけることができるかどうかは、電話機によって異なります。

◆ LCD ディスプレイになにも表示されないとき（電源が入らないとき）

電源コードを本機とコンセントに接続し、[電源] を押すと、本機の電源が入り、LCD ディスプレイにメッセージが表示されます。
エラーランプが点滅している間は、本機を初期化しているので、その間はご使用になれません。エラーランプの点滅が止まるまでお待ちください。
LCD ディスプレイに何も表示されないときは、次の表の中から原因を探し、対処してください。

原因	対処方法
電源コードが正しく接続されていない	電源コードを本機とコンセントにしっかりと接続してください。
[電源] を押していない	電源コードを接続し、[電源] を押すと、電源が入り、LCD ディスプレイにメッセージが表示されます。
コンセントに電流が流れていない	コンセントにほかの電気製品を接続して、コンセントが正常かどうか確認してください。
テーブルタップや OA タップ延長コードなどに電源コードを接続して使っている	テーブルタップや OA タップ延長コードなどを使っているときは、それらを外して電源コードを直接コンセントに接続してください。直接接続して電源が入る場合は、それらが断線していると思われるので、交換してください。また、それらに電源スイッチがあるときは、電源が入っていることを確認してください。
電源コードが断線している	別の電源コードに交換するか、テスターを使って、電源コードが断線していないか確認してください。

◆ うまく印刷されないとき

まったく印刷されない、きれいに印刷されないとき

コピーしているときやパソコンから印刷しているとき、またはファクスの印刷をしているとき

原因	対処方法
エラーランプが点滅している	エラーが発生しているので、「エラーランプが点滅したら」（→ 166 ページ）をご覧ください。

インクタンクが正しくセットされていない	●スキャナユニットを開けて、インクタンクがしっかりセットされていることを確認してください。また、インクタンクが正しい位置にセットされているかも確認してください。(→ 120 ページ) ●オレンジ色のテープが図 1 のようにすべてはがされていることを確認してください。図 2 のようにオレンジ色の部分が残っている場合は、オレンジ色の部分をすべて取り除いてください。 図 1 正しい状態（○） 図 2 テープが残っている（×） みぞ / テープ ミシン目まで完全にテープをはがす
インクタンクの位置を間違えて取り付けている	スキャナユニットを開けて、ラベルを確認して、インクタンクを正しい位置に取り付けなおしてください。(→ 120 ページ) 正しい位置に取り付けなおしたあと、ヘッドリフレッシングを 2 回～ 3 回行ってください。(→ 126 ページ)
正常にインクが出ていない	ノズルチェックパターンを印刷して、確認してください。(→ 125ページ)
プリントヘッド位置がずれている	プリントヘッド位置を調整してください。(→ 127 ページ)
用紙が厚すぎる	64 g/m^2 ～ 105 g/m^2 の用紙を使ってください。(→ 21 ページ)
オートシートフィーダまたはカセットにセットできる最大枚数を超えている	用紙が最大枚数、または最大用紙量のマークを超えているときは、用紙を減らしてください。(→ 20 ページ)
用紙が正しくセットされていない	用紙がオートシートフィーダまたはカセットに正しくセットされていて、用紙ガイドが正しく調整されているか確認してください。(→ 24、28 ページ)
用紙が折れたり反ったり（カール）している	折れた用紙は使えません。反った用紙は反りをなおしてからセットしてください。
ローラが汚れている	ローラを清掃してください。(→ 136 ページ)
オートシートフィーダまたはカセットに異物が入っている	確認して、異物があるときは取り除いてください。
インクが少なくなっている、またはなくなっている	インクタンクを交換してください。(→ 120 ページ)
おすすめの用紙を使っていない	おすすめの用紙を使ってください。(→ 20 ページ)

本機またはパソコンから設定した用紙の種類と、セットした用紙の種類が異なる	●本機の操作パネルで、セットした用紙の種類を設定してください。（→ 33 ページ） ●プリンタのプロパティ画面の［基本設定］タブ（Windows）または［プリント］画面のポップアップメニューの［品位と用紙の種類］（Macintosh）の［用紙の種類］で、セットした用紙の種類を設定してください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））

プリントヘッドが汚れている	プリントヘッドをクリーニングしてください。（→ 126 ページ）

本機の内部が汚れている	内部がインクや紙粉で汚れていると、印刷面がこすれたり、インクで汚れたりします。清掃してください。（→ 133、137 ページ）

給紙箇所が正しく設定されていない	用紙をセットした給紙箇所が正しいか確認してください。（→ 23 ページ）

排紙トレイが閉まっている	排紙トレイオープンボタンを押して、排紙トレイを開けてください。

CD-R トレイガイドが開いている	CD-R トレイガイドを閉じ、本機の [OK] を押してください。（→ 69 ページ）

コピーしているとき

原稿が正しくセットされていない	原稿が、原稿台ガラスまたは ADF（自動原稿給紙装置）に正しくセットされているか確認してください。（→ 18 ページ）

コピーしたい原稿に合わせて画質を調節していない	本機の操作パネルで、原稿に合わせて画質を調節してください。（→ 35 ページ）

原稿の裏表の向きが正しくセットされていない	原稿台ガラスにセットするときは、コピーする面を下にしてください。ADF（自動原稿給紙装置）にセットするときは、コピーする面を上にしてください。

本機で印刷したものを原稿としてセットしている	本機で印刷した原稿をコピーすると、きれいに印刷されないことがあります。デジタルカメラから印刷しなおすか、パソコンから印刷しなおしてください。

原稿台ガラス、または原稿台カバーの裏側が汚れている	原稿台ガラス、または原稿台カバーの裏側を清掃してください。（→ 133 ページ）

用紙が丸まってしまったとき

原因	対処方法
インクが乾いていない	印刷した用紙は、30 ～ 60 秒ほど排紙トレイに置いたままにして、インクが乾いてから取り出してください。

用紙が薄すぎる	64 g/m^2 ～ 105 g/m^2 の用紙を使ってください。（→ 21 ページ）

セットする前から用紙が反っている（カールしている）	反りをなおしてからセットしてください。

インクを大量に使う印刷をしている	高品位専用紙やキヤノン光沢紙など厚めの用紙を使ってください。

はがきが反っている（カールしている）	はがきや往復はがきをカセットから給紙している場合は、セットする枚数を半分に減らしてください。はがきや往復はがきが反っていると最大用紙量のマークを超えてセットしていなくても、うまく送られないことがあります。

印刷が途中で止まるとき

コピーしているときやパソコンから印刷しているとき、またはファクスの印刷をしているとき

原因	対処方法
用紙がうまく送られない	「まったく印刷されない、きれいに印刷されないとき」（→ 146 ページ）をご覧ください。
長い時間、連続して印刷している	長時間、印刷を続けていると、プリントヘッドが過熱し、プリントヘッドを保護するため、印刷が一時的に停止します。しばらくすると印刷が再開されます。区切りのいいところで印刷を中断し、電源を切って 15 分以上お待ちください。 ⚠ 注意 プリントヘッドの周りはたいへん熱くなっているので、触らないでください。
写真やイラストなどが多く入っている原稿や文書を印刷している	データ処理に時間がかかり、止まったように見えます。処理が終わるまでお待ちください。印刷する部分が多い原稿や文書の印刷、または 2 部以上の印刷を行うと、インクを乾かす時間をとるために印刷が止まることがあります。

◆ PC インストール・アンインストール（削除）がうまくいかないとき

原因	対処方法
セットアップCD-ROMを、Windows版とMacintosh版を間違えてセットしている	セットアップ CD-ROM のラベルを確認して、正しいセットアップ CD-ROM をセットしなおしてください。
ほかのアプリケーションが起動している	ウイルスチェックプログラムやそのほかのアプリケーションが起動しているときは、すべて終了させてから、インストールをやりなおしてください。

Windows 古いMultiPASSのソフトウェアがインストールされている（スタートメニューの［プログラム］に「Canon MultiPASS」で始まるものが登録されている）	古い MultiPASS のソフトウェアは、そのソフトウェアの取扱説明書にしたがってアンインストール（削除）してから、インストールをやりなおしてください。

アンインストール（削除）に時間がかかる（Windows XP）

Windows ほかのアプリケーションが起動している	アンインストール（削除）するときは、ウイルスチェックプログラムやそのほかのアプリケーションを終了させてから、アンインストール（削除）を実行してください。

アンインストール（削除）したのに、スタートメニューに［Canon］のフォルダが残っている

Windows MP Navigator や ScanGearStarter より先に MP ドライバを削除した	スタートメニューから［タスクバーとスタートメニューのプロパティ］画面を開いて、［Canon］フォルダを削除してください。

Windows XP にアップグレードしたら、ソフトウェアが使えなくなった

Windows 本機のソフトウェアがインストールされている Windows 98/Me/2000 を、本機のソフトウェアをアンインストール（削除）しないで、Windows XP にアップグレードした	本機のソフトウェアをアンインストール（削除）し、インストールしなおしてください。（→ 106 ページ）

［デバイスマネージャ］に緑の［?］マークが表示される（Windows Me）

Windows ［デバイスマネージャ］に緑の［?］マークが表示される	Windows Me では、［デバイスマネージャ］の［USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ］の［USB 互換デバイス］に緑の［?］マークが表示されますが、問題はありません。そのままお使いください。

◆ PC パソコンからうまく印刷できない

原因	対処方法
LCD ディスプレイになにも表示されていない	「LCD ディスプレイになにも表示されないとき（電源が入らないとき）」（→ 146 ページ）をご覧ください。
Windows BJ ステータスモニタのイラストの背景が黄色や赤になっている	 BJ ステータスモニタのメッセージにしたがって対処してください。 （→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）） 「サービスエラー 5100」と表示されているとき： 詰まった用紙など、プリントヘッドホルダの動きを妨げているものを取り除き、パソコンで印刷を中止してから本機の［OK］を押してください。 （→ 140 ページ） それでも、メッセージが消えないときは、本機の電源を切ってから、もう一度、電源を入れてください。
Macintosh プリンタ設定ユーティリティ（Mac OS X v.10.2.x のときは、プリントセンター）にエラーが表示されている	プリンタ設定ユーティリティ（Mac OS X v.10.2.x のときは、プリントセンター）のメッセージにしたがって対処してください。
Windows パソコンに「アプリケーションエラー」、「一般保護違反」と表示されているときは、印刷に使っているアプリケーションが、OS に対応していない	アプリケーションのパッケージや取扱説明書で調べてください。ご使用の OS に対応していない場合は、印刷はできません。
アプリケーションに十分なメモリが割り当てられていない	ほかのアプリケーションが開いているときは、それらを閉じて使用可能なメモリ容量を増やしてください。アプリケーションに必要なメモリ容量は、アプリケーションの取扱説明書で調べてください。
アプリケーションのページ設定や印刷設定が間違っている	正しい設定にしてから、もう一度印刷してください。
ハードディスクに十分な空き容量がない	不要なファイルを削除して空き容量を増やしてください。
プリンタドライバに不具合がある	MP ドライバをアンインストール（削除）してから、インストールしなおしてください。（→ 106 ページ）

ケーブルが長すぎる	3 m 以内の USB ケーブルをお使いください。
印刷の濃度が濃い	プリンタドライバで濃度を高く設定して印刷すると、用紙が波打つことがあります。 Windows プリンタのプロパティ画面の［基本設定］タブにある［色調整］で［マニュアル調整］を選んでください。そのあと［設定］をクリックし、［濃度］のスライダをドラッグして、低い設定にしてください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）） Macintosh ［プリント］画面のポップアップメニューから［カラーオプション］を選び、［濃度］のスライダをドラッグして、低い設定にしてください。 （→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））
特定の文書を印刷するときだけ、意味不明な文字や記号が印刷される	その文書を作成しなおして印刷してみてください。改善されないときは、アプリケーションに問題がある可能性があります。アプリケーションの製造元にお問い合わせください。
適切な印刷品位が選ばれていない	Windows プリンタのプロパティ画面の［基本設定］タブで、［印刷品質］を［きれい］に設定してください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）） Macintosh ［プリント］画面のポップアップメニューから［品位と用紙の種類］を選び、［詳細設定］を選んでください。そのあと［印刷品位］のスライダをドラッグして、［高品位］に設定してください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））
用紙の裏側に印刷している	用紙には、裏表のあるものがあります。裏返して印刷してみてください。プロフェッショナルフォトペーパーなど、用紙の種類によっては片面にしか印刷できないものもあります。
印刷可能領域の外側に印刷している	文書が、推奨されている印刷可能領域におさまるように、アプリケーションで余白の設定をかえてください。
［用紙の種類］の設定が間違っている	Windows プリンタのプロパティ画面の［基本設定］タブにある［用紙の種類］を、印刷する用紙に合わせて設定してください。また、印刷内容によっては設定が適切でも印刷面がこすれることがあります。この場合は、［ユーティリティ］タブにある［特殊設定］をクリックし、［用紙のこすれを防止する］にチェックマークをつけてください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）） Macintosh ［プリント］画面のポップアップメニューから［品位と用紙の種類］を選び、［用紙の種類］を印刷する用紙に合わせて設定してください。また、印刷内容によっては設定が適切でも印刷面がこすれることがあります。この場合は、BJ Printer Utility のポップアップメニューから［特殊設定］を選び、［用紙のこすれを防止する］にチェックマークをつけてください。 （→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））

［給紙方法］の設定が間違っている	**Windows** プリンタのプロパティ画面の［基本設定］タブにある［給紙方法］を、［給紙切替ボタンに従う］に設定してください。または、用紙をセットした給紙箇所に合わせて設定してください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）） **Macintosh** ［プリント］画面のポップアップメニューから［品位と用紙の種類］を選び、［給紙方法］を［給紙切替ボタンに従う］に設定してください。または、用紙をセットした給紙箇所に合わせて設定してください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））
Windows インクなしのメッセージが、BJ ステータスモニタと LCD で違う表示になっている	パソコンから印刷中に、LCD ディスプレイや BJ ステータスモニタに、インクなしのメッセージが表示されたとき、本機の［OK］を押したり、ジョブをキャンセルしてエラー表示を解除すると、BJ ステータスモニタの表示は、［下記のインクは少なくなっています。］に変わり、一時的にパソコンからの印刷を継続できます。 ただし、LCD ディスプレイのメッセージはインクなしの表示のまま変わりません。インクタンクを交換してください。
自動両面印刷するときにプリンタドライバで縮小印刷が選ばれていない	自動両面印刷をする場合、ページ上部の印刷可能領域が縦方向に 2mm 分狭くなります。このために、後端部分が印刷されないことがあります。 **Windows** プリンタのプロパティ画面の［ページ設定］タブにある［両面印刷］にチェックマークをつけてください。そのあと［印刷領域設定］をクリックし、［縮小して印刷する］に設定してください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）） **Macintosh** ［プリント］画面のポップアップメニューから［両面印刷ととじしろ］を選んでください。そのあと、［自動両面印刷］にチェックマークをつけ、［印刷領域］を［縮小して印刷する］に設定してください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））
上記以外の原因が考えられる	パソコンを再起動してください。

PC 共有プリンタで印刷できない

原因	対処方法
サーバ（本機が接続されているパソコン）の電源が入っていない	サーバの電源を入れてください。
サーバでプリンタ共有が設定されていない	サーバでプリンタ共有を設定してください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））
クライアントから共有プリンタへのアクセスを許可するように、サーバで設定されていない	サーバで、クライアントから共有プリンタへアクセスできるように設定してください。

◆ ファクス受信のトラブル

ファクスが受信されない、印刷されない

原因	対処方法
LCD ディスプレイになにも表示されていない	「LCD ディスプレイになにも表示されないとき（電源が入らないとき）」（→ 146 ページ）をご覧ください。電源が入っていないと、ファクスを受信できません。
エラーランプが点滅している	エラーが発生しているので、「エラーランプが点滅したら」（→ 166 ページ）をご覧ください。
電話機（外付け電話、留守番電話、パソコンのモデムなどの周辺機器）が電話回線用の接続端子 L に接続されている	☎ に接続しなおしてください。（→『かんたんスタートガイド（本体設置編）』）
手動受信モードのとき、［カラースタート］または［モノクロスタート］を押さないで、あるいはリモート受信 ID の番号をダイヤルしないで受話器を戻した	これらの操作を行わずに受話器を戻すと、電話が切れてしまいます。受話器を戻す前に、［カラースタート］または［モノクロスタート］を押すか、リモート受信 ID の番号をダイヤルしてください。
受信モードにしたがった操作をしていない	受信モード（LCD ディスプレイの左下の表示）を確認し、受信モードにしたがった操作をしてください。（→ 100 ページ） 2004 09/01 WED 15:00 ジドウ ヒョウジュン 受信モード
メモリがいっぱいになっている	メモリに保存されている原稿を印刷するか削除して（→ 95 ページ）メモリを空けてから、もう一度送信してもらってください。
受信中にエラーが発生している	●LCD ディスプレイのエラーメッセージを確認してください。（→ 167 ページ） ●通信管理レポートを印刷して、エラーが起きていないか確認してください。（→ 85 ページ）
モジュラージャックケーブルが正しく接続されていない	モジュラージャックケーブルが正しく接続されているか確認してください。（→『かんたんスタートガイド（本体設置編）』）
A4、レター、またはリーガル以外の用紙がセットされている	設定した給紙箇所に A4、レター、またはリーガル以外の用紙がセットされていると、受信したファクスは印刷されず、メモリに保存されます。設定した給紙箇所の用紙を A4、レター、またはリーガルに変更して本機の［OK］を押してください。 リーガルの用紙は、オートシートフィーダにセットしてください。

ファクスを自動的に受信できない

原因	対処方法
LCD ディスプレイになにも表示されていない	「LCD ディスプレイになにも表示されないとき（電源が入らないとき）」（→ 146 ページ）をご覧ください。電源が入っていないと、ファクスを受信できません。
受信モード （LCD ディスプレイの左下の表示）が〈ジドウ〉、〈ルス TEL〉、または〈FAX/TEL〉になっていない	受信モードが〈シュドウ〉になっているときは、受話器をとって、[カラースタート］または［モノクロスタート］を押すか、リモート受信 ID の番号をダイヤルしないとファクスを受信できません。 ファクスが送られてきたときに、自動的に受信したい場合は、受信モードを〈ジドウ〉（自動受信モード）か〈ルス TEL〉（留守 TEL 接続モード）か〈FAX/TEL〉（FAX/TEL 切りかえモード）に設定してください。 （→ 101 ページ）留守 TEL 接続モードのときは、本機に留守番電話を接続し、応答メッセージが正しく録音されていることを確認してください。

電話とファクスの受信が自動的に切りかわらない

原因	対処方法
受信モード（LCD ディスプレイの左下の表示）が〈ルス TEL〉または〈FAX/TEL〉になっていない	受信モードを〈ルス TEL〉（留守 TEL 接続モード）か〈FAX/TEL〉（FAX/TEL 切りかえモード）に設定していないと電話とファクスは自動的に切りかわりません。〈ルス TEL〉のときは、本機に留守番電話を接続し、応答メッセージが正しく録音されていることを確認してください。
CNG 信号（ファクスであることを示す信号）を送れない機器から送信されている	ファクス機によっては、CNG 信号を送れないものがあります。この場合は、手動受信モードにしてファクスを受信してください。（→ 101 ページ）

受信したファクスの画質が悪い

原因	対処方法
「ECM 受信」の設定が〈シナイ〉になっている	「受信機能設定〈ジュシン キノウ セッテイ〉」の「ECM 受信〈ECM ジュシン〉」を〈スル〉に設定してください。（→ 178 ページ）
送信側のファクスが汚れている	ファクスの画質は、主に送信側のファクス機によって決まります。送信側に連絡して、読み取り部分が汚れていないか確認してもらってください。

ECM（自動誤り訂正モード）方式で受信できない

原因	対処方法
「ECM 受信」の設定が〈シナイ〉になっている	「受信機能設定〈ジュシン キノウ セッテイ〉」の「ECM 受信〈ECM ジュシン〉」を〈スル〉に設定してください。（→ 178 ページ）
送信側のファクスが ECM に対応していない	送信側のファクスが ECM に対応していないときは、エラーをチェックしない標準モードで受信されます。

受信時にたびたびエラーが発生する

原因	対処方法
受信開始速度〈ジュシン スタート スピード〉が速い設定（33600bps）になっている	受信開始速度の設定を遅くしてください。（→ 179 ページ）電話回線や接続の状態がよくないときは、受信開始速度を遅くすると、エラーが解消されることがあります。
送信側のファクスが正常に動作していない	送信側に連絡して、ファクスが正常に動作しているか確認してもらってください。

◆ ファクス送信のトラブル

ファクスを送信できない

原因	対処方法
LCD ディスプレイになにも表示されていない	「LCD ディスプレイになにも表示されないとき（電源が入らないとき）」（→ 146 ページ）をご覧ください。
エラーランプが点滅している	エラーが発生しているので、「エラーランプが点滅したら」（→ 166 ページ）をご覧ください。
通信中／メモリランプが点滅している	●電話回線（モジュラージャックケーブル）を に接続しなおしてください。（→『かんたんスタートガイド（本体設置編）』） ●メモリから他の原稿が送信されています。他の原稿の送信が終了するまで待ってください。
電話回線（モジュラージャックケーブル）が に接続されている	に接続しなおしてください。（→『かんたんスタートガイド（本体設置編）』）送信できないときは、電話回線に問題があります。電話会社に連絡してください。
電話回線の種類（プッシュ回線／ダイヤル回線）が正しく設定されていない	電話回線の種類が誤っていても、ファクスの受信はできます。受信できるのに送信できないときは、電話回線の種類を確認して設定をかえてください。（→ 177 ページ）

スピードダイヤルにファクス番号が正しく登録されていない	スピードダイヤルを使用してダイヤルしたときは、ファクス番号が正しく登録されているか確認してください。（→ 82 ページ）
ダイヤルした番号が間違っている	番号を確認して、もう一度ダイヤルしなおしてください。
送信中にエラーが発生している	●LCD ディスプレイのエラーメッセージを確認してください。（→ 167 ページ） ●通信管理レポートを印刷して、エラーの内容を確認してください。（→ 85 ページ）
送信先のファクスが G3 に対応していない	送信先のファクスが G3 に対応しているか確認してください。対応していないと送信できません。
ADSL モデムを使っている	電話回線の種類が自動的に正しく設定されないことがあります。手動で設定してください。（→ 177 ページ）
発信音が聞こえない	電話回線に問題があります。電話会社に連絡してください。
原稿が正しくセットされていない	一度原稿を取り出し、原稿台ガラスまたは ADF（自動原稿給紙装置）に正しくセットしなおしてください。（→ 18 ページ）
LCD ディスプレイに送信先が表示されている	メモリから他の原稿が送信されています。他の原稿の送信が終了するまで待ってください。

きれいにファクスが送信できない

原因	対処方法
原稿が正しくセットされていない、または原稿台ガラス、原稿台カバーの裏側が汚れている	●一度原稿を取り出し、原稿台ガラスまたは ADF（自動原稿給紙装置）に正しくセットしなおしてください。（→ 18 ページ） ●コピーをとってみてください。きれいにコピーできるときは、送信先のファクスが原因だと思われます。送信先に問い合わせて、確認してもらってください。きれいにコピーできないときは、本機を清掃してください。（→ 133 ページ）
送信したい原稿に合わせて画質を調節していない	本機の操作パネルで、セットした原稿に合わせて画質（解像度）を調節してください。（→ 88 ページ）
送信したい原稿に合わせて濃度を調節していない	本機の操作パネルで、セットした原稿に合わせて濃度（明るさ）を調節してください。（→ 88 ページ）
原稿の裏表の向きが正しくセットされていない	原稿台ガラスにセットするときは、ファクスする面を下にしてください。ADF（自動原稿給紙装置）にセットするときは、ファクスする面を上にしてください。
原稿の端まで読み込まれない	原稿を、原稿台ガラスの奥側の端から約 1 mm と左側の端から約 2 mm 離して、セットしてください。

厚い原稿（最大 20 mm）やカールしている原稿をファクスしようとしている	原稿台カバーを手で押さえて読み込んでください。

ECM（自動誤り訂正モード）方式で送信できない

原因	対処方法
「ECM 送信」の設定が〈シナイ〉になっている	「送信機能設定〈ソウシン キノウ セッテイ〉」の「ECM 送信〈ECM ソウシン〉」を〈スル〉に設定してください。（→ 178 ページ）
送信先のファクスが ECM に対応していない	送信先のファクスが ECM に対応していないときは、エラーをチェックしない標準モードで送信されます。

送信時にたびたびエラーが発生する

原因	対処方法
送信開始速度〈ソウシン スタート スピード〉が速い設定（33600bps）になっている	送信開始速度の設定を遅くしてください。（→ 178 ページ）電話回線や接続の状態がよくないときは、送信開始速度を遅くすると、エラーが解消されることがあります。

◆ 電話しようとしたが

ダイヤルできない

原因	対処方法
LCD ディスプレイになにも表示されていない	「LCD ディスプレイになにも表示されないとき（電源が入らないとき）」（→ 146 ページ）をご覧ください。
モジュラージャックケーブルが正しく接続されていない	モジュラージャックケーブルが正しく接続されているか確認してください。（→『かんたんスタートガイド（本体設置編）』）
電話回線の種類（プッシュ回線／ダイヤル回線）が正しく設定されていない	電話回線の種類を確認し、設定をかえてください。（→ 177 ページ）

通話中に電話が切れてしまう

原因	対処方法
本機の電源コードがコンセントにしっかりと差し込まれていない、または電話線、電話機（外付け電話、留守番電話、パソコンのモデムなどの周辺機器）がしっかり差し込まれていない	テーブルタップや OA タップ、延長コードに接続しているときは、それらが正しく接続され、それらに電源スイッチがあるときはオンになっていることを確認してください。また電話線、電話機（外付け電話、留守番電話、パソコンのモデムなどの周辺機器）がしっかり差し込まれていることも確認してください。

◆ PC USB 2.0 Hi-Speed 接続がうまくいかない

Windows Windows XP に接続すると、画面に「高速ではない USB ハブに接続している高速 USB デバイス」と警告文が表示される

原因	対処方法
USB 2.0 Hi-Speed に対応していないパソコンに接続している	ご使用のパソコンが USB 2.0 Hi-Speed に対応しているか確認します。対応していない場合は、USB 1.1 で接続されます。

Windows USB 2.0に対応した環境で本機を接続したのに、正常に動作しない

原因	対処方法
USB ハブを使って接続している	USBハブを使わずに、USBケーブルを直接パソコンに接続してください。

Macintosh USB ケーブルが、USB 2.0 Hi-Speed に対応していない

原因	対処方法
USB 2.0に対応していないUSBケーブルを使用している	必ず USB 2.0 認証ケーブルをご使用ください。また、3 m 以内のものをおすすめします。

Macintosh USB ハブを使って接続している

原因	対処方法
USB ハブを使って接続している	USBハブを使わずに、USBケーブルを直接パソコンに接続してください。

◆ PC スキャンがうまくできない

原因	対処方法
USB ハブや中継器が故障している	USB ケーブルを直接パソコンに接続して画像が読み込めるときは、USB ハブや中継器が故障しています。正常なものと交換してください。
ScanGear MP で［原稿の種類］が正しく設定されていない Windows WIA ドライバで［給紙方法］が正しく設定されていない	原稿台ガラスまたは ADF（自動原稿給紙装置）のいずれか、原稿をセットした方を選んでください。
本機のソフトウェアをインストールしたあとで、TWAIN 準拠のアプリケーションをインストールした	本機のソフトウェアをインストールしたあとで、TWAIN 準拠のアプリケーションをインストールすると、TWAIN システムファイルが適切でないものと置きかわり、画像を読み込めなくなることがあります。このような場合は、本機のソフトウェアをアンインストール（削除）し、インストールしなおしてください。（→ 106 ページ）
Macintosh 読み込み速度が遅い	MP Navigator の［モアレ低減］のチェックマークを外すか、または ScanGear MP の［モアレ低減］と［ごみ傷低減］を［OFF］にして、読み込んでください。
Windows Windows の［コントロール パネル］の［スキャナとカメラ］で本機が認識されていない	次の手順で、［コントロール パネル］の［スキャナとカメラ］に本機のアイコンがあるか確認してください。 1. USB ケーブルが接続されていることを確認してからパソコンを起動してください。 2. タスクバーの［スタート］ボタンから、［コントロール パネル］（Windows XP 以外のときは、［スタート］ボタンから［設定］→［コントロール パネル］）をクリックします。 3. ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックして、［スキャナとカメラ］をクリックします（Windows XP 以外のときは、［スキャナとカメラ］をダブルクリックします）。 4. ［スキャナとカメラ］の中に［WIA Canon MP790］（Windows XP 以外のときは、［Canon MP790］）があれば、認識されています。ないときは、本機のソフトウェアをアンインストール（削除）し、インストールしなおしてください。（→ 106 ページ）
メモリが足りない	起動しているほかのソフトウェアを終了してからやりなおしてください。
ハードディスクの空き容量が不足している	とくにデータが大きくなってしまう文書を高解像度で読み込むときは、ハードディスクに十分な空きがあるかどうか確認してください。たとえば、A4 判の文書をカラー 600dpi で読み込むときは、最低 300MB の空きが必要です。十分な空き容量を確保できないときは、解像度を下げて読み込んでください。
スキャン解像度が低い	画像が粗いときは、スキャン解像度を上げてください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））

アプリケーションの表示倍率が等倍に設定されていない	画像を表示しているアプリケーションの表示倍率を等倍（100%）にしてください。アプリケーションによっては、小さく表示すると画像がきれいに表示されないものがあります。
印刷物をスキャンすると縞模様が出る	ScanGear MP の［モアレ低減］を［ON］にしてください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））
ディスプレイの表示色が少ない	Windows 画面のプロパティで、ディスプレイの表示色を［中（16 ビット）］または［High Color（16 ビット）］以上に設定してください。 Macintosh アップルメニューで［システム環境設定］を開き、［ディスプレイ］をクリックします。開いた画面で［ディスプレイ］をクリックし、［カラー］を［約 32000 色］以上に設定してください。
スキャンする範囲が指定されていない	ScanGear MP の［マルチスキャン］をクリックすると、原稿が自動的に範囲指定されます。 写真など、原稿の周囲に白いフチがあるときやトリミングしたい（一部分だけを読み込みたい）ときは、ご自分で範囲を指定してください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））
原稿が ADF（自動原稿給紙装置）にはさまっている	本機の［OK］を押すと、原稿が排紙されます。
原稿の端まで読み込まれない	原稿を、原稿台ガラスの奥側の端から約 1 mm と左側の端から約 2 mm 離して、セットしてください。
プレビュー画面の色合いが原稿と違う	スキャンした画像が正しい色合いになるように、キャリブレーションを行ってください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））
MP Navigator からスキャンできない	ScanGearStarter（Windows）または ScanGear Starter 1.0J（Macintosh）が削除された可能性があります。このような場合は、MP ドライバを［カスタムインストール］で上書きインストールしてください。
上記以外の原因が考えられる	パソコンを再起動してください。

マルチスキャンで、うまく読み込めない

原因	対処方法
原稿を置く位置や置きかたが正しくない	次の条件を満たすように原稿を置いてください。 ●原稿台ガラスの端と原稿の間は、1 cm 以上離す ●原稿と原稿の間は、1 cm 以上離す ●原稿は 10 枚まで ●まっすぐに置く（傾きは 10 度以内）
原稿台ガラスまたは原稿台カバーの裏側が汚れている	原稿台ガラスまたは原稿台カバーの裏側を清掃してください。（→ 133 ページ）

2枚以上の画像を連続して受け取れないアプリケーションを使用している	アプリケーションの取扱説明書で調べるか、アプリケーションメーカーにお問い合わせください。

厚い原稿（最大 20 mm）やカールしている原稿をスキャンしようとしている	原稿台カバーを手で押さえて読み込んでください。

長い辺が、短い辺の 4 倍以上の細長い原稿をスキャンしようとしている	長い辺が、短い辺の 4 倍以上の細長い原稿はマルチスキャンでは読み込めません。1 枚ずつ読み込んでください。

読み込んだ画像が、パソコンの画面で大きく（小さく）表示される

原因	対処方法
アプリケーションで、画像を大きく（小さく）表示させている	アプリケーションで、画像表示を拡大（縮小）してください。 ただし、「ペイント」や「イメージング」で画像を開くと、大きく表示されることがあり、縮小できません。
解像度が高すぎる、または低すぎる	解像度を高くすると大きく表示され、低くすると小さく表示されます。目的の大きさに表示されるように、解像度を設定してください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））

◆ PC 画面にメッセージが表示されているとき

自動両面印刷に関するエラーが表示されている

原因	対処方法
正しいサイズの用紙がセットされていない	正しいサイズの用紙をセットしてから、本機の［OK］を押してください。
プリンタドライバで正しい用紙サイズが選ばれていない	アプリケーションソフトの用紙サイズを確認してください。 次に、プリンタドライバの［ページ設定］タブ（Windows）、または［ページ設定］画面（Macintosh）で［用紙サイズ］の設定を確認し、印刷する用紙を同じサイズに設定してください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））

Macintosh「エラー番号：300」が表示されている

原因	対処方法
本機の準備ができていない	本機の電源が入り、LCD ディスプレイにメッセージが表示されていることを確認してください。 LCD ディスプレイになにも表示されていないときは、[電源] を押して電源を入れてください。エラーランプが点滅している間は、本機を初期化しているので、点滅が止まるまでお待ちください。 エラーランプが点滅しているときは、本機にエラーが発生しているので、「エラーランプが点滅したら」(→ 166 ページ) をご覧ください。
本機とパソコンが正しく接続されていない	本機とパソコンがケーブルでしっかり接続されていることを確認してください。 ●中継機や外付けバッファ、USB ハブなどを使用している場合は、それらを外して本機とパソコンを直接接続してから印刷してみてください。正常に印刷される場合は、取り外した機器の販売元にご相談ください。 ●ケーブルに不具合があることも考えられます。別のケーブルに交換し、再度印刷してみてください。
プリンタ設定ユーティリティのプリントリストにお使いのプリンタ名が表示されていない	1. MP ドライバをインストールしたハードディスクアイコン→ [アプリケーション] フォルダを順にダブルクリックします。 2. [ユーティリティ] フォルダ内の [プリンタ設定ユーティリティ] をダブルクリックします。 Mac OS X v.10.3 以外をお使いの場合は、[ユーティリティ] フォルダ内の [プリントセンター] アイコンをダブルクリックします。 3. プリンタリストに [MP790] が表示されていることを確認します。 表示されていない場合は、『かんたんスタートガイド (ソフトウェアインストール編)』の操作にしたがって、MP ドライバをインストールしなおしてください。

Macintosh「エラー番号：1001」が表示されている

原因	対処方法
CD-R トレイがセットされていない	まず、本機に同梱の CD-R トレイを使用しているか確認してください。 CD-R トレイを正しく取り付け、本機の [OK] を押してください。 (→ 60 ページ)

Macintosh「エラー番号：1002」が表示されている

原因	対処方法
CD-R/DVD-R が CD-R トレイにセットされていない	まず、本機に同梱の CD-R トレイを使用しているか確認してください。 CD-R/DVD-R を正しく取り付けてから、CD-R トレイをセットしなおし、本機の [OK] を押してください。(→ 60 ページ)

CD-R/DVD-R が正しく認識されない	CD-R/DVD-R によっては正しく認識されないものがあります。この場合は、BJ Printer Utility のポップアップメニューから［特殊設定］を選び、［CD-R 印刷時にプリンタブルディスクの有無を判別する］のチェックマークを外して印刷してください。 印刷が終わったら、［CD-R 印刷時にプリンタブルディスクの有無を判別する］にチェックマークをつけてください。 チェックマークが外れていると、CD-R/DVD-R がセットされていなくても印刷が始まることがあります。チェックマークをつけることで、CD-R トレイが汚れるのを防ぐことができます。

Macintosh「エラー番号：1700」が表示されている

原因	対処方法
廃インク吸収体 * が満杯になりそう	本機の［ストップ／リセット］を押してエラーを解除します。しばらくの間は印刷できますが、満杯になると印刷できなくなります。お早めに修理受付窓口にご相談ください。

* クリーニングなどで使用するインクは、本機の内部にある廃インク吸収体に吸収されます。このメッセージが表示されたときには、廃インク吸収体の交換および本機の点検が必要になります。

Macintosh「エラー番号：1851」が表示されている

原因	対処方法
通常の印刷（CD-R 印刷以外の印刷）をするときにCD-Rトレイガイドが開いている	CD-R トレイガイドを閉じてから、本機の［OK］を押してください。（→ 69 ページ）

Macintosh「エラー番号：1856」が表示されている

原因	対処方法
通常の印刷（CD-R 印刷以外の印刷）中に CD-R トレイガイドが開かれた	CD-R トレイガイドを閉じ、本機の［OK］を押してから、印刷しなおしてください。（→ 69 ページ）

Macintosh「エラー番号：2001」が表示されている

原因	対処方法
デジタルカメラとの通信が応答のないまま一定時間経過した、または本機に対応していないデジタルカメラ、デジタルビデオカメラが接続されている	接続されているケーブルを抜いてから本機の［OK］を押し、再度ケーブルを接続してください。 それでもエラーが解決されないときは、本機に対応していないデジタルカメラ、デジタルビデオカメラが接続されている可能性があります。 本機に対応しているデジタルカメラ、デジタルビデオカメラを使用してください。

Macintosh「エラー番号：2500」が表示されている

原因	対処方法
自動プリントヘッド位置調整に失敗した	手動でプリントヘッド位置を調整してください。（→ 129 ページ）



以上の対処方法にしたがって操作しても解決しない場合は、不必要な機能拡張書類やコントロールパネル書類を外して印刷してみてください。

◆ ノズルチェックパターンがきれいに印刷されないとき

「プリントヘッドのメンテナンス」（→ 124 ページ）をご覧ください。

◆ 自動プリントヘッド位置調整がうまくいかないとき

原因	対処方法
A4 以外の用紙がセットされている	A4 の用紙をセットしてください。
オートシートフィーダに普通紙がセットされていない	オートシートフィーダに用紙をセットしてください。（→ 24 ページ）
インクがなくなっている	インクタンクを交換してください。（→ 120 ページ）
インクタンクが正しくセットされていない	スキャナユニットを開けて、インクタンクがしっかりセットされていることを確認してください。また、インクタンクが正しい位置にセットされていることも確認してください。（→ 120 ページ）
ノズルが目詰まりしている	ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの状態を確認してください。（→ 125 ページ）
本機の排紙口内に強い光が当たっている	排紙口内に強い光が当たらないように調整してください。
上記以外の原因が考えられる	手動でプリントヘッド位置の調整をしてください。（→ 129 ページ）

◆ エラーランプが点滅したら

印刷中に紙づまりなどが起きたときにエラーランプが点滅します。次の中から原因を探し、対処してください。

メッセージが表示されているとき

1 LCD ディスプレイに表示されているメッセージを確認してください。

2 メッセージにしたがって問題を解決してください。

LCD メッセージについては、167 ページを参照してください。

3 ［OK］を押して操作を続けます。

エラーランプが消えます。

問題を解決できないときは、本機の電源を切り、電源コードを抜いて 15 秒間待ってから電源コードを接続し、電源を入れてください。

メッセージが表示されていないとき（紙づまりでないとき）

1 電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。

2 5 秒間待ってから、もう一度電源コードを差し込み、電源を入れてください。

問題が解決していれば、エラーランプは点滅しません。

もう一度電源を入れなおしても、エラーランプが点滅するとき

お買い求めの販売店、またはキヤノンお客様相談センターに連絡してください。

◆ LCD メッセージ

本機でエラーが発生すると、LCD ディスプレイにメッセージが表示されます。次のメッセージ一覧を参考にしてエラーの原因を確認し、対処してください。

メッセージ	原因	対処方法	参照ページ
ADF カラノ ヨミトリハ デキマセン	自動変倍コピー、シールプリント、または〈ジドウ〉に設定してイメージリピートコピーをするときに、原稿を ADF（自動原稿給紙装置）にセットしています。	自動変倍コピー、シールプリント、または〈ジドウ〉に設定してイメージリピートコピーをするときは、原稿台ガラスに原稿をセットしてください。	37 ページ、47 ページ、51 ページ
	はがきサイズの原稿を ADF(自動原稿給紙装置）にセットしています。	はがきサイズの原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。	19 ページ
ADF ニ ゲンコウ ガ アリマセン	電子ソートをするときに、ADF（自動原稿給紙装置）に原稿がセットされていません。	ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットしてから、［カラースタート］もしくは［モノクロスタート］を押してください。	ー
CD-R トレイガ ツマリマシタ	CD-R トレイにセットした CD-R が正しくセットされていません。	CD-R トレイを引き出し、CD-R をセットしなおしてください。	60 ページ
CD-R トレイヲ セットシテクダサイ	CD-R トレイがセットされていません。	CD-R トレイをセットしてください。	60 ページ
CD-R ヲ セットシテクダサイ	CD-R がセットされていません。	CD-R トレイを引き出し、CD-R をセットしてから、CD-R トレイをセットしなおしてください。	60 ページ
ECM ジュシン	ECM モード（エラー再送モード）でファクスを受信中です。	ECM モードで受信すると、通常の受信より時間がかかることがあります。速く受信したいときや、電話回線に問題がないときは、〈ECM ジュシン〉を〈シナイ〉に設定してください。	178 ページ
ECM ソウシン	ECM モードでファクスを送信中です。	ECM モードで送信すると、通常の送信より時間がかかることがあります。速く送信したいときや、電話回線に問題がないときは、〈ECM ソウシン〉を〈シナイ〉にしてください。	178 ページ
アイテ オウトウナシ	送信先のファクスが応答しません。	番号が正しかったか確認してください。しばらく待ってから、送信しなおしてください。	ー
アイテサキ キロクシ ナシ	送信先のファクスに用紙がないか、メモリがいっぱいです。	送信先に連絡して、用紙を補充するか、メモリを空けてもらってください。	ー

インク ガ アリマセン	インクタンクのインクが空です。	インクタンクを交換してください。	120 ページ
ウケツケ バンゴウ 0000	ファクスにこの番号が付けられました。	必要に応じて、この番号を書き留めてください。	97 ページ
カートリッジガ アリマセン	本機にプリントヘッドが取り付けられていません。	プリントヘッドを取り付けてください。	かんたんスタートガイド（本体設置編）
カートリッジ ジャム	プリントヘッドホルダが動きません。紙づまりが原因です。	詰まっている紙を取り出すか、プリントヘッドホルダの動きを妨げているものを取り除いてから、[OK] を押してください。プリントヘッドホルダは手で動かさないでください。	140 ページ
カバーガ シマッテイマセン	動作中にスキャナユニットが開けられました。	スキャナユニットを閉じてください。	−
カミヅマリヲ トリノゾイテクダサイ カミヅマリ ヲ トリノゾイテ [OK] モシクハ [スタート] ヲ オシテクダサイ	用紙が詰まっています。	詰まっている紙を取り除いて、オートシートフィーダまたはカセットに用紙をセットしてから、[OK] を押してください。	140 ページ
[カラースタート] ヲ オシテクダサイ	[モノクロスタート] が押されました。	[カラースタート] を押してください。	−
ゲンコウガ ナガスギマス	原稿の長さが 1 m を超えているか、原稿が ADF（自動原稿給紙装置）の中に詰まっています。	[ストップ / リセット] を押して、ADF（自動原稿給紙装置）の中の原稿を取り除き、[OK] を押してください。1 枚の原稿の長さを 1m 以内にして、送信あるいはコピーしなおしてください。	144 ページ
ゲンコウヲ テンケン シテクダサイ	フィーダカバーがきちんと閉じていません。	フィーダカバーを閉じなおしてください。	135 ページ
	原稿が ADF（自動原稿給紙装置）に正しくセットされていないか、紙づまりです。	原稿を ADF（自動原稿給紙装置）から取り出して、もう一度セットしてください。紙づまりのときは、詰まった原稿を取り出してください。	19 ページ、144 ページ
コノタンシュクダイヤルハツカエマセン	手動送信で、グループが登録されている短縮ダイヤルをダイヤルしました。	手動送信するときは、テンキーでダイヤルするか、ファクス／電話番号が 1 つだけ登録されている短縮ダイヤルを使ってください。	−
コノ ワンタッチハ ツカエマセン	手動送信で、グループが登録されているワンタッチダイヤルをダイヤルしました。	手動送信するときは、テンキーでダイヤルするか、ファクス／電話番号が 1 つだけ登録されているワンタッチダイヤルを使ってください	−

ジドウヘッドイチチョウセイエラー	自動でプリントヘッド位置の調整ができませんでした。	[OK] を押して、手動でプリントヘッド位置の調整をしてください。	129 ページ
ジドウ リダイヤル	ファクスの送信先が話し中か、応答がなかったので、リダイヤル待機中です。	自動的にリダイヤルするまで待ちます。自動リダイヤルを中止するときは、リダイヤルの呼び出しが始まったら、[ストップ／リセット] を押し、LCD ディスプレイの表示にしたがってください。メモリから原稿を消去することもできます。	95 ページ、178 ページ
ジュワキヲ オイテ クダサイ	外付電話機の受話器が外れています。	受話器をきちんと戻してください。	–
シロクロモードデ ヤリナオシ	送信先のファクスがカラーの送受信に対応していないファクスです。	[モノクロスタート] を押して送信しなおしてください。または、〈カラー ダイレクト ソウシン〉を〈スル〉に設定してください。	178 ページ
スタート デキマセン	パソコンから印刷している途中で USB ケーブルが外されました。	1 分間お待ちください。それでも動作しないときは、いったん電源コードを抜いて、もう一度差し込んでください。	–
[ストップ] ガ オサレマシタ	[ストップ／リセット] を押したので、送受信が中止されました。	必要に応じて、送受信をやり直してください。	–
ソウシン 0000 ヨミトリ チュウ メモリガ イッパイデス オマチクダサイ	ファクス送信中でメモリがいっぱいです。	現在の送信が終わりメモリが空くと、送信されます。	–
ダイコウ ジュシン シマシタ	用紙やインクがないか、紙づまりなどのため受信したファクスを印刷できず、メモリに保存しました。	オートシートフィーダまたはカセットに用紙をセットするか、インクタンクを交換するか、詰まった紙を取り除いてください。	24 ページ、28 ページ、120ページ、140 ページ
デンワバンゴウ ミトウロク	ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルにファクス／電話番号が登録されていません。	ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルにファクス／電話番号を登録してください。	75 ページ、77 ページ
ドウサチュウ デス デンゲン OFF デキマセン	[電源] を押しても、本機の電源は切れません。	本機が動作中です。処理が終了するまで待ってから、電源を切ってください。	–
トレイガイドヲ シメテクダサイ	CD-R トレイガイドがきちんと閉じていません。	CD-R トレイガイドを閉じなおしてください。	69 ページ

ハイインクガ イッパイニ ナリマス	本機に内蔵されている廃インク吸収体 * がいっぱいです。	本機の［ストップ／リセット］を押してエラーを解除します。しばらくの間は印刷できますが、満杯になると印刷できなくなります。お早めに修理受付窓口にご連絡ください。	－
ハナシチュウ デシタ	送信先に電話がかからなかったか、送信先が話し中でした。	しばらく待ってからダイヤルしてください。	－
フメイナ カートリッジ デス	プリントヘッドが正しく取り付けられていません。	プリントヘッドを取り付けなおしてください。それでも問題が解決されないときは、プリントヘッドが故障している可能性があります。キヤノンお客様相談センターに連絡してください。	かんたんスタートガイド（本体設置編）
プリンタヲ テンケン シテクダサイ [OK] ヲ オシテクダサイ	異物があるため、プリントヘッドホルダが動きません。	用紙にクリップなどが付いていないか確認します。また、紙づまりのときは、詰まった用紙を取りのぞきます。すべて確認したら、[OK] を押して、もう一度操作してください。[OK] を押してもメッセージが消えないときは、キヤノンお客様相談センターに連絡してください。	140 ページ
	本機に内蔵されている廃インク吸収体 * がいっぱいです。	修理受付窓口に連絡して、廃インク吸収体をすぐに交換してください。	－
プリンタヲ テンケン シテクダサイ	何らかの理由で本機が動かなくなっています。	本機の電源を切ってから、もう一度、電源を入れてください。それでも問題が解決されないときは、修理受付窓口に連絡してください。	－
ムコウ デス	無効なボタンが押されたか、無効な設定が選ばれました。	押したボタン、または選んだ設定を確認してください。	－
メモリガ イッパイデス	一度に何枚もの原稿、内容が細かい原稿をコピーしようとしたため、メモリがいっぱいになっています。	原稿をいくつかに分けてコピーしてください。	－
	枚数が多い原稿、内容が細かい原稿を受信したため、メモリがいっぱいになっています。	相手先に連絡し、分割して送信しなおしてもらってください。	－
メモリニ ゲンコウガ アリマス デンゲン OFF デキマセン	メモリに原稿が保存されているときに［電源］を押しても本機の電源は切れません。	本機が動作中です。処理が終了するまで待ってから、電源を切ってください。	－
［モノクロスタート］ヲ オシテクダサイ	［カラースタート］が押されました。	［モノクロスタート］を押してください。	－

ヨウシガ アリマセン カミ ヲ ホキュウシテ ［OK］ モシクハ ［スタート］ヲ オシテクダサイ	オートシートフィーダまたはカセットに用紙が入っていません。	オートシートフィーダまたはカセットに用紙をセットしてください。用紙の量が最大用紙量のマークを超えないように注意してください。セットしたら、［カラースタート］か［モノクロスタート］、または［OK］を押してください。	24 ページ、28 ページ
ヨウシノ サイズヲ チェック ［OK］ヲ オシテクダサイ	オートシートフィーダまたはカセットにセットされている用紙のサイズと、［用紙］で指定したサイズが違っています。	正しいサイズの用紙をセットするか、［用紙］のサイズ設定を変更し、［OK］を押してください。	99 ページ
ヨウシヲ ヘンコウ シテクダサイ A4/LTR/LGL フツウシ	用紙サイズが、A4、LTR、または LGL 以外に設定されています。	［用紙］でサイズを、A4、LTR、またはLGLに設定してください。	－
リョウメンインサツ エラー	オートシートフィーダまたはカセットにセットされている用紙のサイズが、A4、またはレター以外です。	［OK］を押して用紙を排紙してから、A4、またはレターの用紙をセットしなおしてください。	24 ページ、28 ページ
リョウメンユニット カミヅマリ	両面搬送部に用紙が詰まっています。	両面搬送部から詰まっている用紙を取り除いて、オートシートフィーダまたはカセットに用紙をセットしてから、［OK］を押してください。	142 ページ

* クリーニングなどで使用するインクは、本機の内部にある廃インク吸収体に吸収されます。このメッセージが表示されたときには、廃インク吸収体の交換および本機の点検が必要になります。

◆ デジタルカメラからうまく印刷できない

デジタルカメラやデジタルビデオカメラ * から直接印刷を行ったときに、カメラにエラーが表示される場合があります。表示されるエラーと対処方法は次のとおりです。

* 以降、デジタルカメラ、デジタルビデオカメラを総称して、カメラと記載します。



- 本機と接続して直接印刷できるのは、“PictBridge” 対応または、キヤノン “Bubble Jet Direct” 対応のカメラです。
- 次の説明は、キヤノン製“PictBridge”対応または、キヤノン“Bubble Jet Direct”対応のカメラに表示されるエラーについて説明しています。ご使用のカメラにより表示されるエラーやボタン操作が異なる場合があります。キヤノン製以外の“PictBridge”対応カメラを使用して、カメラからプリンタエラーの解除方法がわからない場合は、LCD ディスプレイに表示されているメッセージを確認してエラーを解除してください。詳しくは、「LCD メッセージ」（→ 167 ページ）を参照してください。
- 接続した状態での操作時間が長すぎたり、データ送信に時間がかかり過ぎる場合は、通信タイムエラーとなり印刷できない場合があります。そのときは、カメラから一度接続ケーブルを抜いてから本機の［OK］を押し、再度ケーブルを接続してください。ケーブルを接続しただけでは、自動で電源が入らないカメラをお使いの場合は、手動で電源を入れてください。それでも改善されない場合は、他の写真を選んで印刷できるかどうかを確認してください。
- 印刷にかすれやむらがあるときは、プリントヘッドのノズルが目詰まりしている可能性があります。プリントヘッドのメンテナンスを行ってください。（→ 124 ページ）
- 印刷時に用紙がカールしたり、印刷面がこすれたりした場合は、適切な用紙に印刷しているか確認してください。適切な用紙に印刷しても印刷面がこすれるときは、用紙のこすれを防止する設定にしてください。（→ 181 ページ）
- 表示されるエラーや対処方法については、カメラに付属の使用説明書もあわせて参照してください。その他、カメラ側のトラブルについては、各機器の相談窓口へお問い合わせください。

カメラ側エラー表示	原因	対処方法
プリンターは使用中です／プリンターは準備中です	パソコンなどから印刷しています。	印刷が終了するまでお待ちください。 準備動作を行っている場合は、終了するまでお待ちください。
ペーパーがありません／ペーパーエラー	オートシートフィーダまたはカセットに用紙がセットされていません。	本機に用紙をセットするか、[給紙切替] で用紙がセットされている給紙箇所（オートシートフィーダまたはカセット)を指定して、カメラのエラー画面で［続行］*1 を選んでください。 また、排紙トレイが閉じている場合は、開けてください。印刷を再開します。CD-R トレイガイドが開いている場合は閉じてください。
ペーパーが詰まりました	用紙が詰まっています。	カメラのエラー画面で［中止］を選び、印刷を中止してください。 用紙を取り除き、用紙をセットしなおしてから本機の［OK］を押し、再度印刷を行ってください。
プリンターカバーが開いています	スキャナユニットが持ち上がっています。	スキャナユニットを元の位置に戻してください。
プリントヘッド未装着	プリントヘッドが装着されていないか、プリントヘッドの不良です。	『かんたんスタートガイド（本体設置編)』の説明にしたがって、プリントヘッドを取り付けてください。 プリントヘッドがすでに取り付けられている場合は、取り外して接点部分が汚れていないことを確認し、取り付けなおしてください。 それでもエラーが解決されない場合は、プリントヘッドが故障している可能性があります。修理受付窓口にご相談ください。
廃インクタンク（廃インク吸収体 *2）が満杯です	廃インク吸収体が満杯になりそうです。	カメラのエラー画面で［続行］*1 を選ぶと、印刷を再開します。しばらくの間は印刷できますが、満杯になると印刷できなくなります。お早めに修理受付窓口にご相談ください。
インクが残りわずかです	インク残量がわずかになっています。	そろそろインクタンクの交換時期です。新しいインクタンクをご用意ください。カメラのエラー画面で［続行］を選ぶと、印刷を再開します。
インクがありません	インクタンクのインクがありません。	新しいインクタンクと交換してください。 （→ 120 ページ） インクを交換してスキャナユニットを閉じると、印刷を再開します。 カメラのエラー画面で［続行］*1 を選ぶと、インク切れの状態で印刷を続行します。印刷が終了したら、すぐに新しいインクタンクに交換してください。インク切れの状態で印刷を続けると、故障の原因になります。

プリンタートラブル発生	**サービスが必要なエラーが起こっている可能性があります。**	**カメラのエラー画面で［中止］を選び、印刷を中止してください。 デジタルカメラと接続されているケーブルを抜いてから本機の電源を切り、本機の電源コードをコンセントから抜いてください。しばらくしてから本機の電源を入れなおし、デジタルカメラを接続してみてください。それでも回復しない場合は、お買い求めの販売店または修理受付窓口にご相談ください。**

*1 ［続行］を選ぶ代わりに、本機の［OK］を押しても有効です。

*2 クリーニングなどで使用するインクは、本機の内部にある廃インク吸収体に吸収されます。このメッセージが表示されたときには、廃インク吸収体の交換および本機の点検が必要になります。

◆ どうしても問題が解決しないとき

この章の説明にしたがって対処しても、どうしてもうまくいかないときは、お買い求めの販売店かキヤノンお客様相談センターに連絡してください。
キヤノンのサポートスタッフは、お客様にご満足いただける技術サポートを提供できるようにトレーニングされております。

⚠ 警告

本機をお客様ご自身で修理したり、分解したりすると、保証期間中でも保証が受けられなくなります。

連絡する前に、次のことを確認してください。

●製品名 PIXUS MP790
●シリアルナンバー（機体番号）本機の背面のラベルに書かれています。
●トラブルの詳しい状況
●トラブルの解決のために対処したことと、その結果

⚠ 注意

本機から変な音や煙が出ていたり、変なにおいがするときは、すぐに電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センターに連絡してください。絶対にご自分で修理したり、分解したりしないでください。

14章 付録

この章では、本機の設定のしかたや設定項目、本機の仕様について説明します。

設定のしかたと設定項目

設定を変更する前に、ユーザデータリストを印刷すると、現在の設定を確認できます。詳しくは、85 ページをご覧ください。

設定をかえる

設定を変更するときは、次のように操作してください。

1 次のページ以降にある表を見て、変更したい設定を探します。

2 設定に関する詳しい説明は、参照先 (1) をお読みください。参照ページがないときは、操作パネルのボタン (2) とメニュー (3) の下にある項目、内容、および設定を確認します。

例

コピー (2)

メニュー：〈1. オモシロ コピー〉 (3)

項目	内容	設定	参照先 (1)
エハガキ プリント	はがきサイズに縮小してコピーします。	ー	44 ページ
レイアウト	はがき全体にコピーするか、上半分にコピーするかを選びます。	ゼンタイ ハンブン	
フチ	フチ付きでコピーするかを選びます。	アリ ナシ	
シール プリント	L 判 写真などを、専用の用紙にコピーします。	ー	47 ページ
ヨミトリハンイ	画像全体をコピーするか、中央部分だけコピーするかを選びます。	シャシン ゼンメン シャシン チュウオウ	
シールタイプ	シールの種類を選びます。	4×4 3×3 2×2 2×1	
フチナシ コピー	フチなしでコピーします。	ー	49 ページ

次ページ以降の表の見方

3 変更したい設定に応じて、操作パネルのボタン (2)（[コピー]、[ファクス]、[スキャン]）のいずれかを押します。

4 [メニュー] で、変更したい設定のあるメニュー (3) を選びます。



表示されるメニュー番号は、**3** で選択したボタンにより異なります。

5 [OK] を押します。

6 設定をスクロールするときや、設定を登録するときは、次のように操作してください。

●設定をスクロールするときは、［◀］か［▶］を押します。
●設定を登録するときや、さらに細かい設定に進むときは、［OK］を押します。また、さらに細かい設定に進むときは、この動作をくり返します。
●設定を間違えたときは、［ストップ／リセット］を押して 3 の操作からやりなおしてください。

7 操作が終了したら［ストップ／リセット］を押します。

設定

設定を変更するときは、次のメニューをご覧ください。



太字は工場出荷時の設定です。

コピー

メニュー：〈1. オモシロ コピー〉

項目	内容	設定	参照先
エハガキ プリント	はがきサイズに縮小してコピーします。	－	44 ページ
レイアウト	はがき全体にコピーするか、上半分にコピーするかを選びます。	**ゼンタイ** ハンブン	
フチ	フチ付きでコピーするかを選びます。	**アリ** ナシ	
シール プリント	L 判の写真などを、専用の用紙にコピーします。	－	47 ページ
ヨミトリハンイ	画像全体をコピーするか、中央部分だけコピーするかを選びます。	**シャシン ゼンメン** シャシン チュウオウ	
シールタイプ	シールの種類を選びます。	**4 × 4** 3 × 3 2 × 2 2 × 1	
フチナシ コピー	フチなしでコピーします。	－	49 ページ
イメージ リピート	1 枚の用紙に原稿の画像をくり返してコピーします。	－	51 ページ
ジドウ	くり返す回数が自動的に設定されます。	－	
シュドウ	くり返す回数を指定します。	－	
タテ	縦方向にくり返す回数を選びます。	1/**2**/3/4	
ヨコ	横方向にくり返す回数を選びます。	1/**2**/3/4	

ファクス

メニュー：〈1. ファクス シヨウ セッテイ〉

項目	内容	設定	参照先
ジュシンモード	−	−	−
FAX/TEL キリカエ	受信モードを「FAX/TEL 切りかえモード」に切りかえます。	−	101 ページ
ジドウ ジュシン モード	受信モードを「自動受信モード」に切りかえます。	−	101 ページ
シュドウ ジュシン モード	受信モードを「手動受信モード」に切りかえます。	−	101 ページ
ルス TEL セツゾク モード	受信モードを「留守 TEL 接続モード」に切りかえます。	−	101 ページ
メモリ ショウカイ	−	−	−
ゲンコウ リスト	メモリ内のファクスをリストにして印刷します。	−	95 ページ
ゲンコウ プリント	メモリ内のファクスを印刷します。	−	96 ページ
1 ページ ノミ シュツリョク？	印刷するページを設定します。〈ハイ〉を選ぶと、最初のページのみが印刷され、〈イイエ〉を選ぶと、すべてのページが印刷されます。	ハイ＝（−） イイエ＝（+）	
ゲンコウ クリア	メモリからファクスを削除します。	ハイ＝（−） イイエ＝（+）	96 ページ
レポート / リスト	−	−	−
ツウシンカンリ レポート	通信管理レポートを印刷します。	−	85 ページ
ダイヤルリスト	ダイヤルリストを印刷します。	−	82 ページ
ワンタッチ ダイヤルリスト	ワンタッチダイヤル電話番号リストを印刷します。	−	
タンシュク ダイヤルリスト	短縮ダイヤル電話番号リストを印刷します。	−	
ソート シュツリョク	リストの並び順を設定します。〈ハイ〉を選ぶと、名前の 50 音順（アルファベット順）で印刷され、〈イイエ〉を選ぶと、ダイヤルリストの番号順で印刷されます。	ハイ＝（−） イイエ＝（+）	
グループ ダイヤルリスト	グループダイヤル電話番号リストを印刷します。	−	
ユーザデータリスト	ユーザデータリストを印刷します。	−	85 ページ
ゲンコウ リスト	メモリ内のファクスをリストにして印刷します。	−	95 ページ

項目	内容	設定	参照先
デンワバンゴウ トウロク	－	－	－
ワンタッチ ダイヤル	ワンタッチダイヤルを登録します。	01 ～ 08	75 ページ
タンシュク ダイヤル	短縮ダイヤルを登録します。	＊ 00 ～ 99	77 ページ
グループ ダイヤル	グループダイヤルを登録します。	01 ～ 08、 ＊ 00 ～ 99	79 ページ
デンワバンゴウ	電話番号を登録します。	－	
ナマエ	名前を登録します。	－	
キホン セッテイ	－	－	－
ヒヅケ / ジコク セット	現在の日付 / 時刻を設定します。	－	72 ページ
ヒヅケ / ジコク タイプ	LCD ディスプレイ、または送信ファクスに印刷される日付の表示形式を選びます。	**YYYY MM/DD** MM/DD/YYYY DD/MM YYYY	－
ユーザ TEL トウロク	送信ファクスに印刷されるファクス／電話番号を登録します。	－	73 ページ
ユーザ リャクショウ トウロク	送信ファクスに印刷される名前を登録します。	－	73 ページ
ハッシンモト キロク	ファクスの各ページのいちばん上に送信者名などの情報を印刷するかどうかを選びます。	**ツケル** ツケナイ	－
ハッシンモト キロク イチ	発信元情報を印刷する位置（画像領域の外または画像領域の内）を選びます。	**ガゾウノ ソトニ ツケル** ガゾウノ ナカニ ツケル	
デンワバンゴウ マーク	発信元情報のファクス／電話番号の前に付ける文字を選びます。	**FAX** TEL	
オフフックアラーム	電話機の受話器が外れているとき、警告音を鳴らすかどうかを選びます。	**ナラス** ナラサナイ	－
オンリョウ チョウセイ	呼び出し音量と通信音量を設定します。	－	－
ツウシン オンリョウ	ダイヤル中の音を調整します。	0/1/**2**/3	
カイセンシュベツ ジドウ	本機に接続されている電話回線の種類を自動で判別します。〈シナイ〉を選ぶと電話回線の種類を選択できます。	**スル** シナイ	－
カイセン シュルイ センタク	本機に接続している電話回線に合わせて選びます。〈ダイヤル カイセン〉を選ぶとダイヤルスピードを選択できます。	**ダイヤル カイセン** プッシュ カイセン	
ダイヤル スピード センタク	ダイヤルスピードを選びます。	**20PPS** 10PPS	
ツウシンカンリ レポート	20 件の通信ごとに、自動的に通信管理レポートを印刷するかどうかを選びます。	**ジドウプリント スル** ジドウプリント シナイ	－

項目	内容	設定	参照先
ソウシン キノウ セッテイ	—	—	—
ECM ソウシン	ECM 送信するかどうかを設定します。	**スル** シナイ	98 ページ
ポーズ ジカン セット	［リダイヤル／ポーズ］を押して指定するポーズひとつ分の長さを設定します。	1 ～ 15 ビョウ (**2** ビョウ)	—
ジドウ リダイヤル	自動的にリダイヤルするかどうかを選びます。	**スル** シナイ	95 ページ
リダイヤル カイスウ	何回リダイヤルするかを指定します。	1 ～ 15 カイ (**2** カイ)	
リダイヤル カンカク	ダイヤルしてから次にリダイヤルするまでの間隔を指定します。	2 ～ 99 フン (**2** フン)	
ソウシン スタート スピード	ファクスの送信スピードを選びます。	**33600bps** 14400bps 9600bps 7200bps 4800bps 2400bps	—
カラー ダイレクト ソウシン	ADF（自動原稿給紙装置）を使って、カラーで送信する場合、送信先のファクスが、カラーに対応していないときは、自動的に白黒に変換して送信するかどうかを選びます。	**シナイ** スル	—
ソウシンケッカ レポート	送信したあとに、自動的に送信結果レポートを印刷するかどうかを選びます。	**エラージ ノミ プリント** プリント スル プリント シナイ	—
ソウシン ガゾウ	〈エラージ ノミ プリント〉または〈プリント スル〉を選んだときは、送信ファクスの最初のページをレポートの下に印刷するかどうか選びます。	**ツケル** ツケナイ	
ダイヤルトーン ケンチ	発信動作と着信動作が重なったとき、ファクス誤送信を防止します。〈スル〉を選んだとき、本機がダイヤルトーン音を確認してから発信します。	**スル** シナイ	—
ジュシン キノウ セッテイ	—	—	—
ECM ジュシン	ECM 受信するかどうかを設定します。	**スル** シナイ	98 ページ
FAX/TEL キリカエ	受信モードを〈FAX/TEL キリカエ〉に設定しているときは、詳細を設定できます。	—	—
ヨビダシ カイシ ジカン	着信がファクスか電話かを本機が判断するための時間を指定します。	0 ～ 30 ビョウ (**8** ビョウ)	
ヨビダシ ジカン	電話のとき、何秒呼び出し音を鳴らすかを指定します。	10 ～ 300 ビョウ (**17** ビョウ)	
ヨビダシゴノ ドウサ	設定した呼び出し時間が経過したあと、ファクスを受信するかどうかを選びます。	**ジュシン** シュウリョウ	

項目	内容	設定	参照先
チャクシン ヨビダシ	自動受信モードまたは FAX/TEL 切りかえモードで、呼び出し音を鳴らすかどうかを選びます（呼び出し音を鳴らすには、電話機を本機に接続しておく必要があります）。	**シナイ** スル	―
ヨビダシ カイスウ	〈スル〉を選んだとき、何回呼び出し音を鳴らすか指定します。	1 ～ 99 カイ （**2** カイ）	
ジドウ ジュシン キリカエ	手動受信モードまたは留守番電話接続モードのとき、一定の時間呼び出し音を鳴らしたあと、自動的にファクスを受信するかどうかを選びます。	**シナイ** スル	―
ヨビダシ ジカン	〈スル〉を選んだとき、何秒呼び出し音を鳴らすか指定します。	5 ～ 99 ビョウ （**15** ビョウ）	
リモート ジュシン	リモート受信ができるようにするかどうか選びます。	**スル** シナイ	―
リモート ジュシン ID	〈スル〉を選んだとき、リモート受信 ID を変更できます。	00 ～ 99 (**25**)	
ガゾウ シュクショウ	セットした用紙サイズにおさまるように、受信ファクスを自動的に縮小するかどうかを選びます。	**スル** シナイ	―
シュクショウ ホウコウ センタク	〈スル〉を選んだとき、縮小する方向を選びます。	**タテ ノミ** タテ ヨコ トモ	
ジュシン スタート スピード	ファクスの受信スピードを選びます。	**33600bps** 14400bps 9600bps 7200bps 4800bps 2400bps	―
ジュシンケッカ レポート	受信したあとに、自動的に受信結果レポートを印刷するかどうかを選びます。	**プリント シナイ** エラージ ノミ プリント プリント スル	―

いずれかのモード

メニュー：〈3. メンテナンス〉

項目	内容	設定	参照先
プリンタ ノズル チェック	ノズルチェックパターンを印刷します。	−	125 ページ
ヘッド クリーニング	プリントヘッドをクリーニングします。	−	126 ページ
ヘッド リフレッシング	プリントヘッドを強力にクリーニングします。	−	126 ページ
ヘッド イチ チョウセイ	プリントヘッドの位置を調整します。	−	129 ページ
ヨコ ホウコウ パターン	横方向パターンを印刷します。	−	
ヨコ ホウコウ チョウセイ	パターンが均一でないときにヘッド位置を調整します。	A、B、C、D、E、F：-3 〜 +7 G、H、I、J、K、L：-5 〜 +5	
タテ パターン プリントシマスカ？	縦方向パターンを印刷するかどうかを選びます。〈ハイ〉を選ぶと、縦方向パターンが印刷され、〈イイエ〉を選ぶと、もとの画面に戻ります。	ハイ＝（−） イイエ＝（＋）	
タテ ホウコウ パターン	〈ハイ〉を選んだとき、縦方向パターンを印刷します。		
タテ ホウコウ チョウセイ	パターンが均一でないときにヘッド位置を調整します。	M：-3 〜 +3 N：-3 〜 +3	
ジドウヘッドイチチョウセイ	自動的にプリントヘッドの位置を調整します。	−	127 ページ
キロク ローラ クリーニング	ローラをクリーニングします。	−	136 ページ
インク フキトリ クリーニング	プリンタの内部をクリーニングします。	−	137 ページ
キャリブレーション	コピーやスキャンの色と印刷結果の差を少なくします（色補正）。	−	131 ページ

いずれかのモード

メニュー：〈4. システム カンリ セッテイ〉

項目	内容	設定	参照先
シズカニ インサツ	印刷中の音を静かにするかどうかを選びます。	**シナイ** スル	−
フチナシ ハミダシリョウ	フチなし全面コピーのとき、はみ出し量を指定します。	**チイサイ** オオキイ	49 ページ
ブザーノ セッテイ	音量を調整します。	−	−
キー タッチ オンリョウ	操作パネルのボタンを押したときの音量を調整します。	0/1/**2**/3	
アラーム オンリョウ	エラー警告音の音量を調整します。	0/1/**2**/3	
パワーセーブ タイマーセット	パワーセーブが開始される時間を設定します。	15 フン **1 ジカン** 4 ジカン 8 ジカン	132 ページ
リョウメンコピー	両面コピーをするとき、とじる方向を指定します	**ウラメン ヲ ハンテン スル** ウラメン ヲ ハンテン シナイ	42 ページ
インサツメン コスレ カイゼン*	印刷面がこすれてしまった場合のみ設定します。 ［する］に設定するとプリントヘッドと印刷する用紙の間隔を広げ、こすれを防ぎます。 ただし、画質が低下する場合があるので、印刷終了後は［しない］に戻してしてください。	**シナイ** スル	−
ジドウ キュウシ キリカエ	自動連続給紙をするかどうかを選びます。	**シナイ** スル	23 ページ

* プリンタドライバの［特殊設定］で［用紙のこすれを防止する］にチェックマークがついている場合、プリンタドライバ側の設定が優先されます。

◆ 用紙の種類の設定対応表

■ コピーする場合

LCD に表示される用紙の種類（はがき以外のサイズ）	対応する用紙について
フツウシ	普通紙に適しています。
コウタク	キヤノン光沢紙、エコノミーフォトペーパー、またはフォトシールセットに適しています。
コウヒンイ	高品位専用紙に適しています。
OHP フィルム	OHP フィルムに適しています。
プロフォト	プロフェッショナルフォトペーパーに適しています。
スーパーフォト	スーパーフォトペーパー、スーパーフォトペーパー・シルキーに適しています。
ソノタ フォト	マットフォトペーパーに適しています。また、上記用紙以外のフォト紙のとき、または記録用紙の種類がよくわからないときに選択してください。
LCD に表示される用紙の種類（はがきサイズ）	**対応する用紙について**
インクジェット	インクジェット官製はがき、ハイグレードコートはがきに適しています。
フォト	プロフェッショナルフォトはがき、フォト光沢ハガキに適しています。
フツウシ	普通紙タイプのはがきに適しています。



用紙の種類によっては最適な印刷結果が得られないこともありますので、写真をきれいにコピーしたい場合は、キヤノン純正のプロフェッショナルフォトペーパーかスーパーフォトペーパーをおすすめします。

◆ 用紙の特徴および用途

本機で使える用紙の特徴や用途について説明します。印刷するときに、使用目的に合う用紙をお使いください。

用紙の名称	サイズ	用途	特徴および注意事項
普通紙	A4 (210 mm × 297 mm) A5 (148 mm × 210 mm) レター (215.9 mm × 279.4 mm) B5 (182 mm × 257 mm) リーガル (215.9 mm × 355.6 mm) 非定型紙（オートシートフィーダ） (横：54 mm ～ 215.9 mm) (縦：86 mm ～ 584.2 mm) 非定型紙（カセット） (横：89 mm ～ 215.9 mm) (縦：127 mm ～ 297 mm)	パソコンからの印刷、コピー、ファクス	• 質量：64 ～ 105g/m^2 • 縦向きに印刷ができます。 • 普通のコピー用紙、コットンボンド紙、レターヘッドなども使用できます。 • インクジェット専用紙を使う必要はありません。 • ファクスを受信するときに使用します（A4、レター、またはリーガルのみ）。 • リーガルの用紙は、オートシートフィーダにセットしてください。
封筒	洋形４号 (105 mm × 235 mm) 洋形６号 (98 mm × 190 mm) 長形３号（Windows のみ） (120 mm × 235 mm) 長形４号（Windows のみ） (90 mm × 205 mm)	パソコンからの印刷	• ほかのサイズの封筒にも印刷可能ですが、印刷品質は保証されません。 • 次の封筒は、故障の原因になるので使用しないでください。 – 窓、穴、ミシン目、切り抜きがある封筒や、フタが二重になっている封筒、フタにシールが付いている封筒 – 型押しやコーティングなどの表面加工が施されている封筒 – シールが貼られている封筒 – 手紙が入っている封筒 • 印刷された用紙は、排紙トレイから 1 枚ずつ取り出してください。
官製はがき／インクジェット官製はがき／往復はがき *2	100 mm × 148 mm 148 mm × 200 mm	パソコンからの印刷、コピー	• 印刷されたはがきは、排紙トレイから 1 枚ずつ取り出してください。 • インクが乾くまで印刷面には手を触れないでください。 • MP ドライバの設定は、必ず［用紙の種類］でセットするはがきの種類を指定してください。 • 次のはがきは、故障の原因になるので使用しないでください。 – 写真付きやステッカーが貼ってあるはがき – 折り目のある往復はがき
スーパーホワイトペーパー *1	A4 (210 mm × 297 mm)	パソコンからの印刷、コピー	• 普通紙よりも白色度が高い用紙です。 • カラーの図やグラフなどを多用したビジネス文書や写真などの印刷に最適です。 • 次のようにセットしてください。 – オートシートフィーダ：より白い面を上にする – カセット：より白い面を下にする • インクが乾くまで、印刷面には手を触れないでください。

*1 キヤノン製専用紙

*2 パソコンからの印刷にのみ使用できます。

用紙の名称	サイズ	用途	特徴および注意事項
スーパーホワイトペーパー・両面厚口 *1	A4 （210 mm × 297 mm）	パソコンからの印刷、コピー	• 普通紙よりも白色度が高い用紙です。 • カラーの図やグラフなどを多用したビジネス文書や写真などの印刷に最適です。 • 用紙の両面に印刷できます。 • インクが乾くまで、印刷面には手を触れないでください。
プロフェッショナルフォトペーパー *1	A4 （210 mm × 297 mm） L 判 （89 mm × 127 mm） 2L 判 （127 mm × 178 mm）	パソコンからの印刷、PictBridge、Bubble Jet Direct、コピー	• 光沢の出るコーティングを施した厚みのある用紙です。 • カラーの発色、速乾性、耐水性に優れています。 • 高画質な写真の印刷に最適です。 • フチなし全面印刷をすることで、余白のない印刷ができます。 • 次のようにセットしてください。 – オートシートフィーダ：光沢のある面を上にする – カセット：　光沢のある面を下にする • L判は排紙トレイに20枚以上ためないでください。 • L 判以外の用紙は排紙トレイに 10 枚以上ためないでください。
プロフェッショナルフォトはがき *1	100 mm × 148 mm	パソコンからの印刷、PictBridge、Bubble Jet Direct、コピー	• 光沢の出るコーティングを施した厚みのあるはがきサイズの用紙です。 • カラーの発色、速乾性、耐水性に優れています。 • 高画質な写真の印刷に最適です。 • フチなし全面印刷をすることで、余白のない印刷ができます。 • 次のようにセットしてください。 – オートシートフィーダ：光沢のある面を上にする – カセット：　光沢のある面を下にする • 両面に印刷するときは、通信面を先に印刷して、宛名面をあとで印刷してください。 • 排紙トレイに 20 枚以上ためないでください。
スーパーフォトペーパー *1	A4 （210 mm × 297 mm） L 判 （89 mm × 127 mm） 2L 判 （127 mm × 178 mm） パノラマ （89 mm × 254 mm）	パソコンからの印刷、PictBridge、Bubble Jet Direct、コピー	• 光沢の出るコーティングを施した厚みのある用紙です。 • カラーの発色、耐水性に優れています。 • 高画質な写真の印刷に最適です。 • フチなし全面印刷をすることで、余白のない印刷ができます。 • 次のようにセットしてください。 – オートシートフィーダ：光沢のある面を上にする – カセット：　光沢のある面を下にする • L判は排紙トレイに20枚以上ためないでください。 • 印刷された用紙は、排紙トレイから 1 枚ずつ取り出してください。

*1 キヤノン製専用紙

用紙の名称	サイズ	用途	特徴および注意事項
スーパーフォトペーパー・両面 *1	A4 (210 mm × 297 mm) 2L 判 (127 mm × 178 mm)	パソコンからの印刷	• 光沢の出るコーティングを施した厚みのある用紙です。 • カラーの発色に優れています。 • 高画質な写真の印刷に最適です。 • 用紙の両面に印刷できます。 • 手動両面印刷をするときは、オートシートフィーダに 1 枚ずつセットしてください。 • フチなし全面印刷をすることで、余白のない印刷ができます。 • 次のようにセットしてください。 – オートシートフィーダ：光沢のある面を上にする – カセット：光沢のある面を下にする • 印刷された用紙は、排紙トレイから 1 枚ずつ取り出してください。
スーパーフォトペーパー・シルキー *1	A4 (210 mm × 297 mm) L 判 (89 mm × 127 mm)	パソコンからの印刷、PictBridge、Bubble Jet Direct、コピー	• 光沢の出るコーティングを施した厚みのある用紙です。 • カラーの発色、耐水性に優れています。 • 高画質な写真の印刷に最適です。 • フチなし全面印刷をすることで、余白のない印刷ができます。 • 次のようにセットしてください。 – オートシートフィーダ：光沢のある面を上にする – カセット：光沢のある面を下にする • L 判は排紙トレイに 20 枚以上ためないでください。 • 印刷された用紙は、排紙トレイから 1 枚ずつ取り出してください。
マットフォトペーパー *1	A4 (210 mm × 297 mm) L 判 (89 mm × 127 mm)	パソコンからの印刷、コピー	• 光沢を抑えた厚みのある用紙です。 • カラーの発色、耐水性に優れています。 • ペーパークラフト、カレンダー、つや消し写真の印刷など、さまざまな印刷用途に適しています。 • フチなし全面印刷をすることで、余白のない印刷ができます。 • 次のようにセットしてください。 – オートシートフィーダ：より白い面を上にする – カセット：より白い面を下にする • インクが乾くまで、印刷面には手を触れないでください。 • 印刷された用紙は、排紙トレイから 1 枚ずつ取り出してください。

*1 キヤノン製専用紙

用紙の名称	サイズ	用途	特徴および注意事項
キヤノン光沢紙 *1	A4 (210 mm × 297 mm)	パソコンからの印刷、PictBridge、Bubble Jet Direct、コピー	• 高品位専用紙よりも厚みがあり、印刷面に光沢のある用紙です。 • 写真に近い仕上がりを実現できます。 • フチなし全面印刷に最適です。 • インクが乾くまで、印刷面には手を触れないでください。 • 次のようにセットしてください。 – オートシートフィーダ：より光沢のある面を上にする – カセット：より光沢のある面を下にする • 排紙トレイに、用紙を 10 枚以上ためないでください。 • この用紙に付属しているサポートシートは使わないでください。
エコノミーフォトペーパー *1	L 判 (89 mm × 127 mm) カードサイズ (54 mm × 86 mm)	パソコンからの印刷、PictBridge、Bubble Jet Direct、コピー	• 高品位専用紙よりも厚みがあり、印刷面に光沢のある用紙です。 • 写真に近い仕上がりを実現できます。 • フチなし全面印刷に最適です。 • インクが乾くまでの時間：2 分 • カードサイズの用紙は、オートシートフィーダにセットしてください。 • 次のようにセットしてください。 – オートシートフィーダ：より光沢のある面を上にする – カセット：より光沢のある面を下にする • インクが乾くまで、印刷面には手を触れないでください。 • 排紙トレイに、用紙を 10 枚以上ためないでください。 • この用紙に付属しているサポートシートは使わないでください。
フォト光沢ハガキ *1	100 mm × 148 mm	パソコンからの印刷、PictBridge、コピー	• 通信面に光沢があり、写真を色鮮やかに再現できます。 • フチなし全面印刷をすることで、余白のない印刷ができます。 • 両面に印刷するときは、通信面を先に印刷して、宛名面をあとで印刷してください。 • インクが乾くまで、印刷面には手を触れないでください。 • うまく給紙されないときは、パッケージに付属している厚紙を用紙の下に敷いてください。 • 排紙トレイに、用紙を 20 枚以上ためないでください。
ハイグレードコートはがき *1	100 mm × 148 mm	パソコンからの印刷、コピー	• 通信面にコーティングを施した、マットな質感のはがきです。 • フチなし全面印刷をすることで、余白のない印刷ができます。 • 両面に印刷するときは、通信面を先に印刷して、宛名面をあとで印刷してください。 • インクが乾くまで、印刷面には手を触れないでください。 • 排紙トレイに、用紙を 40 枚以上ためないでください。

*1 キヤノン製専用紙

用紙の名称	サイズ	用途	特徴および注意事項
高品位専用紙 *1	A4 (210 mm × 297 mm) B5 (182 mm × 257 mm)	パソコンからの印刷、コピー	• 普通紙よりもカラーの発色性に優れています。 • カラーの図やグラフなどを多用したビジネス文書や写真などの印刷に最適です。 • 次のようにセットしてください。 – オートシートフィーダ：より白い面を上にする – カセット：より白い面を下にする • インクが乾くまで、印刷面には手を触れないでください。 • 排紙トレイに、用紙を 50 枚以上ためないでください。 • 用紙が丸まってしまうときは、排紙トレイから 1 枚ずつ取り出してください。
T シャツ転写紙 *1	A4 (210 mm × 297 mm)	パソコンからの印刷	• T シャツ用のアイロンプリントを作る用紙です。 • 写真やイラストを、T シャツ転写紙に左右を反転して印刷し、アイロンを使って T シャツに転写すると正しい向きになります。 • 次のようにセットしてください。 – オートシートフィーダ：緑のラインがない面を上にする – カセット：緑のラインがある面を上にする • 用紙が丸まっているときは、逆方向に丸めて伸ばしてください。 • 印刷後、T シャツへの転写は速やかに行なってください。 • 転写方法については、T シャツ転写紙に付属している取扱説明書を参照してください。
OHP フィルム *1	A4 (210 mm × 297 mm)	パソコンからの印刷	• オーバーヘッドプロジェクタ（OHP）で使うための、専用の透明フィルムです。 • プレゼンテーションなどの資料作りに効果的です。 • OHP フィルムをセットするときは、いちばん後ろに普通紙を 1 枚つけてください。 • OHP フィルムはどちらの面にも印刷ができます。よりきれいに印刷するには、フィルムの端を持ったときに丸まる方の面に印刷してください。 • 印刷された用紙は、排紙トレイから 1 枚ずつ取り出してください。 • 印刷面がすれたりフィルムどうしがくっついたりしないように、普通紙（コート紙は不可）をかぶせて印刷面を保護してください。 • インクが乾くまで、印刷面に手を触れたり、フィルムどうしを重ねたりしないでください。 • 長期間保管する場合は、普通紙をかぶせて印刷面を保護してください。

*1 キヤノン製専用紙

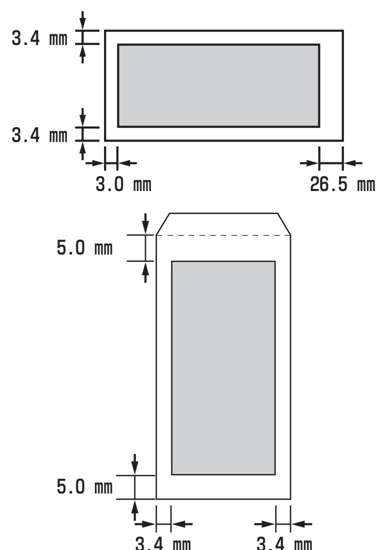
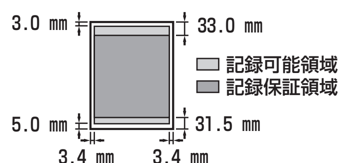
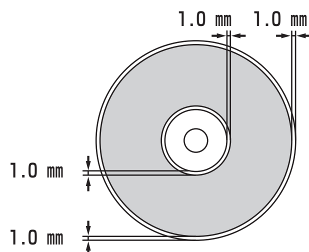
用紙の名称	サイズ	用途	特徴および注意事項
片面光沢名刺用紙 *1	55 mm × 91 mm	パソコンからの印刷、コピー	• 印刷面に光沢のある用紙です。 • 耐水性に優れています。 • 顔写真入りの名刺印刷に適しています。 • フチなし全面印刷をすることで、余白のない印刷ができます。 • 光沢のある面を上にして、オートシートフィーダにセットしてください。 • 用紙が貼りつかないように、よくさばいてからセットしてください。 • 用紙が丸まっているときは、逆方向に丸めて伸ばしてください。 • 排紙トレイに、用紙を 10 枚以上ためないでください。
両面マット名刺用紙 *1	55 mm × 91 mm	パソコンからの印刷、コピー	• 光沢を抑えた用紙です。 • イラスト・文字などの印刷に適しています。 • 用紙の両面に印刷できます。 • フチなし全面印刷をすることで、余白のない印刷ができます。 • 用紙が貼りつかないように、よくさばいてからセットしてください。 • 用紙が丸まっているときは、逆方向に丸めて伸ばしてください。 • 排紙トレイに、用紙を 10 枚以上ためないでください。
フォトシールセット *1 （2 面／ 4 面／ 9 面／ 16 面）	100 mm × 148 mm	パソコンからの印刷、PictBridge、コピー	• 入数：1 セット（16 枚） • 2 面× 2 枚 • 4 面× 2 枚 • 9 面× 2 枚 • 16 面× 10 枚 • Windows をお使いの場合は、専用のソフトウェア（プチプリント for PIXUS）を使うと、印刷の設定が簡単にできます。ホームページ（http://www.canon.jp/pixus）よりダウンロードできます。
ピクサスプチシール *1 （16 面光沢フォトシール）	100 mm × 148 mm	パソコンからの印刷、PictBridge	• Windows をお使いの場合は、専用のソフトウェア（プチプリント for PIXUS）を使うと、印刷の設定が簡単にできます。ホームページ（http://www.canon.jp/pixus）よりダウンロードできます。
ピクサスプチシール・フリーカット *1	100 mm × 148 mm	パソコンからの印刷、PictBridge	• Windows をお使いの場合は、専用のソフトウェア（プチプリント for PIXUS）を使うと、印刷の設定が簡単にできます。ホームページ（http://www.canon.jp/pixus）よりダウンロードできます。

*1 キヤノン製専用紙

◆ 本機の仕様

装置の概要	
電源	100V 50/60 Hz
消費電力	最大：約 47.0 W スタンバイ状態：約 16.4 W
質量（部品を含む）	13.9 kg
外形寸法	486 mm（横）× 472 mm（奥行き）× 314 mm（高さ） 472 mm / 486 mm / 314 mm / 305 mm / 538 mm
使用環境	温度：5 ℃～ 32.5 ℃ 湿度：10% ～ 90%
LCD ディスプレイ	20 桁 × 2 行
ADF（自動原稿給紙装置）容量	A4 とレター（75g/m^2）：35 枚 リーガル（75g/m^2）： 30 枚 上記以外の原稿： 1 枚
オートシートフィーダ容量	普通紙（64g/m^2）： 約 150 枚 （高さ 13 mm） 官製はがき： 40 枚 ※その他の用紙の容量については 20 ページをご覧ください。
カセット容量	普通紙（64g/m^2）： 約 150 枚 （高さ 13 mm） 官製はがき： 40 枚 ※その他の用紙の容量については 20 ページをご覧ください。
CD-R トレイガイド積載枚数	1 枚
用紙に印刷できる範囲	A4： 203.2 mm × 289 mm レター： 203.2 mm × 271.4 mm リーガル：203.2 mm × 347.6 mm A5： 141.2 mm × 202 mm B5： 175.2 mm × 249 mm L 判： 82.2 mm × 119 mm 2L 判： 120.2 mm × 170 mm 名刺： 48.2 mm × 83 mm パノラマ：82.2 mm × 246 mm カード： 47.2 mm × 78 mm 3.0 mm / 33.0 mm / 5.0 mm / 31.5 mm 記録可能領域 記録保証領域 A4、B5、A5、L判、2L判、名刺、パノラマ、カード： 3.4 mm レター、リーガル： 6.4 mm A4、B5、A5、L判、2L判、名刺、パノラマ、カード： 3.4 mm レター、リーガル： 6.3 mm 参考 • フチなし全面印刷をすると、全面に印刷することができます。ただし、用紙の上下の端がきれいに印刷されないことがあります。 • 両面印刷では、用紙の上辺の印刷可能領域が通常より 2 mm 分狭くなります。

14
付録

装置の概要	
封筒に印刷できる範囲	洋形４号：98.2 mm × 205.5 mm 洋形６号：91.2 mm × 160.5 mm 長形３号：113.2 mm × 225 mm 長形４号：83.2 mm × 195 mm 
はがきに印刷できる範囲	はがき：　93.2 mm × 140 mm 往復はがき：193.2 mm × 140 mm 
CD-R（12 cm/8 cm）に印刷できる範囲	CD-R（12 cm/8 cm）：ラベルの部分の内径から 1 mm 以上、外径から 1 mm 以内 

システム要件

→ 103 ページ

インク仕様

インク色 / 印刷可能枚数	ブラック（BCI-3eBK）：約 900 枚*、約 1300 枚** ブラック（BCI-7BK）： 約 2000 枚 シアン（BCI-7C）： 約 640 枚** マゼンタ（BCI-7M）： 約 480 枚** イエロー（BCI-7Y）： 約 480 枚**

*Windows XP ドライバで、JEITA 標準パターン JI を普通紙に連続印刷した場合
**Windows XP ドライバで、ISO JIS-SCID No.5 を普通紙に連続印刷した場合

コピー仕様

コピー速度	白黒コピー： 〈ハヤイ〉約 25 ページ／分（A4） カラーコピー：〈ハヤイ〉約 17 ページ／分（A4） （キヤノン標準パターンに基づく）
コピー部数	最大 99 枚
濃度調整	9 段階
拡大 / 縮小率	25% ～ 400%

ファクス仕様

運用回線	加入電話回線（PSTN）
直流抵抗値	約 330 Ω（電話回線の抵抗値の合計が 1700Ω を超える場合など、電話回線や地域などの条件によっては通信できないことがあります。このようなときは、お買い上げの販売店にご相談ください。）
互換性	G3、カラー FAX
データ圧縮システム	MH、MR、MMR、JPEG
モデムの種類	ファクスモデム
モデム速度	33600/14400/9600/7200/4800/2400bps 自動フォールバック
電送速度	• 白黒原稿：約 3 秒 / ページ（33.6kbps）、ECM-MMR、メモリから送信 （キヤノン FAX 標準チャート No.1 標準モード使用時） • カラー原稿：約 1 分 / ページ（33.6kbps）、ECM-JPEG、メモリから送信 （キヤノンカラーファクステストシート使用時）
読み取り画像処理	• GENESIS • ハーフトーン：グレー 64 階調 • 濃度調整：3 段階
メモリ	送受信：約 250 ページ （キヤノン FAX 標準チャート No.1 標準モード使用時）
ファクス解像度	• 白黒〈ヒョウジュン〉：8 pels/mm × 3.85 lines/mm • 白黒〈ファイン〉、〈シャシン〉：8 pels/mm × 7.7 lines/mm • カラー：200 × 200 dpi

ファクス仕様	
ダイヤル	• 自動ダイヤル • ワンタッチダイヤル（8 件） • 短縮ダイヤル（100 件） • 手動ダイヤル（[リダイヤル／ポーズ］使用）
ネットワーキング	• 同報送信（最大 109 件） • 自動受信 • FAX/TEL 自動切りかえ • 電話機によるリモート受信（工場出荷時のリモート受信 ID：25） • 着信音なしの受信 • ECM の有効 • 通信管理レポート（20 通信ごとに印刷） • エラー送信レポート • 発信元情報

電話仕様	
接続	電話機 / 留守番電話（CNG 信号）/ データモデム

キヤノン“Bubble Jet Direct”プリント	
対応用紙	• L 判（SP-101 L/PR-101 L/SG-101 L/EC-101 L） • 2L 判（SP-101 2L/PR-101 2L） • はがきサイズ（PH-101） • A4 サイズ（SP-101 A4/PR-101 A4/SG-101 A4/GP-401 A4） • カードサイズ（EC-101 カードサイズ）
対応レイアウト	標準：フチあり／フチなし、インデックス：6 〜 80 面（用紙サイズにより異なります）
印刷品位	固定（簡単プリント：標準、DPOF プリント：標準／インデックス）
補正機能	Exif Print 対応
DPOF	Ver. 1.00 準拠 インデックス印刷、印刷枚数指定、印刷画像指定、指定文字（日付）印刷
対応機種	• デジタルカメラ PowerShot G2（カメラ側でファームウェアのバージョンアップが必要） PowerShot G2 Black/G3/G5 PowerShot S30/S40/S45/S50 PowerShot A60/A70/A300 IXY DIGITAL 200a/300a/320/400/30 EOS 10D/EOS Kiss Digital • デジタルビデオカメラ IXY DV M FV40 FV M10

PictBridge	
ペーパーサイズ	• 標準設定（L 判 SP-101L） • L 判（SP-101 L/PR-101 L/SG-101 L/EC-101 L） • 2L 判（SP-101 2L/PR-101 2L） • はがき（PH-101/KH-201N/PS-101*1/PSHRS*1） • カード（EC-101 カードサイズ） • 8.9 × 25.4 cm（SP-101 パノラマ）*2 • A4（SP-101 A4/PR-101 A4/SG-101 A4/GP-401 A4） *1 キヤノン製シール専用紙です。レイアウトで 2 面配置／ 4 面配置／ 9 面配置／ 16 面配置に該当する選択項目がある場合のみ印刷できます。（→ 20 ページ） *2 パノラマサイズです。キヤノン製“PictBridge”対応のカメラのみ設定できます（機種によっては設定できない場合があります）。
ペーパータイプ	標準設定（スーパーフォトペーパー）、フォト（スーパーフォトペーパー）、高級フォト（プロフェッショナルフォトペーパー）
レイアウト	標準設定（フチなし）、フチなし、フチあり、2 面配置／ 4 面配置／ 9 面配置／ 16 面配置 * * キヤノン製シール専用紙に対応したレイアウトです。（→ 20 ページ）
トリミング	標準設定（切：トリミングなし）、カメラ側の設定にしたがう
イメージオプティマイズ（画像補正）	標準設定（入り：Exif Print）、VIVID*、NR（ノイズリダクション）*、VIVID+NR* * キヤノン製“PictBridge”対応のカメラのみ設定可能
日付印刷	標準設定（切：印刷しない）、印刷形式はカメラ側の設定にしたがう
対応機種	“PictBridge”対応カメラ

プリンタ仕様	
印字方式	オンデマンドバブルジェット
給紙方法	自動給紙
用紙の質量と最大積載枚数	• オートシートフィーダ　普通紙（64g/m2）：約 150 枚（高さ 13 mm） 官製はがき：40 枚 • カセット　普通紙（64g/m2）：約 150 枚（高さ 13 mm） 官製はがき：40 枚 ※その他の用紙の容量については 20 ページをご覧ください。
推奨用紙	推奨用紙については 20 ページをご覧ください。
印刷速度	• 白黒印字　高速：25 ページ／分 標準：15 ページ／分 • カラー印字　高速：17 ページ／分 標準：11 ページ／分 （キヤノン標準パターンに基づく）
最大印字幅	203.2 mm（フチなし印刷時 216.0 mm）
解像度	4800（横）× 1200（縦）dpi

スキャナ仕様	
互換性	TWAIN / WIA（Windows XP のみ）
有効読み込み幅	214 mm
読み込み解像度	• 光学 2400 × 4800 dpi • 最高 9600 × 9600 dpi
読み込み画像処理	• ハーフトーン： グレー 256 階調 • カラー： 16,777,216 色

仕様は、予告なく変更することがあります。

◆ 索引

へ

ま

み

め

も

ゆ

よ

り

れ

ろ

わ

お問い合わせの前に

本書の「困ったときには」の章を読んでもトラブルの原因がはっきりしない、また解決しない場合には、次の要領でお問い合わせください。

本機の故障の場合は？

どのような対処をしても本機が動かなかったり、深刻なエラーが発生して回復しない場合は、本機の故障と判断されます。

お買い上げいただいた販売店またはお近くの修理受付窓口に修理を依頼してください。
別紙の「サービス＆サポートのご案内」をご覧ください。

パソコンなどのシステムの問題は？

本機の動作が正常に動作し、MP ドライバのインストールも問題なければ、USB ケーブルやパソコン（OS 、メモリ、ハードディスク、インタフェースなど）に原因があると考えられます。

パソコンを購入された販売店もしくは、パソコンメーカーとご相談ください。

アプリケーションの問題のようだけど？

特定のアプリケーションで起きるトラブルは、アプリケーション固有の問題と考えられます。

- ●アプリケーションメーカーの相談窓口にご相談ください。
- ●セットアップCD-ROMからインストールしたアプリケーションに関しては、「サービス＆サポートのご案内」をご覧ください。

お客様相談センター
全国共通電話番号



0570ー01ー9000
商品該当番号：【33】

修理の依頼方法について

●修理窓口へお持ちいただく場合
お買い上げいただいた販売店、または弊社修理受付窓口にお持ち込みください。

●修理窓口へ宅配便で送付していただく場合
本機が輸送中の振動で損傷しないように、なるべくご購入いただいたときの梱包材をご利用ください。他の箱をご利用になるときは、丈夫な箱にクッションを入れて、本機がガタつかないようにしっかりと梱包してください。

お願い：保証期間中の保証書は、記入漏れのないことをご確認のうえ、必ず商品に添付、または商品と一緒にお持ちください。保守サービスのために必要な補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後 5 年間です。

使用済みインクタンク回収のお願い



キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みインクタンク、BJ カートリッジの回収を推進しています。
この回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。
つきましては、"キヤノンによる環境保全と資源の有効活用"の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、ご使用済みとなったインクタンク、BJ カートリッジを、お近くの回収窓口までお持ちくださいますようお願いいたします。



キヤノン販売ではご販売店の協力の下、全国に 2000 〜 3000 拠点の回収窓口をご用意いたしております。
また回収窓口に店頭用カートリッジ回収スタンドの設置を順次進めております。
回収窓口につきましては、下記URLを入力したあと、「消耗品関連」メニューの「カートリッジ回収窓口」よりご確認いただけます。

canon.jp/support

事情により、回収窓口にお持ちになれない場合は、使用済みインクタンク、BJ カートリッジをビニール袋などに入れ、地域の条例に従い処分してください。

お問い合わせのシート

ご相談の際にはすみやかにお答えするために予め下記の内容をご確認のうえ、お問い合わせくださいますようお願いいたします。
また、かけまちがいのないよう電話番号はよくご確認ください。

[プリンタの接続環境について]

プリンタと接続しているコンピュータの機種（　　　　　　　　　　　　　　）

内蔵メモリ容量（　　　　　　MB）／ハードディスク容量（　　　　　　MB ／ GB）

使用している OS：Windows □ XP　□ Me　□ 2000　□ 98（Ver.　　　　）

□ Macintosh（Ver.　　　　）　　　□その他（　　　　　　）

コンピュータ上で選択しているプリンタドライバの名称（　　　　　　　　　　　　）

ご使用のアプリケーションソフト名およびバージョン（　　　　　　　　　　　　）

接続方法：□直結　□ネットワーク（種類：　　　　　　）　□その他（　　　　　）

接続ケーブルメーカー（　　　　　　　）／品名（　　　　　　　　　　）

[プリンタの設定について]

プリンタドライバのバージョン NO.（　　　　　　　　　　　　　　）

コンピュータ上のプリンタ設定でバージョン情報が確認できます。

[エラー表示]

エラーメッセージ（できるだけ正確に）（　　　　　　　　　　　　　　　　）

エラー表示の場所：□パソコン　□プリンタ

エラーメッセージ（できるだけ正確に）（　　　　　　　　　　　　　　　　）

エラー表示の場所：□パソコン　□プリンタ

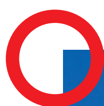
キヤノン販売株式会社　〒 108-8011 東京都港区港南 2-16-6

This product uses the following copyrighted software:

イン**クが**

出ない・かすれるときは？

プリントヘッドのノズル（インクのふき出し口）が目詰まりすると、
色味がおかしかったり印刷がかすれる場合があります。













こんなときは？

ポイント 1

インクタンクがしっかりと取り付けられていますか？
また、インクタンクの並び順を間違えていませんか？

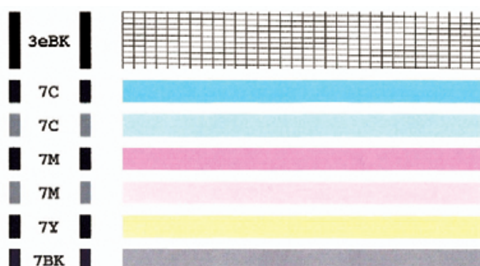
▶ インクタンクの状態を確認してください。（本書 119 ページ）

ポイント 2

プリントヘッドは目詰まりしていませんか？

▶ ノズルチェックパターンを印刷し、確認してください。（本書 125 ページ）

良い例



悪い例



ノズルチェックパターンが正しく印刷されない場合は、
本書の手順にしたがって本機のお手入れをしてください。

いますぐ、本書 124 ページへ

参考 プリントヘッドの目詰まりを防ぐため、月に 1 回程度、定期的に印刷されることをお勧めします。

●キヤノンPIXUSホームページ canon.jp/pixus

新製品情報、Q&A、各種ドライバのバージョンアップなど製品に関する情報を提供しております。
※通信料はお客様のご負担になります。

●お客様相談センター

PIXUS・BJプリンタ・複合機に関する ご質問・ご相談は、下記の窓口にお願いいたします。

お客様相談センター
全国共通電話番号 

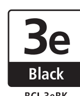
0570-01-9000（商品該当番号:33）

【受付時間】〈平日〉9:00～20:00、〈土日祝日〉10:00～17:00（1/1～1/3を除く）

※自動車電話・PHSをご使用の方、海外からご利用の方、ナビダイヤルをご利用いただけない方は043-211-9631をご利用ください。
※音声応答システム・受付時間・該当番号は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。



本機で使用できるインクタンク番号は、以下のものです。
インクタンクを別途ご購入になる場合は、型番を間違えないように注意してください。



BCI-3eBK



BCI-7BK



BCI-7C



BCI-7M



BCI-7Y

※インクタンクの交換については、120ページをお読みください。

紙幣、有価証券などをコピーやプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。
関連法律：刑法第148条、第149条、第162条／通貨及証券模造取締法第1条、第2条　等

HT7-0022-000-V.4.0

PRINTED IN CHINA